

令和4年度
事務事業の決算評価報告書
事務事業の外部評価報告書

遊佐町イメージキャラクター



遊佐町行政評価推進委員会
遊佐町行政評価外部評価委員会

目 次

第1部 事務事業の決算評価報告書(内部評価)	1
遊佐町行政事務事業評価制度の概要	2
事務事業評価シート記載例	6
事務事業(決算評価)4段階評価の手法	7
遊佐町行政事務事業評価制度体制図	10
令和5年度 遊佐町行政評価推進委員会 委員名簿	11
遊佐町行政評価推進委員会設置要項	12
令和5年度 内部評価結果一覧表(令和4年度事後評価)	13
総合発展計画 第1章～第3章 ※令和5年度外部評価対象外事業	
事務事業評価シート(令和5年度外部評価対象事業シート)	22
総合発展計画 第4章～第6章	
第2部 事務事業の外部評価報告書	71
外部評価制度について	72
評価の視点	72
令和5年度 遊佐町行政評価外部評価委員会 委員名簿	75
遊佐町行政評価外部評価委員会設置要綱	76
遊佐町行政評価外部評価委員会公募委員選考要綱	78
令和5年度 行政評価外部評価ヒアリング 日程表	79
令和5年度 外部評価ヒアリングの結果	80
令和5年度 外部評価結果一覧表(令和4年度事後評価)	83
令和5年度 外部評価制度に対して外部評価委員から出された意見	90
外部評価対象外事業一覧表	91
おわりに・・・令和5年度外部評価委員会を振り返って	99
(埼玉大学大学院人文社会科学研究所 教授 斎藤友之)	

・ ・ ・ ・ ・ 第 1 部 ・ ・ ・ ・ ・

事務事業の決算評価報告書
(内部評価)

遊佐町行政事務事業評価制度の概要

1. 行政評価とは

行政評価とは、行政が行う施策や事業を「住民にとっての効果は何か」、「当初期待したとおりの成果はあがっているのか」という視点から客観的に検証を行い、より効率的・効果的な町政、住民にわかりやすい町政の運営をめざすものです。また、評価した結果を翌年に活かしていく手段ともなります。

客観的評価により明らかになった課題を迅速に次の計画に反映していくことで、住民本位の町政、住民の立場に立った町政に変えていく行政運営のひとつの手段といえます。

2. 行政事務事業評価制度を導入している理由

財政状況において、限られた歳入で多様化する住民ニーズに機動的かつ的確に応えるため、予算や職員等の行政資源をより効果的に配分することが必要です。

このため、住民への説明責任、長期計画の進捗管理、成果を重視した行政運営、限られた財源の有効活用、職員の意識改革など行政の自立性をより向上させ、一層の推進を図っていかねばなりません。

行政には事業の内容を始め、事業の効果、事業の費用、事業の成果などについて、住民にわかりやすい形で説明していく責任があります。

こうした状況の中、事業の当初の目的を再確認し、期待したとおりの成果があるか、より効率的な方法はないか、などについて検証する必要があります。そのために、いわゆる「行政事務事業評価制度」を導入しております。

3. 行政評価を導入する目的

(1) 住民への説明責任（アカウンタビリティ）の向上

施策・事務事業の目的、内容、達成度などを住民にわかりやすい形で公開することによって、住民に対する説明責任（アカウンタビリティ）の向上を図ります。

(2) 住民との協働のための事務事業の透明性の向上

施策・事務事業の目的や目標を明確にし、その成果・結果を明らかにすることによって、住民との協働の範囲を明らかにすることにより、協働のまちづくりの具現化を図ります。

(3) 事業目的達成のための改革・改善

施策・事務事業の目的、内容、達成度などを客観的に評価することにより、その結果から目標を達成するための改革・改善の方向を明らかにします。

(4) 職員の創造性の醸成

施策・事務事業の目的意識・目標達成意識を確認することにより、地方分権に対応する、職員の創造性を醸成します。

4. 評価の対象となる事業

行政評価の対象となる事業は、教育委員会部局を除く一般会計、特別会計および企業会計に属する全ての事務事業です。ただし、次に掲げる事業は、外部評価の対象外とします。

- (1) 町に裁量権がない事業（国、県の補助事業や当番制による事業など）
- (2) 扶助的性質の高い事業（生活扶助や就学扶助に関する事業など）
- (3) 施設の維持管理、計画策定、県の要請や委託など確実な実施で目的が達成する事業
- (4) 長期的な評価しか適当でない事業（単年度では評価できない事業など）
- (5) その他、基本的な事務に関する事業（職員の旅費、事務費、福利厚生に関する事業など）

5. 評価の方法

評価は、行政評価システムにおける「事務事業評価シート」（P. 22～P. 70 を参照）に基づいて行います。

この「事務事業評価シート」について説明しますと、各事務事業は、総合発展計画の【章】（政策）、【節】（施策）、【項】（事業群）により分類しています。そして、直接事業費についても大まかに記載しています（尚、事業によっては単独で予算化されていないものもあり、空欄の場合もあります）。さらに、各事務事業について目的・活動内容・対象者・成果を設定し、目標数値は現状を踏まえて定めています。その際の算出式も具体化しています（但し、性質上定めがたいものは空欄となります）。

こうした前提に立ち、目標数値と結果の差や「評価基準」を参考にして、担当課で評価を下したのが、「担当課年度評価」欄と評価値・方向性になります。平成 22 年度から、町民の外部評価委員による外部評価制度を導入しましたが、その外部評価委員による評価が、「外部評価」欄と方向性になります。さらに、外部評価の結果を踏まえて、町としての最終見解をまとめたのが、「町としての考え方」欄と方向性になります。

次に、有効性、妥当性等の「評価基準」の考え方について述べていきます。

「評価基準」欄の数値の記載方法についてですが、次ページの表 1 のとおりですので、参照してください。

続いて、効率性と活動量について説明します。まず、P. 7 の「事務事業評価（決算評価）4 段階評価の手法」をご覧ください。これは、縦軸と横軸の相関関係からの手法です。この中で、効率性は、「コスト縮減の余地」で捉えることにしています。その際の参考になるのが「事務事業評価シート」の直接事業費の推移です。コストそのものを論じれば、携わる職員の人件費も考慮するのが正論なのですが、人件費を含めた場合の各事業の効率性の算定が難しいため、現時点では考慮されていません。直接事業費の推移と事業の実施内容を勘案して、4 点～1 点の区分で判定しております。

活動量は、事業実施の活動指標や活動回数が判定基準となるように、各事業の年間における活動の量を捉え、3 点～1 点に区分しています。

●表 1

<p># 有効性・妥当性・貢献度</p> <p>1・・・不可(考え方や目標数値と結果を見て、評価できる要素が極めて少ない)</p> <p>2・・・不可(考え方や目標数値と結果を見て、評価できる要素が少ない)</p> <p>3・・・可(考え方や目標数値と結果を見て、評価できるものもある)</p> <p>4・・・良(考え方や目標数値と結果を見て、8割方評価ができる)</p> <p>5・・・優(考え方や目標数値と結果を見て、十分な評価ができる)</p> <p>※ 評価の基準</p>			
評価基準	考 え 方	判 断 根 拠	5段階評価
有 効 性	① 計画に対する到達具合は ② 成果に対しどれだけ貢献したか	事業の具体的な結果 数値ほか	1～5
妥 当 性	① 社会情勢の変化に対応しているか ② 住民ニーズに対応しているか ③ 事業手法は適切か ④ 受益者負担が適切か ⑤ 町が関与していくべきものか	事務事業の目的、対象 者、手段の設定等が適 切であったかを総合 的に勘案	1～5
貢 献 度	① その事務事業の施策推進への貢献度 【章】【節】【項】の上位群への貢献度	同一施策内の事務事 業との比較	1～5

そして、先に上げた評価基準の「妥当性」「貢献度」「有効性」については、この手法を用いるために、「妥当性」では「5」「4」を1点に、「3」を0.5点、「2」「1」は0点に置き換えています。同様に、「貢献度」「有効性」では「5」「4」を3点に、「3」を2点、「2」「1」は1点に置き換えています。

この置き換えは、「縦軸と横軸の相関関係からの手法」のルールと解釈してください。

なお、目標が設定できない事業については、記載のとおり縦軸項目は全体評価時に参入していません。

こうして、縦軸・横軸の相関関係で判定していくと、「4段階の評価の内容」そして「決算評価をもとに、次年度以降の方向性を判断」に進展し、「事務事業評価シート」の「担当課年度評価」欄の評価値・方向性に結びついていきます。

但し、最終的には、次ページの表2のような区分で判定しています。

この行政評価システムは、できるだけ客観的に評価できるように構築されていますが、始点はあくまでも事業担当者・係・課において目標を設定し自己評価していることに変わりはありません。

したがって、恣意的要素を除去する手立てとして、遊佐町行政評価推進委員会(委員長を副町長とする職員16名で構成(P.11委員会名簿参照))を設置し、行政評価システムの改善を含めて、この一連の作業の核となり、チェック機関として機能するように努めています。

●表 2

- | |
|---|
| ◆「拡大」・・新たに事業を展開するなど、積極的に行政が関与していく(基本はA) |
| ◆「継続」・・従来の事業の内容・方法のままで継続する(基本はA) |
| ◆「改善」・・従来の事業の内容・方法の見直しを行う(基本はB) |
| ◆「縮小」・・既存の事業を整理するなど行政関与を見直し減らしていく(基本はC・D) |
| ◆「統合」・・関連・類似事業との整理統合を行う(評価欄の記述を参考) |
| ◆「廃止」・・事業を廃止する。行政は関与しない(評価欄の記述を参考) |
| ◆「終了」・・事業の目的を達成して、事業を終了する(評価欄の記述を参考) |
| ◆「対象外」・評価の必要性が低いため、評価対象から外す。 |

また、平成 22 年度より、行政評価に関し、評価制度の透明性と評価内容の客観性を確保することを目的に、遊佐町行政評価外部評価委員会を設置し、町民の委員による外部評価を実施しております。その報告書については、第 2 部の「事務事業の外部評価報告書」により、報告いたします。

なお、平成 28 年度の外部評価(平成 27 年度分の評価実施)より、より深く時間をかけて事業内容について評価することを目的に、前述の総合発展計画の【章】(政策)により全事業を 2 つに分け、2 年で全事業を外部評価(1 年で半数ずつの事業を外部評価)する方法に変更しました。令和 5 年度は総合発展計画の第 4 章から第 6 章に該当する事業(49 事業)を評価しました。

以上の評価を踏まえて、最終的に「遊佐町行財政改革推進委員会」(課長会議)において、「町としての考え方」について確認をし、次年度に反映させる努力をしています。

6. 評価結果の公表と活用

担当課による評価を行い、さらに外部評価を実施した事務事業の評価結果については、「事務事業の決算評価報告書・事務事業の外部評価報告書」としてまとめ、町民に公表いたします。また、9 月の町議会、振興審議会に報告され、令和 6 年度の振興計画策定及び予算編成に活用いたします。

7. その他

- ・事務事業評価シート記載例 (P. 6)
- ・事務事業評価(決算評価)4 段階評価の手法 (P. 7)
- ・4 段階の評価の内容 (P. 8)
- ・事業判定フロー図 (P. 9)
- ・遊佐町行政事務事業評価制度の体制図 (P. 10)

※ 次ページ以降を参照してください。

事務事業評価シート記載例

事務事業評価シート

令和4年度

		事業No.	2				
所管課・係名	企画課 企画係	予算科目	2 款 1 項 8 目				
事務事業名	ハンガリー等派遣事業	予算大事業名	国際交流事業				
総合発展計画【章】	第5章 ふるさとを愛し、未来を拓く、いのち輝く町民の育成《教育・文化》						
総合発展計画【節】	第1節 遊佐を愛し、未来にはばたく子どもの育成						
総合発展計画【項】	第2項 自己有用感に根ざす青少年の健全育成						
事業の概要	目的	姉妹都市ハンガリー・ソルノク市での交流等とおし、町民の国際的な感覚と協調心を養うとともに、次世代を担う生徒の国際理解を深める					
	内容	姉妹都市であるハンガリー・ソルノク市等への派遣					
令和2年度分の外部評価の意見	これからいろいろな方法を考え、交流を深めていただきたい。	方向性					
		継続					
令和3年度分の町としての考え方	新型コロナウイルス感染症とウクライナ情勢による派遣の中止はやむを得ないが、ハンガリーとの交流は当町の国際交流として重要であるため、引き続き代替事業等による交流を進めていきたい。	方向性					
		継続					
令和4年度に対応した主な活動	コロナ禍とウクライナ情勢のため3月の中高生派遣団の訪問ができず、その代替としてハンガリー倶楽部を発足し、4名で9月から12月にかけて計6回活動を行った。また、2月に現地の状況確認として国際交流推進協議会メンバー2名がハンガリーを訪問した。						
予算・決算 (千円)	令和2年決算額	令和3年決算額	令和4年度予算額	令和4年決算見込額			
	1,767	1,654	2,750	2,750			
令和4年度決算内訳(円)	国際交流事業推進委託料 2,750,000円 (内訳:国際交流事業推進業務委託 1,744,843円、民間交流40周年事業 1,179,740円) 余剰分は前年度繰越金より支出						
成果指標設定の考え方	派遣事業への参加人数(一般団員を含む)						
成果指標の年度経過	令和2年	令和3年	令和4年	目標年度	令和6年		
	0名	0名	0名	目標値	14名 (募集定員数)		
評価欄							
担当課評価基準	有効性	妥当性	貢献度	効率性	活動量	評価値	方向性
	4	4	4	4	2	A	継続
令和4年度担当課年度評価(方向性の理由)	中高生派遣事業中止の代替事業として、ハンガリー倶楽部を発足した。令和5年2月にはハンガリー現地状況確認と折り紙アートを渡しにハンガリーを訪問した。県庁・市役所・関係機関を訪問し令和5年度の民間交流40周年、令和6年度の姉妹都市協定締結20周年に向けた式典等の実施について話をすることができたので、交流事業を継続して行いたい。						
課題(改善すべき点や方向性)	ウクライナ情勢の回復が見込めず、安全面の確保ができない状況が今後も続く予想される。令和6年度には姉妹都市協定締結20周年と遊佐町合併70周年を迎えるため町での式典等の実施について協議を進める。						
外部評価委員会の意見	これからいろいろな方法を考え、交流を深めていただきたい。	方向性					
		継続					
町としての考え方	中高生派遣事業の中止はやむを得ないが、ハンガリーとの交流は当町の国際交流として重要である。令和5年度の民間交流40周年記念派遣事業を皮切りに交流を深めていく。	方向性					
		継続					

○計画【章】【節】【項】
「遊佐町総合発展計画(第8次遊佐町振興計画)(別冊)の目次「第3編 基本計画」の章・節・項(項は該当ページ内の「具体的施策」)

○令和2年度の分の外部評価の意見
最後に外部評価を行った際の外部評価委員による指摘事項

○令和3年度分町としての考え方
昨年度の本事業に対する町の方向性

○令和4年度に対応した主な活動
前回の外部評価委員の指摘や課題に対し、令和4年度に町が対応、実施した内容

○評価基準・評価値・方向性・担当課年度評価及び課題
当該事業について、担当課で評価した内容を記載。令和4年度の評価の理由と、今後の課題について明記

○外部評価・方向性
外部評価ヒアリングの内容から、外部評価委員会がまとめた意見を記載

○町としての考え方
外部評価の意見を受けて、今後の事業について町の考え方を記載

事務事業評価(決算評価)4段階評価の手法

- 決算評価A～Dは各項目ごとの評価を、下記のルールに当てはめて算出しています。

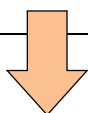
縦軸 = 「妥当性」「有効性」

妥当性(事業内容が適切か)		×	施策への貢献度	+	有効性(成果達成度) 目標値に対する実績値の割合	=	
評価			評価		評価		
5・4	「妥当である」……………1点		5・4	「大きい」………3点	5・4	80%以上………3点	5点以上………AかB 4点以下………CかD
3	「一部妥当である」………0.5点		3	「普通」………2点	3	50%～80% ……2点	
2・1	「妥当ではない」………0点		2・1	「小さい」………1点	2・1	50%未満………1点	

横軸 = 「効率性」「活動量」

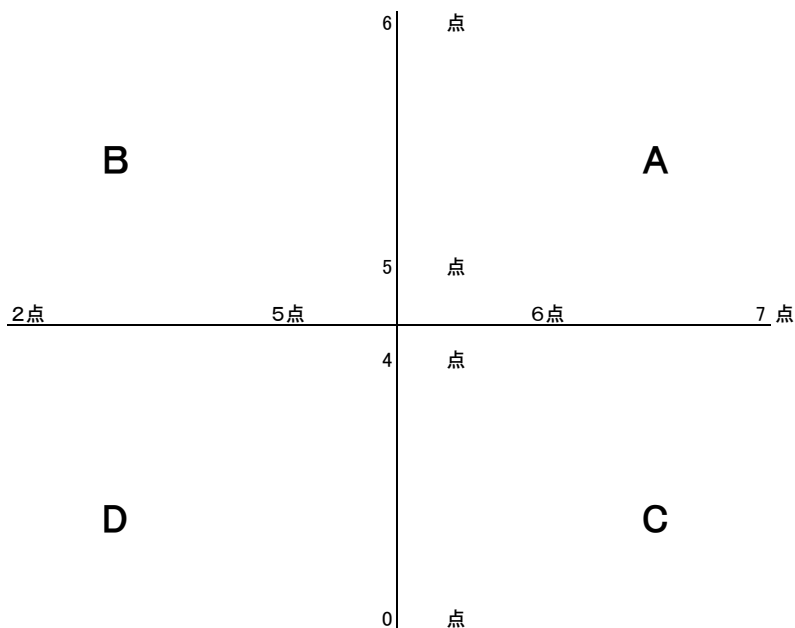
コスト縮減の余地		+	事業実施の活動量	=	
評価			評価		
4	「全くない」……………4点		3	100%以上………3点	6点以上………AかC
3	「少しはある」………3点		2	50%～100% ……2点	5点以下………BかD
2	「かなりある」………2点		1	50%未満………1点	
1	「大いにある」………1点				

※ 有効性(成果達成度)の評価基準である目標が設定できない事務事業については、縦軸項目を参入していません。AかBの決算評価になります。



○縦軸: 公共関与の妥当性×(上位事業群への貢献度+成果達成度) ⇒ AかBまたはCかD

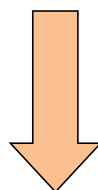
○横軸: コスト縮減の余地+活動量 ⇒ AかCまたはBかD



※それぞれの項目が、平均の場合、上位評価にならないようなくみ

4 段階 の 評 価 の 内 容

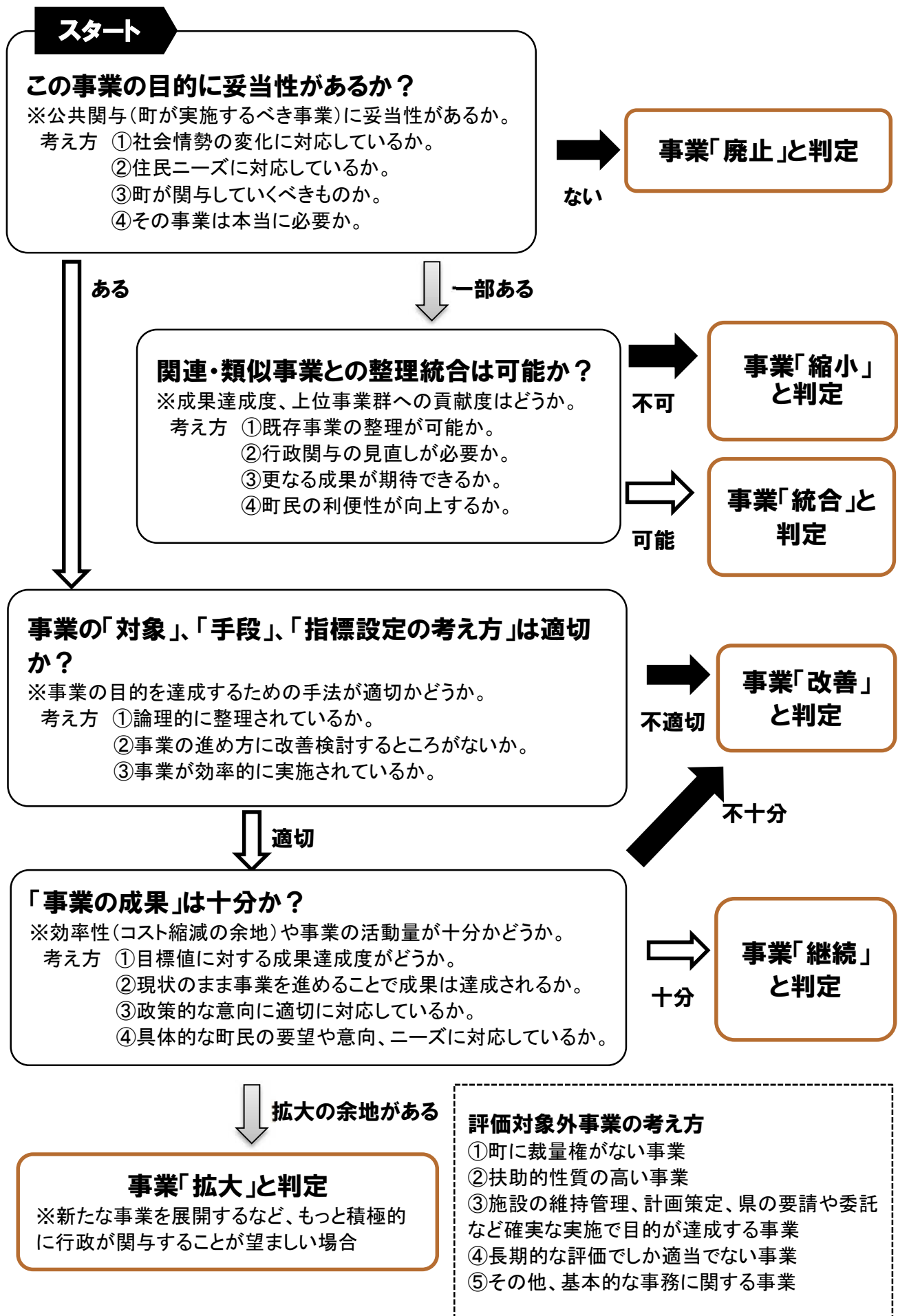
	縦軸の内容	横軸の内容	総合コメント
A	公共関与に妥当性があり、上位事業群への貢献度も高く、成果もある程度達成されている	効率的に事業が実施されており、活動量も高い	基本的に現状のまま事業を進めることが適当
B		効率的に事業が実施されていないか、活動量が足りない	事業の進め方の改善検討
C	公共関与の妥当性がないか、又は公共関与の妥当性はあるが、上位事業群への貢献度や成果達成度が低い	効率的に事業が実施されており、活動量も高い	事業規模・内容又は実施主体の見直しを検討
D		効率的に事業が実施されていないか、活動量が足りない	事業の抜本的な見直し、又は休廃止の検討



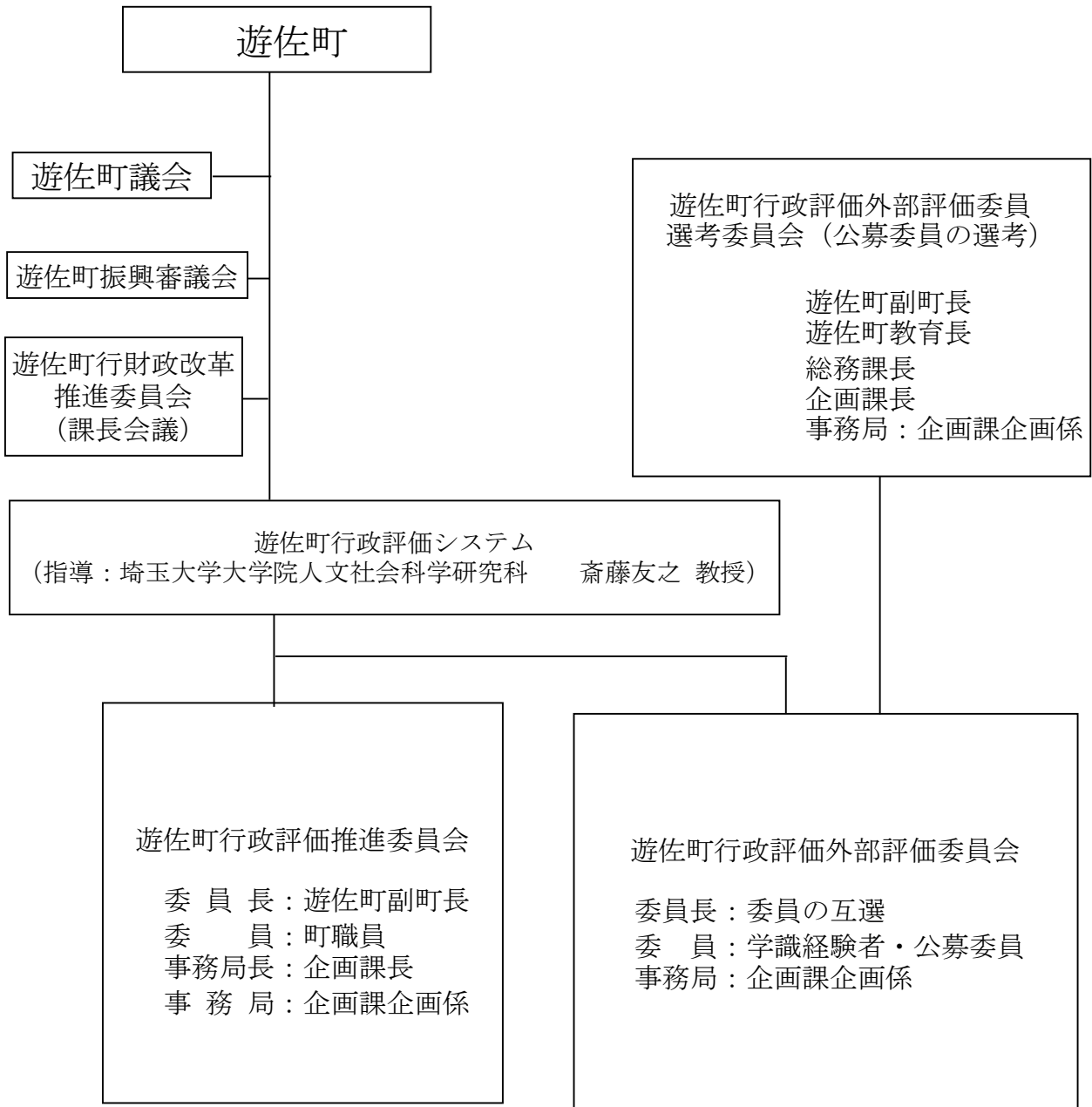
決算評価をもとに、次年度以降の方向性を判断

	総合コメント	今後の主な方向性
A	基本的に現状のまま事業を進めることが適当	現状のまま事業を進めていく…継続
B	事業の進め方の改善検討	効率的に事業を進めていく…改善
C	事業規模・内容又は実施主体の見直しを検討	公共関与の妥当性がなければ…縮小、廃止 成果達成度、上位事業群への貢献度を上げるために…改善
D	事業の抜本的な見直し、休廃止の検討	公共関与の妥当性がなければ…縮小、廃止 成果達成度、上位事業群への貢献度を上げるために…改善

事業判定フロー図



遊佐町行政事務事業評価制度 体制図



令和5年度 遊佐町行政評価推進委員会名簿

※委員は、各課より選出する。

※委員は、補佐・係長・主査・主任級を中心として選出する。（代理出席可能）

No.	所 管 課	職 名	氏 名	備 考
1	遊佐町	副町長	池田 与四也	委員長
2	総務課	財政係長	本間 裕行	委員長代理
3	総務課	主査	佐藤 明子	
4	総務課	主任	石垣 貴大	
5	企画課	主任	佐藤 結	
6	企画課	主事	伊藤 塁	
7	農業委員会	農地管理係長	菅原 恵里	
8	産業課	主任	金内 一馬	
9	地域生活課	主任	佐藤 蓉子	
10	地域生活課	主任	那須 耕平	
11	健康福祉課	主査保健師	佐藤 昭子	
12	健康福祉課	主任	伊藤 真吾	
13	健康福祉課	主事	阿曾 豪	
14	町民課	主任	小野寺 隆二	
15	町民課	主事	小田原 茜	
16	教育課	主任	池田 有彦	

事務局

1	企画課	課長	渡会 和裕	事務局長
2	企画課	係長	佐藤 裕也	
3	企画課	主任	瀧口 めぐみ	
4	企画課	主任	高橋 愛	
5	企画課	主事	菅原 優輔	

※任期は、令和6年3月31日までとする。

遊佐町行政評価推進委員会設置要項

(設置)

第1条 本町における行政評価システムの作成、運用の推進を図り、もって町民に対する利便供与の改善向上を図るため、遊佐町行政評価推進委員会（以下「委員会」という。）を置く。

(所掌事務)

第2条 委員会は前条の目的を達成するために、次に掲げる事項について調査研究又は運営について各所管課における推進を図るものとする。

- (1) 遊佐町行政評価システム（以下「システム」と称する。）の作成に関する各課意見とりまとめに関すること。
- (2) システムの運用に関する各課の助言に関すること。
- (3) システムの運用を通じた事務事業の見直し作業に関する各課の助言に関すること。
- (4) その他システムの改善に関すること。

(組織)

第3条 委員会は、委員長、委員長代理及び委員若干名をもって組織する。

2 委員長は副町長をもって充て、委員長代理は、委員長が予め指名するものとする。

3 委員は、町の職員のうちから、町長が命ずる。

(委員長及び副委員長)

第4条 委員長は、委員会を統轄する。

2 委員長代理は、委員長に事故があるときは、その職務を代理する。

(会議)

第5条 委員会は、委員長が招集する。

2 委員長は、会議の議長となる。

(提案)

第6条 職員は、システムの改善に関する意見を委員会事務局に提出することができる。

(事務局)

第7条 委員会の所掌する事務を処理するため、委員会に事務局を置く。

2 事務局長は、企画課長をもって充てる。

3 事務局員は、企画課企画係に属する職員及び町長が特に命じた職員をもって充てる。

(その他)

第8条 この要項に定めるもののほか、委員会の運営について必要な事項は、委員長が定める。

附 則

(施行期日)

この要項は、平成17年2月10日から施行する。

附 則

この要項は、平成19年4月1日から施行する。

令和5年度内部評価結果一覧表(令和4年度事後評価) 総合発展計画 第1章～第3章
 (令和4年度外部評価対象のため、令和5年度は外部評価対象外)

第1章 地域の特性を活かした産業振興と多彩な働き場の構築《産業振興》

第1節 雇用の安定と就労環境の充実

第1項 新たな雇用を生み出す企業誘致の推進

総合発展計画			事業名	課・係名	担当課評価		町としての方向性	町としての考え方
章	節	項			評価値	方向性		
1	1	1	立地企業支援事業	産業課 産業創造係	A	継続	継続	企業立地支援施策を継続して、企業誘致を図る。中小企業の設備投資を支援し、雇用促進に繋がる施策を実施する。
1	1	1	ビジネスネットワーク事業	産業課 産業創造係	A	継続	継続	地元企業のネットワークを活かして、新卒者の地元就職の促進を図る。首都圏を中心に企業誘致活動を展開し、鳥海南工業団地を中心として新たな企業立地に繋げる。

第2項 未来の産業を担う人材育成と発掘

該当事業なし

第3項 多様な働き方を支える就労環境への支援

該当事業なし

第2節 所得の向上と後継者育成

第1項 農林水産業の育成

総合発展計画			事業名	課・係名	担当課評価		町としての方向性	町としての考え方
章	節	項			評価値	方向性		
1	2	1	遊佐ブランド推進事業 (創業支援センター事業)	産業課 産業創造係	B	改善	改善	収益性のある特産品開発と販路拡大を目指し、インターネット活用の販路拡大に対応するため、協議会形式ではなく、遊佐町総合交流促進施設(株)の事業部へ事業を移管する。
1	2	1	あわびの放流事業	産業課 水産林業係	A	継続	継続	この事業の効果が漁業収益につながることを期待し、継続して実施する。
1	2	1	あわび陸上養殖実証事業	産業課 水産林業係	A	継続	継続	民間業者への委託による飼育体制の確立、販路の拡大、またブランド等との連携による加工品の開発について努める。
1	2	1	サケふ化場増設更新事業	産業課 水産林業係	A	継続	継続	補助事業を活用した施設整備を継続し、自主放流数の増加につなげる。めじか地域振興協議会を中心に遊佐町の鮭のPR活動を行いながら、将来のふ化事業の担い手育成と、加工品販売収入の増加に努める。
1	2	1	チャレンジファーム事業	産業課 農業振興係	B	改善	継続	県外からの新規就農希望者へ対応するため、定住促進係と連携しながらリモート相談を実施するほか都市圏での相談会への参加を検討する。

1	2	1	まるごと遊佐推進事業	産業課 農業振興係	D	縮小	継続	JA、生活クラブと協議しながら次年度以降の首都圏での事業実施を検討する。
1	2	1	産地化作物転作促進支援事業	産業課 農業振興係	A	継続	継続	国の交付金の見直しの検討状況を注視し、水田畑地化の施策との連携を図りながら、収益性の高い園芸作物への転換に向けてより事業の見直しを検討していく。

第2項 既存産業の競争力を引き出す経営基盤の強化

該当事業なし

第3節 地域資源を活かした観光振興

第1項 効果的な情報発信と観光活動の強化

総合発展計画			事業名	課・係名	担当課評価		町としての 方向性	町としての考え方
章	節	項			評価値	方向性		
1	3	1	観光イベント実施事業	企画課 観光物産係	A	継続	継続	その時勢の観光客のニーズを的確に捉え、そのニーズに即した商品が提供できるよう関係機関と連携し誘客の促進に努める。
1	3	1	観光情報提供事業	企画課 観光物産係	B	改善	改善	観光協会への観光案内一元化がより有益になるように、町ホームページを整理する。

第2項 観光客受け入れ体制の整備・拡充

総合発展計画			事業名	課・係名	担当課評価		町としての 方向性	町としての考え方
章	節	項			評価値	方向性		
1	3	2	グリーン&ブルーツーリズム実施事業	企画課 観光物産係	D	縮小	縮小	観光協会で行っている鳥海山麓誘客促進事業の中で新しくメジャー化された、遊佐町教育旅行・合宿誘致促進事業の助成を利用した誘致を強化していく。

第3項 高速道路を活用した拠点整備

該当事業なし

第2章 若者に選んでもらえるまちづくり《移住・定住》

第1節 移住（帰郷・新規転入）希望者の定住促進

第1項 遊佐が好きになる、住みたくなる情報の発信と回帰支援

総合発展計画			事業名	課・係名	担当課評価		町としての 方向性	町としての考え方
章	節	項			評価値	方向性		
2	1	1	IJUターン就職支援事業	企画課 定住促進係	A	継続	改善	IJUターンのための就職説明会へ参加する際の交通費補助の対象を見直し、引き続き制度の周知を図る。

2	1	1	若者ふるさと回帰推進事業	企画課 定住促進係	C	縮小	改善	遊佐町とのつながりを保ち、将来移住を検討する際に本町を選んでもらうきっかけづくりのため事業継続が必要。町公式LINE等を活用し、町外在住の本町出身者に情報を発信しながら、引き続き交流会等のイベント開催を行う。
2	1	1	移住・交流推進事業	企画課 定住促進係	A	継続	継続	対面での移住相談や移住体験ツアーへの参加は、移住につながる可能性が高いため引き続き積極的に実施していく。また、それらにつなげるための情報発信としてI J Uターンポータルサイトを中心に魅力的でわかりやすい情報を掲載していく。NPO法人いなか暮らし遊佐応援団からは移住前後のきめ細かいサポートを実施していただき、今後も関係者同士連携して事業を進める。
2	1	1	移住交流推進支援事業	企画課 定住促進係	B	改善	改善	移住促進と遊佐町での暮らしを情報発信するため、首都圏で開催する夢都里路くらぶフェアへの参加再開と、事業の周知を行い新規団体の事業活用を促しながら、関係団体と連携を密にして進める。

第2項 空き家の活用による移住者支援とアフターケアの充実

総合発展計画			事業名	課・係名	担当課評価		町としての 方向性	町としての考え方
章	節	項			評価値	方向性		
2	1	2	空き家再生地域おこし事業	企画課 定住促進係	A	継続	継続	広報・町HPだけでなく、移住相談や産業部局での起業相談等の機会を利用し事業周知を図りながら取り組む。
2	1	2	定住住宅空き家活用事業	企画課 定住促進係	B	改善	改善	広報・町HPだけでなく、空き家相談や集落支援員の集落巡回等の機会を捉え事業周知を行い、町内の賃貸住宅確保に取り組む。
2	1	2	集落支援員活用事業	企画課 定住促進係	A	継続	継続	移住希望者・移住者のニーズに対応できるよう、町・集落・関係団体と連携して取り組む。
2	1	2	移住世帯上水道使用料補助金交付事業	企画課 定住促進係	A	継続	継続	移住相談等の機会に特徴ある取り組みとしてPRを行いながら、庁内他係と連携して計画的に取り組む。

第2節 若者の定住促進

第1項 若者対象事業の充実

総合発展計画			事業名	課・係名	担当課評価		町としての 方向性	町としての考え方
章	節	項			評価値	方向性		
2	2	1	結婚支援推進事業	企画課 定住促進係	D	縮小	改善	近隣自治体の動向を踏まえ、結婚支援推進員制度を整理する。若者交流事業については、実行委員会に民間委員から入っていただき、これまでの実績等を踏まえ内容を検討する。

第2項 未来を担う“ゆざっ子”のはばたき支援

総合発展計画			事業名	課・係名	担当課評価		町としての 方向性	町としての考え方
章	節	項			評価値	方向性		
2	2	2	遊佐高校魅力化地域連携支援事業	企画課 企画課	A	継続	改善	県外生徒の受入れ数の増加と比例し、住宅運営費を含めた事業費は増加するため、県外生徒だけに頼ることなく、地域内からの入学者確保に向けた高校魅力化の取組みを関係課と連携し、実施していく。
2	2	2	遊佐高校就学支援事業 (キャリアアップ支援)	教育課 総務学事係	A	継続	継続	引続き事業周知を図っていくとともに近隣市町の中学校へ遊佐高校の魅力化事業としてPRしていくとともに、新たなニーズがあれば柔軟に対応していく。
2	2	2	若者住宅建設支援（賃貸住宅建設）事業	地域生活課 管理係	B	改善	改善	不足戸数の解消に繋がるように民間事業者への周知を続けていく。
2	2	2	若者住宅建設支援（建設支援）事業	地域生活課 管理係	A	継続	継続	需要の高い事業であるため、広報活動を引き続き行い、定住に繋がるように事業に取り組む。
2	2	2	若者住宅建設支援（取得支援）事業	地域生活課 管理係	A	継続	継続	町内外に対しての広報活動を行うとともに定住促進係との連携を強化し、予算額に注視しながら事業に取り組んでいく。

第3項 家族の絆づくり支援

総合発展計画			事業名	課・係名	担当課評価		町としての 方向性	町としての考え方
章	節	項			評価値	方向性		
2	2	3	舞鶴地区若者定住促進事業	企画課 定住促進係	A	継続	改善	全体的に不足している賃貸住宅の確保、定住に向けた宅地分譲により、若者移住者の受入れ、若者転出の防止を図る必要があることから、宅地造成予定の町有地、残存民有地の取得も含め活用方法を再検討する。
2	2	3	木造住宅耐震診断事業	地域生活課 管理係	B	改善	改善	耐震診断の必要性の周知を毎年度行い、事業に繋げていく。
2	2	3	持家住宅リフォーム支援金事業	地域生活課 管理係	A	継続	継続	需要の高い事業のため、予算残額に注視しながら事業に取り組んでいく。
2	2	3	住宅リフォーム資金利子補給事業	地域生活課 管理係	B	改善	改善	リフォーム支援金事業との性質の違いを周知し、利用に繋がるように事業に取り組む。

第4項 地域との絆づくり支援

該当事業なし

第3章 共に寄り添い、助け合い、幸せを実感できるまちづくり《子育て・健康・福祉》

第1節 子育てしやすい環境の整備

第1項 出産・子育てにおける切れ目のない環境整備

総合発展計画			事業名	課・係名	担当課評価		町としての方向性	町としての考え方
章	節	項			評価値	方向性		
3	1	1	思春期赤ちゃんふれあい体験事業	健康福祉課 健康支援係	A	継続	統合	今後も（新）遊佐小学校で「いのちの授業」として年1回開催していく。また、本事業は「母子保健」事業の一部として実施してきたものであり、コロナ禍を経て、事業規模の縮小を行った事業となっている。そのため、本事業は既存事業である「母子保健事業」と統合し、効率的に事業を実施していく。
3	1	1	幼児むし歯予防事業	健康福祉課 健康支援係	A	継続	継続	歯科指導プログラムに沿って、子どもの成長に合わせた媒体を工夫しながら計画的に事業を実施していく。

第2項 充実した子育て支援体制の推進

総合発展計画			事業名	課・係名	担当課評価		町としての方向性	町としての考え方
章	節	項			評価値	方向性		
3	1	2	放課後児童クラブ事業	健康福祉課 子育て支援係	A	継続	継続	2つの放課後児童クラブ、保護者、放課後子ども教室、関係各課との情報共有や意見交換を継続し、児童が安心して放課後を過ごすことのできる環境の整備を進めていく。
3	1	2	子育て支援センターの運営事業	健康福祉課 子育て支援係	A	継続	継続	新型コロナウイルス感染症の感染防止策をとりつつ、近隣施設の状況や利用者の意向をふまえて、土日の事業開催について検討を続ける。
3	1	2	育児支援家庭訪問事業（エンゼルヘルパー派遣事業）	健康福祉課 子育て支援係	C	縮小	継続	授乳期の手が離せない世帯など一定の需要はある。資金面だけでなく、サービス面で子育て支援の充実のため事業を実施する。
3	1	2	すくすくゆざっ子支援金支給事業	健康福祉課 子育て支援係	A	継続	継続	子育て世帯の関心が高い事業であることを踏まえ、支給処理事務については安定して確実性の高いシステムの構築に努める。
3	1	2	子育て世帯移住奨励金交付事業	健康福祉課 子育て支援係	A	継続	継続	定住を目的として移住した子育て世帯に対する経済的負担の軽減及び安心して子育てができる環境の創出のため、今後も関係する係と連携し、一層の子育て支援の充実のために着実に事業を実施していく。

第2節 健康でいきいきと暮らせる環境整備

第1項 高齢者のいきがいくつくりと社会参加の推進

総合発展計画			事業名	課・係名	担当課評価		町としての 方向性	町としての考え方
章	節	項			評価値	方向性		
3	2	1	介護予防事業	健康福祉課 健康支援係	A	継続	継続	通いの場の有効性やメリットを記したチラシの作成による参加者の勧奨、福祉推進委員会における事業説明をとおして地域の理解も得られるよう支援する。また、参加者のモチベーション維持のため、リハ職派遣の継続、フレイル予防に着目した健康教室の実施による継続支援を行っていく。

第2項 安心してくらすせる環境整備

総合発展計画			事業名	課・係名	担当課評価		町としての 方向性	町としての考え方
章	節	項			評価値	方向性		
3	2	2	高齢者福祉タクシー事業	健康福祉課 福祉係	B	改善	改善	高齢者が免許返納後も安心して外出できるよう、サポートを行っていく。また、今現在の交付枚数や利用方法について、月々の利用状況から実態を把握し、よりよい制度にしていく。
3	2	2	高齢者鍼灸マッサージ助成事業	健康福祉課 福祉係	A	継続	継続	利用者にとって通院への周知が、一番効果的な方法だと考えられる。広報だけでなく、院内への申請書類常設等、今後も連携を図りながら取り組む。

第3項 健康づくりの推進と介護予防の充実

総合発展計画			事業名	課・係名	担当課評価		町としての 方向性	町としての考え方
章	節	項			評価値	方向性		
3	2	3	介護予防事業（ゆったり健康サロン）	健康福祉課 介護保険係	A	継続	継続	どのようなことを実施しているかわかるような周知方法を検討する。令和5年度は福祉推進委員会及び社会福祉推進委員会で事業について周知をする。
3	2	3	いきいき教室事業	健康福祉課 介護保険係	B	改善	改善	周知方法が課題であったため、単に、事業の内容の紹介だけではなく、教室に参加する前、参加した後がわかるような動画を作るなど、教室に参加することで、利用者の体の変化がわかるような形での周知方法を検討した。令和5年度は動画を活用し周知を図り、目標人数を達成する。
3	2	3	寝具乾燥消毒サービス事業	健康福祉課 福祉係	A	継続	継続	広報周知だけではなく、引き続き介護支援専門員や民生委員等と連携し、高齢者の衛生的な環境づくりのため、計画的に事業を進める。

3	2	3	ゆぎ健康マイレージ事業	健康福祉課 健康支援係	B	改善	改善	成果指標設定の考え方について、これまで登録者の割合としていたが、事業の周知と合わせ健康づくりの継続に重きを置き、「20ポイント達成者数」とする。健康づくりを楽しみながら行えること、継続することの大切さを随時説明していく。
3	2	3	若年者健診事業	健康福祉課 健康支援係	A	継続	統合	今後も対象者に対して若年者健診の周知を行うとともに、健診を受けやすい体制の整備を行っていく。ホームページや地域のイベント等で機会をとらえてPRを行い、早期の健診受診を促し、受診率向上を図っていく。 なお、当事業は、既存事業である「特定健診事業」、「後期高齢者健診事業」との統合整理が可能であることから、「特定健診事業（わかば・後期高齢を含む）」に統合する。
3	2	3	各種がん検診精密検査未受診者対策の推進	健康福祉課 健康支援係	A	継続	統合	精密検査が実施できる医療機関の紹介や精密検査方法についてはパンフレットを活用し、周知を図るとともに対象者の不安を軽減できるよう支援していく。今後も文書での通知のほか、電話や訪問で未受診者の状況確認と受診勧奨を継続していく。 なお、本事業については、既存事業である「各種がん検診事業」との関連が強く、統合整理が可能であることから、「がん検診受診率向上事業」に統合する。
3	2	3	各種がん検診事業(胃、大腸、子宮、乳、肺)	健康福祉課 健康支援係	A	継続	統合	今後も、ドック健診・特定健診の受診勧奨と連携し、同時実施できるものは同時に実施することで、費用的にも効率的な受診勧奨を実施していく。 なお、本事業については、既存事業である「各種がん検診精密検査未受診者対策事業」との関連が強く、統合整理が可能であることから、「がん検診受診率向上事業」に統合する。
3	2	3	特定健診	健康福祉課 健康支援係	A	継続	統合	今後も各協力機関と協力をしながら、未受診者の傾向を分析した上で、効果的で効率的な勧奨を実施していく。 なお、当事業は、既存事業である「わかば健診事業」、「後期高齢者健診事業」との関連が強く、統合整理が可能であることから、「特定健診事業（わかば・後期高齢を含む）」に統合する。
3	2	3	特定保健指導	健康福祉課 健康支援係	A	継続	継続	第三期特定健診計画に基づき、今後も計画的に保健指導を実施するとともに、対象者の生活状況に寄り添い自らの生活習慣改善に取り組めるよう支援を継続していく。
3	2	3	高齢者体力アップ事業	健康福祉課 健康支援係	B	改善	改善	体力の維持・向上や介護予防のため、運動の継続は効果的である。講座終了後も運動を継続できるよう、参加者へ自主サークルや運動施設の紹介、自宅でできる運動の紹介を行っていく。参加者については、ゆぎ元気サポーターの協力を得て、講座の周知、運営を行っていく。（ゆぎ元気サポーターのつどいの開催）

3	2	3	食生活改善推進員養成事業	健康福祉課 健康支援係	A	継続	継続	新型コロナウイルス感染症の感染予防対策を徹底しながら、伝達講習を行っていく。また、講座の献立や内容をまとめたものを地区推進員が集落に配布する他、町内公共施設、保育施設、店舗等に設置したり、LINEを活用するなどして食生活に活用できるように、地域に広く周知、情報提供を行っていく。
3	2	3	訪問口腔衛生指導	健康福祉課 健康支援係	A	継続	継続	在宅療養中の方にとって町歯科衛生士による訪問口腔衛生指導は身近な利用しやすい事業として利用されている。治療が必要な場合は町内の歯科医療機関から快く応じていただいている現状もあり、今後も継続して取り組んでいく。

第4項 医療・介護保険事業の推進

総合発展計画			事業名	課・係名	担当課評価		町としての 方向性	町としての考え方
章	節	項			評価値	方向性		
3	2	4	医療制度の周知事業	健康福祉課 国民健康保険係	A	継続	継続	医療制度を理解することは、被保険者が安心して医療の給付を受けることや、医療費の適正化に繋がる。マイナンバーカード関連など年々状況が変化しているので、被保険者にとってわかりやすく、かつ納得できる広報記事・チラシ作成等に努める。
3	2	4	ライフアドバイザー設置事業	健康福祉課 国民健康保険係	C	縮小	廃止	ライフアドバイザーは現在「有償ボランティア」という身分で業務をおこなってきたが、その身分で現金徴収をおこなうのは望ましくないという指摘があり、庄内管内市町村に確認したところ、このような形で事業をおこなっている市町村は無いことがわかった。令和5年度以降は会計年度任用職員を雇用し、正職員が庁舎外での徴収業務に注力できる体制を取ることにした。よって、ライフアドバイザー事業は廃止とする。
3	2	4	家族介護継続支援事業	健康福祉課 介護保険係	B	改善	改善	家族の精神的・経済的負担を軽減するための事業であるため、継続して実施するために、補助事業を活用せず実施している自治体の情報を収集し検討する。
3	2	4	重度心身障がい者紙おむつ支給事業	健康福祉課 福祉係	A	継続	継続	介護者にとって、日用消耗品であるおむつの購入費用は大きな負担となっており、必要不可欠な事業であると思われる。家族が抱える精神的、経済的負担を軽減し、在宅での介護を支援していけるよう、今後も継続して実施していく。
3	2	4	地域医療充実支援事業	健康福祉課 健康支援係	D	縮小	改善	今後も町内医療機関の実情把握や制度周知に努め、地域医療の安定化を図るために助成金の交付及び奨学金の貸付を継続していく。

第3節 共に助け合う地域の絆の再生

第1項 地域福祉に対する町民意識の醸成

該当事業なし

第2項 地域福祉を担う人材育成

総合発展計画			事業名	課・係名	担当課評価		町としての 方向性	町としての考え方
章	節	項			評価値	方向性		
3	3	2	在町外国人等の「暮らし応援」助成金交付事業	企画課 企画係	A	継続	継続	引き続き事業の周知を行いながら、在町外国人の定着・生活継続に資するよう進めていく。

第3項 地域福祉を支える仕組みの充実

総合発展計画			事業名	課・係名	担当課評価		町としての 方向性	町としての考え方
章	節	項			評価値	方向性		
3	3	3	地域支え合い体制づくり事業補助金	健康福祉課 福祉係	D	縮小	継続	未活用集落への事業の周知に引き続き取り組むとともに、百歳体操の実施状況やニーズ調査を行った上で、補助金交付対象の拡大について検討する。

事務事業評価シート

令和4年度

			事業No.	11			
所管課・係名	産業課 水産林業係	予算科目	6 款	2 項	1 目		
事務事業名	森林整備ボランティア事業	予算大事業名	林業振興一般経費				
総合発展計画【章】	第4章 鳥海山の豊かな自然と調和した快適な暮らしの創造《くら・防災・環境》						
総合発展計画【節】	第1節 良好な地域環境の保全						
総合発展計画【項】	第1項 鳥海山の湧水と自然生態系の保全						
事業の概要	目的 ①西山地域のクロマツ林内整備 ②森林整備ボランティアの育成(若手)						
	内容 西山地域内クロマツ林の枝打ち、林内の下刈り、支障木伐採などの森林整備ボランティア活動を実施する。ボランティアの育成については、地域の人が指導者となり実施する。						
令和2年度分の外部評価の意見	関係機関と連絡を密にし、これからも進めていただきたい。					方向性	
						改善	
令和3年度分の町としての考え方	これまでの継続実施により、森林保全に対する意識醸成が図られており、今後も継続して実施していきたい。					方向性	
						継続	
令和4年度に対応した主な活動	町内外へ事業案内通知の送付						
予算・決算(千円)	令和2年決算額	令和3年決算額	令和4年度予算額	令和4年決算見込額			
	0	10	20	10			
令和4年度決算内訳(円)	傷害保険加入 @50円×200人=10,000円						
成果指標設定の考え方	ボランティア参加者数						
成果指標の年度経過	令和2年	令和3年	令和4年	目標年度	令和4年		
	0(中止)	200人	45人	目標値	150人		
評価欄							
担当課評価基準	有効性	妥当性	貢献度	効率性	活動量	評価値	方向性
	4	4	4	4	3	A	継続
令和4年度担当課年度評価(方向性の理由)	雨天により西浜周辺の活動のみとなったが、本事業のボランティア活動が“遊佐町が実施する森林整備ボランティア”として根づいてきているため、今後も継続して実施していきたい。						
課題(改善すべき点や方向性)	小学校の統合直後ということで、令和5年度からの小学生の参加体制ができていない。今後、事業への受け入れ態勢を整えるため、砂丘地砂防林環境整備推進協議会及び小学校と協議し、参加体制の構築に努めていく。						
外部評価委員会の意見	関係機関と連携を密にし、これからも進めていただきたい。					方向性	
						継続	
町としての考え方	森林保全に対する意識醸成の機会を絶やさず、将来を担う世代へ引き継ぐ事業として、継続して実施する。					方向性	
						継続	

事務事業評価シート

令和4年度

事業No.	242
-------	-----

所管課・係名	企画課 観光物産係	予算科目	7 款 1 項 3 目				
事務事業名	お花島インストラクターによる高山植物の保護啓発活動事業	予算大事業名	観光誘客対策事業				
総合発展計画【章】	第4章 鳥海山の豊かな自然と調和した快適な暮らし《くらし・防災・環境》						
総合発展計画【節】	第1節 良好な地域環境の保全						
総合発展計画【項】	第1項 鳥海山の湧水と自然生態系の保全						
事業の概要	目的 高山植物の保護啓発						
	内容 ①広報や町のホームページへ掲載し募集 ②鳥海山登山(御浜コース、山頂コース)と高山植物の観察						
令和2年度分の外部評価の意見	これからも保護啓発手段を考え、進めていただきたい。				方向性		
					継続		
令和3年度分の町としての考え方	鳥海山・飛島ジオパークが世界を目指し活動を展開していることも踏まえ、関係機関と協議し、啓発体制の構築と発信に務める。				方向性		
					継続		
令和4年度に対応した主な活動	年2回フラワートレッキング(高山植物山行)を開催し、高山植物保護の啓発を実施した。また、県の自然公園管理員を観光情報連絡員として任命し、年間を通しパトロールを実施した。						
予算・決算(千円)	令和2年決算額	令和3年決算額	令和4年度予算額	令和4年決算見込額			
	120	619	820	820			
令和4年度決算内訳(円)	・鳥海山フラワートレッキング:700,000円 ・鳥海山観光情報連絡員活動謝礼:120,000円(60,000円×2名)						
成果指標設定の考え方	お花島保護インストラクター活動回数=登録者数(24人)×1.5回						
成果指標の年度経過	令和2年	令和3年	令和4年	目標年度	令和6年		
	30回	30回	30回	目標値	36回		
評価欄							
担当課評価基準	有効性	妥当性	貢献度	効率性	活動量	評価値	方向性
	3	4	4	3	2	B	改善
令和4年度担当課年度評価(方向性の理由)	登山の人気は上昇しており、フラワートレッキングも好評である。反面、登山者が増えればマナーについて危惧される面もある。ガイド協会からは、ツアー等の随行の際には高山植物の保護への理解、協力について登山をされる方へ説明いただいている。また、観光情報連絡から登山道の状況などの情報収集いただき、関係機関との共有を図ってはいるが、それを活用していく体制が課題となっている。						
課題(改善すべき点や方向性)	一般登山者への高山植物保護の啓発のための体制を整えるため、山形県、ガイド協会、山岳会、ジオパーク等の関係機関との連携を強化していく必要がある。 お花島インストラクターの活動も年々厳しくなっていることから、在り方の検討が必要である。						
外部評価委員会の意見	関係機関との連携を強化し、お花島インストラクター活動の周知および高山植物保護活動の体制を整えていただきたい。				方向性		
					改善		
町としての考え方	関係機関との連携強化、インストラクターの活動周知および高山植物保護活動の体制整備に努める。				方向性		
					改善		

事務事業評価シート

令和4年度

			事業No.	602			
所管課・係名	地域生活課 環境係		予算科目	4 款 1 項 3 目			
事務事業名	動物相談指導事業		予算大事業名	遊佐町動物相談・指導事業			
総合発展計画【章】	第4章 鳥海山の豊かな自然と調和した快適な暮らしの創造《暮らし・防災・環境》						
総合発展計画【節】	第1節 良好な地域環境の保全						
総合発展計画【項】	第3項 ごみの減量と環境美化の推進						
事業の概要	目的	適正な飼養を行うことができない猫の繁殖及び猫によるトラブルを未然に防止し、動物の愛護・管理の意識を啓発するとともに、良好な生活環境を保持する。					
	内容	①猫の避妊・去勢手術補助金(オス猫 5,000円、メス猫 8,000円) ②動物保護団体活動支援事業補助金					
令和2年度分の外部評価の意見	事業内容を精査して、実施していただきたい。						方向性
							改善
令和3年度分の町としての考え方	地域住民、動物愛護団体、行政サイド併せ、地域全体で猫の飼養方法・野良猫・迷い猫問題の改善、地域環境の向上を図って行きたい。飼い猫・野良猫管理に関する動物愛護、動物適正飼養に於ける啓蒙・啓発を図る。今後も地域共同員で地域猫活動を推奨していく。						方向性
							継続
令和4年度に対応した主な活動	①避妊・去勢助成金の交付 ②動物保護団体への支援(庄内アニマル倶楽部) ③「ゆぎ町でこワン・でこニャンまつり(里親会)」イベントの実施						
予算・決算(千円)	令和2年決算額	令和3年決算額	令和4年度予算額	令和4年決算見込額			
	704	679	1,230	1,131			
令和4年度決算内訳(円)	①飼い猫 オス19件95,000円・メス23件184,000円 野良猫 オス16件112,000円・メス35件490,000円 ②250,000円						
成果指標設定の考え方	避妊・去勢手術補助金交付件数						
成果指標の年度経過	令和2年	令和3年	令和4年	目標年度	令和4年		
	63件	85件	93件	目標値	63件		
評価欄							
担当課評価基準	有効性	妥当性	貢献度	効率性	活動量	評価値	方向性
	5	4	4	4	2	A	継続
令和4年度担当課年度評価(方向性の理由)	補助金額の執行状況を確認しつつ、適切な補助に努めた。庄内アニマル倶楽部と連携し、手続きに積極的に協力していただいている方もいる。また、広報や里親会イベントの機会を活用し周知に務めた。						
課題(改善すべき点や方向性)	生活困窮者が多頭飼育するケース防止のため、社会福祉協議会や・包括支援センターなど福祉分野との連携強化を図っていく必要がある。						
外部評価委員会の意見	福祉分野との連携を図って、事業を進めていただきたい。						方向性
							改善
町としての考え方	福祉との連携を密にしていくとともに、時代に即したペットとの生活のあり方を周知できるよう、広報・HPだけでなくイベントやセミナー開催を行っていくことで、適正飼養を呼びかけていく。						方向性
							改善

事務事業評価シート

令和4年度

事業No.	310
-------	-----

所管課・係名	地域生活課 環境係	予算科目	4 款 1 項 3 目				
事務事業名	八ツ面川管理支援事業	予算大事業名	八ツ面川施設管理費				
総合発展計画【章】	第4章 鳥海山の豊かな自然と調和した快適な暮らしの創造《くらし・防災・環境》						
総合発展計画【節】	第1節 良好な地域環境の保全						
総合発展計画【項】	第3項 ごみの減量と環境美化の推進						
事業の概要	目的 住民との協働による河川管理						
	内容 ①八ツ面川朝日堰水路管理組合や研究者、関係団体と連携し、及び希少動植物に係る研修会を実施する。 ②「あぜ道とせせらぎづくり」の一環である三世代交流活動(七夕灯籠流しなど)や他コミュニティ活動への支援を行う。						
令和2年度分の外部評価の意見	今後も計画的に進めていただきたい。				方向性		
					継続		
令和3年度分の町としての考え方	八ツ面川の清流なる環境を維持・保全する為に、住民の皆さんとの協働による環境整備を継続していくことで、風情溢れる景観を守っていく意義について、町民への啓蒙を図る。八ツ面川管理組合より、清流環境保全に向けての要望もあるので、町としても出来る限りの力添えをし、地域・行政が一体で取り組んでいるモデルとしていきたい。				方向性		
					継続		
令和4年度に対応した主な活動	コロナ禍により活動が制限される中であったが、駅前一区集落において親子行事が行われた。保全池の整備について検討を行ったが予算化には至らなかった。						
予算・決算(千円)	令和2年決算額	令和3年決算額	令和4年度予算額	令和4年決算見込額			
	1,752	1,113	1,922	1,509			
令和4年度決算内訳(円)	報償費100,000円、需用費(光熱水費、修繕費等)675,156円、委託料205,840円(水路管理・公衆トイレ清掃)、工事費(街路灯建直し)528,000円						
成果指標設定の考え方	八ツ面川保全管理活動の参加者数						
成果指標の年度経過	令和2年	令和3年	令和4年	目標年度	令和4年		
	1,310人	1,316人	1,206人	目標値	1,550人		
評価欄							
担当課評価基準	有効性	妥当性	貢献度	効率性	活動量	評価値	方向性
	3	4	5	4	2	A	継続
令和4年度担当課年度評価(方向性の理由)	コロナ禍の影響により縮小していた活動が、徐々に戻りつつある。反面集落構成員の高齢化により、手作業での管理が難しくなっている状況が見受けられる。						
課題(改善すべき点や方向性)	管理組合と協議を重ねながら、適切に管理していきたい。 保全池の老朽化した木橋の撤去が課題。生態系の保全を考慮した施工が必要						
外部評価委員会の意見	稀少生物保護のため、関係機関と協議を行い計画的に進めていただきたい。				方向性		
					改善		
町としての考え方	人力での管理作業には限界があり、浚せつ作業等重機を使った管理も必要と考える。管理組合と協議・連携しつつ、計画的な整備・管理を行う。				方向性		
					改善		

事務事業評価シート

令和4年度

			事業No.	43			
所管課・係名	地域生活課 環境係	予算科目	4 款 1 項 3 目				
事務事業名	エコすまいる・ゆざ育成支援事業	予算大事業名	エネルギー基本計画推進事業				
総合発展計画【章】	第4章 鳥海山の豊かな自然と調和した快適な暮らしの創造《暮らし・防災・環境》						
総合発展計画【節】	第1節 良好な地域環境の保全						
総合発展計画【項】	第3項 ごみの減量と環境美化の推進						
事業の概要	目 的 ごみ減量・再資源化・省エネ活動に対する町民への意識啓発						
	内 容 ①婦人会団体など11団体から推薦を受けた推進委員、地球温暖化防止活動推進委員、一般町民で構成する。 ②家庭や地域での省エネやごみ減量のための仕組みづくりの検討・研修会等の開催、普及啓発活動を通じて、全町的な地球温暖化対策の推進を図る。 ③その取り組みや人材育成の支援を行う。						
令和2年度分の外部評価の意見	事業を計画的に進めていただきたい。					方向性	
						継続	
令和3年度分の町としての考え方	世界のエネルギー情勢、2050年カーボンニュートラル社会に向けた国の政策等、省エネの意識付けは継続して取り組む必要がある。効果的な啓発を行うために、既存の事業継続にとらわれず取り組んでいきたい。					方向性	
						継続	
令和4年度に対応した主な活動	<ul style="list-style-type: none"> ・カーボンニュートラルセミナーの開催 ・緑のカーテン普及事業(ゴーヤの苗配布) ・石けんづくり教室の開催 ・標語、川柳コンクールの実施 						
予算・決算(千円)	令和2年決算額	令和3年決算額	令和4年度予算額	令和4年決算見込額			
	135	356	245	206			
令和4年度決算内訳(円)	協力団体謝礼(11団体)115,000円、標語・川柳コンクール賞品(図書カード)29,000円 ゴーヤ苗購入61,600円						
成果指標設定の考え方	各事業参加率の平均(推進委員会・研修会等の参加者数/推進委員会・研修会等の対象者数)						
成果指標の年度経過	令和2年	令和3年	令和4年	目標年度	令和4年		
	35%	89%	34%	目標値	70%		
評価欄							
担当課評価基準	有効性	妥当性	貢献度	効率性	活動量	評価値	方向性
	3	3	3	2	2	D	縮小
令和4年度担当課年度評価(方向性の理由)	コロナ禍の影響も徐々に解消し、少しずつではあるが、研修会の開催等できるようになってきた。R4年度は県の講師派遣事業を活用し、研修会を開催することができた。						
課題(改善すべき点や方向性)	町内の女性団体を中心に構成されているが、各団体ともに活動が縮小傾向にあり、取り組みの枠組みを見直す時期にきている。国・県の施策など踏まえつつ取り組んでいきたい。						
外部評価委員会の意見	関係団体と協議を進め、今後の事業の進め方について検討をしていただきたい。					方向性	
						縮小	
町としての考え方	家庭における省エネの推進は、カーボンニュートラル社会の実現のために必要不可欠な取り組みの一つであるので、効果的・効率的な取り組みができるよう見直す。					方向性	
						縮小	

事務事業評価シート

令和4年度

			事業No.	42			
所管課・係名	地域生活課 環境係	予算科目	4 款	2 項	2 目		
事務事業名	生ごみ処理機器購入助成事業	予算大事業名	塵芥処理一般経費				
総合発展計画【章】	第4章 鳥海山の豊かな自然と調和した快適な暮らし《暮らし・防災・環境》						
総合発展計画【節】	第1節 良好な地域環境の保全						
総合発展計画【項】	第3項 ごみの減量と環境美化の推進						
事業の概要	目的 生ごみの減量化及び堆肥化による有効利用の促進						
	内容 ①電気式 購入価格の1/2(上限5万円)、自然発酵式購入価格の1/2(上限1万円) ②平成22年度以降、電気式 購入価格の1/3(上限2万円)、自然発酵式 1/2(上限5千円)から補助枠を拡充して生ごみ減量化を推進した。						
令和2年度分の外部評価の意見	事業の周知・PRを図り、今後も普及に努めていただきたい。				方向性		
					改善		
令和3年度分の町としての考え方	ゴミの減少化、排出物の有効活用によるエコ環境を目指し、コンポスト購入への補助を継続、地域環境の改善、優しい地球環境を目指す。電気式コンポストは町内業者だけではなく、町外業者、通信販売外からの購入ルートもある為、様々な購入方法に関しても行政サイドで把握し、より町民の方が購入しやすい事業体制を整える。				方向性		
					継続		
令和4年度に対応した主な活動	広報「エコすまいる通信」による周知に努めた。						
予算・決算(千円)	令和2年決算額	令和3年決算額	令和4年度予算額	令和4年決算見込額			
	133	108	150	108			
令和4年度決算内訳(円)	・自然発酵式:8件・22,100円 ・電気式:3件・85,500円						
成果指標設定の考え方	補助金交付申請件数						
成果指標の年度経過	令和2年	令和3年	令和4年	目標年度	令和4年		
	15件	7件	11件	目標値	10件		
評価欄							
担当課評価基準	有効性	妥当性	貢献度	効率性	活動量	評価値	方向性
	5	5	4	4	2	A	継続
令和4年度担当課年度評価(方向性の理由)	環境意識の高まりにより、一定の需要はあるので、引き続き周知に努めていく。						
課題(改善すべき点や方向性)	生ごみの排出量(ゴミの水分量)は酒田地区広域行政組合管内の課題にもなっているので、広報やHPの活用による一層の周知・啓発に努めたい。						
外部評価委員会の意見	生ごみの減量化を町民の意識付けになるよう周知・PRに努めていただきたい。				方向性		
					改善		
町としての考え方	生ごみの減量は、ごみの総排出量の抑制につながり、それは財政負担の低減に寄与するので、周知・啓発の方法を見直すとともに、処理機の普及を進める。				方向性		
					改善		

事務事業評価シート

令和4年度

			事業No.	507			
所管課・係名	地域生活課 環境係	予算科目	4 款 1 項 3 目				
事務事業名	環境・エネルギーに関する研修会開催事業	予算大事業名	環境基本計画推進事業				
総合発展計画【章】	第4章 鳥海山の豊かな自然と調和した快適な暮らしの創造《くらし・防災・環境》						
総合発展計画【節】	第1節 良好な地域環境の保全						
総合発展計画【項】	第4項 再生可能エネルギーの効果的活用						
事業の概要	目的 町民等への環境学習の提供						
	内容 ①鳥海山をめぐる水環境保全やエネルギー研修会を通じて、町民の意識啓発を図る。 ②環境保全に向けた町民一人ひとりの具体的行動の契機づけと意識向上を図るため、シンポジウムや講演会、講習会、フィールドワークなどを実施する。						
令和2年度分の外部評価の意見	計画的に進めていただきたい。				方向性		
					継続		
令和3年度分の町としての考え方	洋上風力発電事業など、再生可能エネルギーを取り巻く状況は常に変化している。町民の皆さんに対し、環境保全の意識啓発だけでなく、最新のエネルギー動向などの情報を伝えられるよう取り組んでいきたい。				方向性		
					改善		
令和4年度に対応した主な活動	①一般向けカーボンニュートラルセミナーの開催(11/7)参加 32人 ②職員対象カーボンニュートラルセミナーの開催(2/15)参加 56人						
予算・決算(千円)	令和2年決算額	令和3年決算額	令和4年度予算額	令和4年決算見込額			
	0	0	100	9			
令和4年度決算内訳(円)	講師謝礼 8,760円						
成果指標設定の考え方	学習会・研修会の参加者人数						
成果指標の年度経過	令和2年	令和3年	令和4年	目標年度	令和4年		
	47人	0人	88人	目標値	100人		
評価欄							
担当課評価基準	有効性	妥当性	貢献度	効率性	活動量	評価値	方向性
	3	5	4	4	2	A	継続
令和4年度担当課年度評価(方向性の理由)	県の講師派遣事業を活用し、町民向けのセミナーを開催することができた。また、国による洋上風力発電事業が一定程度進んでいるので、職員向けのエネルギーと洋上風力発電に係る研修会を開催することができた。						
課題(改善すべき点や方向性)	県の研修助成事業や民間の社会貢献事業などを活用し、研修会など最新の情報を町民・職員に提供できる機会を増やすよう努める。						
外部評価委員会の意見	事業内容を町民にPRを行うとともに、研修内容の充実に努めていただきたい。				方向性		
					改善		
町としての考え方	エネルギー分野の進歩は早く、次々と新しい技術や取り組みが生まれているので、そうした情報を広く伝えられるように、情報提供の機会を増やす。				方向性		
					改善		

事務事業評価シート

令和4年度

			事業No.	353			
所管課・係名	地域生活課 環境係		予算科目	4 款 1 項 3 目			
事務事業名	再生可能エネルギー設備導入補助事業		予算大事業名	エネルギー基本計画推進事業			
総合発展計画【章】	第4章 鳥海山の豊かな自然と調和した快適な暮らしの創造《暮らし・防災・環境》						
総合発展計画【節】	第1節 良好な地域環境の保全						
総合発展計画【項】	第4項 再生可能エネルギーの効果的活用						
事業の概要	目的	地球温暖化防止に寄与し、地域経済の活性化やエネルギーに関する意識啓発を図る					
	内容	①町内に住所を有する(転入する予定者含む。)個人または事業所に対し、再生可能エネルギー設備を設置する経費に対して助成を行う。 ②県内施工業者が施工する工事によって新たに設置する者に対して助成を行う。					
令和2年度分の外部評価の意見	助成金制度の普及を図りながら今後も事業を進めていただきたい。						方向性
							継続
令和3年度分の町としての考え方	再生エネルギー設備の導入は、今後技術の進歩に合わせ、さらに多様な対応が必要になってくると思われる。国・県などの動向を見つつ、対応していきたい。						方向性
							継続
令和4年度に対応した主な活動	町・県HPでの周知						
予算・決算(千円)	令和2年決算額	令和3年決算額	令和4年度予算額	令和4年決算見込額			
	1,025	495	1,650	1,528			
令和4年度決算内訳(円)	太陽光発電設備助成:10件・1,378,000円 薪ストーブ設置助成:3件・150,000円						
成果指標設定の考え方	補助件数						
成果指標の年度経過	令和2年	令和3年	令和4年	目標年度	令和4年		
	11件(73%)	5件(33%)	13件(87%)	目標値	15件		
評価欄							
担当課評価基準	有効性	妥当性	貢献度	効率性	活動量	評価値	方向性
	4	4	3	4	2	A	継続
令和4年度担当課年度評価(方向性の理由)	役場前の若者住宅造成地での建築が多かったことに加え、電気料の高騰の影響により、例年より申請数が伸びたと思われる。						
課題(改善すべき点や方向性)	住宅建築数に影響を受けるので、年度ごとの件数にバラツキはあるが、県等の補助制度の動向を見つつ、町としての補助内容を検討・見直ししていく。						
外部評価委員会の意見	助成内容の見直しを行い、事業を進めていただきたい。						方向性
							改善
町としての考え方	再生可能エネルギーの導入が、より効果的に進められるよう最新の動向を見据えながら、計画的に進めていく。						方向性
							改善

事務事業評価シート

令和4年度

			事業No.	105			
所管課・係名	総務課 危機管理係	予算科目	3 款 3 項 2 目				
事務事業名	山岳救助訓練事業	予算大事業名	山岳救助訓練費				
総合発展計画【章】	第4章 鳥海山の豊かな自然と調和した快適な暮らしの創造《くらし・防災・環境》						
総合発展計画【節】	第2節 安心してくらす地域づくり						
総合発展計画【項】	第1項 防災・克雪対策の推進						
事業の概要	目 的 搜索救助活動体制の充実						
	内 容 搜索救助用装備品の整備のための補助金の交付						
令和2年度分の外部評価の意見	搜索救助用の装備品の整備を継続的に実施していただきたい。			方向性			
				継続			
令和3年度分の町としての考え方	山岳遭難救助用装備品を計画的に整備するため、引き続き支援を継続する。また、隊員の積極的な研修や訓練への参加により、スキルアップを図る。			方向性			
				継続			
令和4年度に対応した主な活動	山岳遭難救助用装備品の計画的な整備を支援した。また、県警察本部が実施する雪山遭難救助訓練への参加を促し、隊員のレベルアップを図った。						
予算・決算(千円)	令和2年決算額	令和3年決算額	令和4年度予算額	令和4年決算見込額			
	72	72	72	72			
令和4年度決算内訳(円)	救助隊員装備補助金 72,000円 (購入装備品 ツェルト(簡易テント)1 隊員靴3足 ヘルメット3個)						
成果指標設定の考え方	整備率＝整備実績/整備計画事業費×100						
成果指標の年度経過	令和2年	令和3年	令和4年	目標年度	令和13年		
	99.4% (1192/1198)	9.3% (72/772)	18.6% (144/772)	目標値	100%		
評価欄							
担当課評価基準	有効性	妥当性	貢献度	効率性	活動量	評価値	方向性
	5	5	5	4	3	A	継続
令和4年度担当課年度評価(方向性の理由)	この事業は、山岳遭難救助隊員装備品の年度購入計画に基づき、装備品購入に対する支援を行う事業であり、計画的な装備品の購入が必要であるため継続とした。						
課題(改善すべき点や方向性)	山岳遭難救助隊員の高齢化や減少に伴い、新たな隊員の確保が急務となっている。						
外部評価委員会の意見	計画的に進めていただきたい。			方向性			
				継続			
町としての考え方	山岳遭難救助隊員の確保と、救助技術の向上に努め、装備品を計画的に整備する。			方向性			
				継続			

事務事業評価シート

令和4年度

事業No.	442
-------	-----

所管課・係名	地域生活課 土木係	予算科目	8 款 2 項 1 目				
事務事業名	集落内自主除雪支援事業	予算大事業名	除雪経費				
総合発展計画【章】	第4章 鳥海山の豊かな自然と調和した快適な暮らし《暮らし・防災・環境》						
総合発展計画【節】	第2節 安心してらせる地域づくり						
総合発展計画【項】	第1項 防災・克雪対策の推進						
事業の概要	目的 冬期間の交通及び歩行者の通行確保						
	内容 除雪機械の入れない狭隘な町道について、各集落が主体となって農作業機械を使用し自主的に除雪作業を実施している。使用機械への燃料代を支援している。1団体最大12万円まで支援。						
令和2年度分の外部評価の意見	集落の実情に合わせて、事業を進めていただきたい。				方向性		
					継続		
令和3年度分の町としての考え方	冬期間における集落内の生活道路の交通確保を図るうえで重要な事業である。協力体制の高齢化等課題はあるが、今後も継続して事業を推進していく。				方向性		
					継続		
令和4年度に対応した主な活動	各地区区長会において事業説明会を実施し、集落への協力をお願いした。 1hあたりの助成金を増額 1,000円→1,100円						
予算・決算(千円)	令和2年決算額	令和3年決算額	令和4年度予算額	令和4年決算見込額			
	4,633	6,571	5,000	3,369			
令和4年度決算内訳(円)	申請団体数 71団体 集落内自主除雪作業助成金(報償費) 3,369,000円						
成果指標設定の考え方	農作業機械を保有していない集落があり、当制度を活用できない集落があることから、指標設定が困難である。						
成果指標の年度経過	令和2年	令和3年	令和4年	目標年度	令和4		
	4,633千円	6,571千円	3,369千円	目標値	H29の実績値 4,291千円		
評価欄							
担当課評価基準	有効性	妥当性	貢献度	効率性	活動量	評価値	方向性
	3	5	5	4	2	A	継続
令和4年度担当課年度評価(方向性の理由)	昨年度(R3)と比較すると降雪量が少なかったが、除雪機械の入れない狭隘な生活道路における除雪に関しては、集落の協力が不可欠である。 今後も継続して事業の推進を図っていく。						
課題(改善すべき点や方向性)	集落内の高齢化により、数年後には事業協力が難しくなるなど相談が寄せられている。現在、課題解決に向けて、全国的な取り組み等を調査するなど検討を行っている。						
外部評価委員会の意見	事業協力を確保するための方策を検討していただきたい。				方向性		
					改善		
町としての考え方	この事業を推進するため、協力体制を確保するための方策等を分析し、課題解決に努める。				方向性		
					改善		

事務事業評価シート

令和4年度

			事業No.	709			
所管課・係名	総務課 危機管理係	予算科目	9 款 1 項 2 目				
事務事業名	消防団活性化対策事業	予算大事業名	消防団活性化対策事業				
総合発展計画【章】	第4章 鳥海山の豊かな自然と調和した快適な暮らしの創造《暮らし・防災・環境》						
総合発展計画【節】	第2節 安心してらせる地域づくり						
総合発展計画【項】	第2項 消防・救急体制の充実						
事業の概要	目的 消防団員の確保、士気高揚						
	内容 ①制服の貸与 ②はしご隊、ラッパ隊の育成 ③新しい盛夏服の貸与						
令和2年度分の外部評価の意見	団員の実態調査を引き続き行い、課題を整理をし、装備品の充実を図り、消防団員の確保を図っていただきたい。			方向性			
				改善			
令和3年度分の町としての考え方	消防関係の各種行事の実施にあたり、必要な被服や装備品を計画的に整備する。			方向性			
				継続			
令和4年度に対応した主な活動	消防団の装備品や被服等貸与品の計画的な整備を図った。						
予算・決算(千円)	令和2年決算額	令和3年決算額	令和4年度予算額	令和4年決算見込額			
	589	760	900	403			
令和4年度決算内訳(円)	分団旗 310,200円、被服貸与品93,622円						
成果指標設定の考え方	団員数/条例定数(620)						
成果指標の年度経過	令和2年	令和3年	令和4年	目標年度	令和4年		
	604人 97.4%	591人 95.3%	554人 89.3%	目標値	100%		
評価欄							
担当課評価基準	有効性	妥当性	貢献度	効率性	活動量	評価値	方向性
	4	4	3	3	2	B	改善
令和4年度担当課年度評価(方向性の理由)	令和4年度は消防団幹部の改選期ではなかったため、被服貸与品等の支出は減額したが、被服等の購入費用は非常備活動費での支出もあり、事業内容の見直しが必要であるため、改善とした。						
課題(改善すべき点や方向性)	消防団員の処遇改善は、消防団運営交付金事業の創設と併せて改善を図っているが、団員数の確保は条例定数まで届いていないため、条例定数や出動手当の見直しを検討し、消防団員を確保していく必要がある。						
外部評価委員会の意見	実態に沿った消防団組織体制の在り方を検討していただきたい。						方向性
							改善
町としての考え方	消防団員の出動手当などの見直しによる処遇改善と、消防団組織体制の整備を図る。						方向性
							改善

事務事業評価シート

令和4年度

			事業No.	87			
所管課・係名	総務課 危機管理係	予算科目	9 款 1 項 5 目				
事務事業名	自主防災会活動推進事業	予算大事業名	自主防災会活動推進事業				
総合発展計画【章】	第4章 鳥海山の豊かな自然と調和した快適な暮らしの創造《くらし・防災・環境》						
総合発展計画【節】	第2節 安心してらせる地域づくり						
総合発展計画【項】	第2項 消防・救急体制の充実						
事業の概要	目的 自主防災会による災害時避難活動等の体制整備						
	内容 <ul style="list-style-type: none"> ①自主防災会の災害対応体制の強化支援 <ul style="list-style-type: none"> ・自主防災会活動助成金交付 2/3助成 助成額:上限200,000円 下限20,000円 ・活動にあたっての助言等 ②災害時対応研修会・避難訓練等の実施支援 						
令和2年度分の外部評価の意見	町民の意識向上を更に図り、GIS・防災士等を有効活用し、現実に応じた自主防災組織を確立いただきたい。			方向性			
				改善			
令和3年度分の町としての考え方	防災関係の出前講座や研修会に専門家を派遣し、防災意識の向上を図るとともに、自主防災会の活動助成を継続し、防災資機材の整備、充実を図る。			方向性			
				継続			
令和4年度に対応した主な活動	自主防災会活動助成金の交付と、防災訓練への専門家の派遣を行い、防災力の向上を図った。						
予算・決算(千円)	令和2年決算額	令和3年決算額	令和4年度予算額	令和4年決算見込額			
	1,120	1,148	1,600	1,148			
令和4年度決算内訳(円)	自主防災活動助成金1,148,380円						
成果指標設定の考え方	研修会・防災訓練実施組織数/全自主防災会数(109)						
成果指標の年度経過	令和2年	令和3年	令和4年	目標年度	令和4年		
	100% 109/109	100% 109/109	100% 109/109	目標値	100%		
評価欄							
担当課評価基準	有効性	妥当性	貢献度	効率性	活動量	評価値	方向性
	5	5	5	4	2	A	継続
令和4年度担当課年度評価(方向性の理由)	自主防災会活動の支援は、17自主防災会に対し防災資機材の購入費の支援を実施し、また、4地区の防災訓練には専門家を派遣し、住民参加型の避難所開設訓練や炊き出し訓練での助言を行ったほか、全集落を対象にした避難訓練の実施も計画通りに実施することができたので、継続とした。						
課題(改善すべき点や方向性)	自主防災会の活動には、防災訓練や避難訓練など消防団との連携が不可欠であり、消防団活動の推進と併せて実施していく必要がある。						
外部評価委員会の意見	消防団と連携し、着実に進めていただきたい。						方向性
							継続
町としての考え方	自主防災会活動への消防団員の積極的な参加等の連携を図り、自主防災活動の支援を継続する。						方向性
							継続

事務事業評価シート

令和4年度

			事業No.	98			
所管課・係名	総務課 危機管理係	予算科目	13 款 1 項 1 目				
事務事業名	防犯対策事業	予算大事業名	防犯費				
総合発展計画【章】	第4章 鳥海山の豊かな自然と調和した快適な暮らしの創造《くらし・防災・環境》						
総合発展計画【節】	第2節 安心してらせる地域づくり						
総合発展計画【項】	第3項 日常生活の安全性向上						
事業の概要	目的 防犯活動の啓蒙と子どもの見守りの強化						
	内容 ①防犯協会の活動の支援 ②防犯灯の設置						
令和2年度分の外部評価の意見	未導入地区への働きかけを行い、子供の見守りを着実に実施していただきたい。			方向性			
				改善			
令和3年度分の町としての考え方	今後も地域防犯活動を継続し、児童の安全を確保する。また、この事業は、防犯対策事業の一つであり、防犯灯管理委託も併せて、事業名を「防犯対策事業」に変更する。			方向性			
				継続			
令和4年度に対応した主な活動	新入学児童に防犯ブザーを配布するとともに、青色パトロールカー装備品購入や防犯灯の整備を行った。						
予算・決算(千円)	令和2年決算額	令和3年決算額	令和4年度予算額	令和4年決算見込額			
	447	447	8,481	7,656			
令和4年度決算内訳(円)	遊佐町防犯協会補助金447,000円、防犯灯設置事業(修繕・工事費、負担金)3,069,370円、防犯灯管理委託料1,835,000円、防犯灯電気料2,074,110円、防犯カメラ設置工事費173,250円、他58,000円						
成果指標設定の考え方	1地区当たりの青色防犯パトロール隊員登録者数(各年度末の登録者数/導入地区数)						
成果指標の年度経過	令和2年	令和3年	令和4年	目標年度	令和4年		
	6.2人 31名/5地区	6.2人 31名/5地区	5.6人 28名/5地区	目標値	各地区5人		
評価欄							
担当課評価基準	有効性	妥当性	貢献度	効率性	活動量	評価値	方向性
	5	4	4	2	2	B	改善
令和4年度担当課年度評価(方向性の理由)	新入生への防犯ブザーの配布や、青色パトロールでの見守り等は計画的に実施できたが、防犯灯設置費用について、町と防犯協会の重複している事業内容があり、事業の整理が必要であるため、方向性を改善とした。						
課題(改善すべき点や方向性)	防犯協会と町が行う事業について、事業内容の整理が必要があり、また、防犯協会の支出項目に対する町からの負担金の支出が必要である。						
外部評価委員会の意見	事業内容を関係機関と調整して進めていただきたい。					方向性	
						改善	
町としての考え方	防犯灯設置事業等の事業内容の整理と見直しによるコスト削減を行う。					方向性	
						改善	

事務事業評価シート

令和4年度

			事業No.	329			
所管課・係名	総務課 危機管理係	予算科目	13 款 1 項 2 目				
事務事業名	交通安全対策推進事業	予算大事業名	交通安全対策推進事業				
総合発展計画【章】	第4章 鳥海山の豊かな自然と調和した快適な暮らしの創造《くらし・防災・環境》						
総合発展計画【節】	第2節 安心してくらせる地域づくり						
総合発展計画【項】	第3項 日常生活の安全性向上						
事業の概要	目 的 子どもと高齢者の交通安全意識を向上させ、交通事故の減少に繋げる。						
	内 容 ①高齢者の運転免許返納に対し、タクシー券を交付する。 ②幼稚園、保育園、小学校、集落で交通安全指導を実施する。 ③交通安全施設(カーブミラー等)の設置						
令和2年度分の外部評価の意見	/			方向性			
令和3年度分の町としての考え方	※事業No329「運転免許自主返納促進事業」・事業No101「交通安全教育事業」を統合し、「交通安全対策推進事業」へ変更する。			方向性			
				統合			
令和4年度に対応した主な活動	高齢者ドライバーの免許返納時にタクシー券を配布するとともに、幼稚園、保育園、小学校、集落等で交通安全教室を実施した。また、集落からの要望によりカーブミラーを設置した。						
予算・決算(千円)	令和2年決算額	令和3年決算額	令和4年度予算額	令和4年決算見込額			
			2,951	2,621			
令和4年度決算内訳(円)	カーブミラー設置工事費635,800円、交通安全推進協議会1,300,000円、免許証返納者タクシー利用券359,560円、交通災害共済事業費228,140円、他97,500円						
成果指標設定の考え方	交通安全教室の年間の開催回数						
成果指標の年度経過	令和2年	令和3年	令和4年	目標年度	令和7年度		
	41回	50回	53回	目標値	60回		
評価欄							
担当課評価基準	有効性	妥当性	貢献度	効率性	活動量	評価値	方向性
	5	5	5	3	2	B	改善
令和4年度担当課年度評価(方向性の理由)	子どもや高齢者を対象とした交通安全教室の開催回数は、コロナ禍前の実績に戻りつつあるが、交通安全施設(カーブミラー)の設置工事等について、町と交通安全推進協議会の事業に重複する事業内容があるため、事業内容の整理が必要であるため、方向性を改善とした。						
課題(改善すべき点や方向性)	交通安全推進協議会と町が行う事業の内容について整理が必要がある。						
外部評価委員会の意見	事業内容を整理して進めていただきたい。					方向性	
						改善	
町としての考え方	交通安全施設整備事業等の事業内容の整理と見直しを行い、より効果的な事業実施に努める。					方向性	
						改善	

事務事業評価シート

令和4年度

事業No.	368
-------	-----

所管課・係名	地域生活課 上水道係	予算科目	- 款 - 項 - 目				
事務事業名	濁水(赤水)対策事業	予算大事業名	水道事業会計				
総合発展計画【章】	第4章 鳥海山の豊かな自然と調和した快適な暮らしの創造《暮らし・防災・環境》						
総合発展計画【節】	第3節 快適で便利な遊佐ぐらしの推進						
総合発展計画【項】	第1項 社会インフラ維持管理の適正化						
事業の概要	目的 排泥作業による濁水の発生防止						
	内容 ①定例排泥作業 12回 2,758千円 ②強制排泥作業 5回 1,125千円						
令和2年度分の外部評価の意見	今後も計画的に進めていただきたい。				方向性		
					継続		
令和3年度分の町としての考え方	水道水の安定供給を継続するため、計画的に排泥作業や配水池の清掃を進める。				方向性		
					継続		
令和4年度に対応した主な活動	年間計画に基づき、水道管の排泥作業と配水池等の清掃作業を実施した。						
予算・決算(千円)	令和2年決算額	令和3年決算額	令和4年度予算額	令和4年決算見込額			
	2,984	4,525	5,380	4,800			
令和4年度決算内訳(円)	定例排泥 8回実施	委託料	2,204,000円				
	強制排泥 3回実施	委託料	969,200円				
	配水池等清掃	委託料	1,627,000円				
成果指標設定の考え方	濁水苦情件数						
成果指標の年度経過	令和2年	令和3年	令和4年	目標年度	令和4年		
	0件	0件	0件	目標値	0件		
評価欄							
担当課評価基準	有効性	妥当性	貢献度	効率性	活動量	評価値	方向性
	4	4	4	4	2	A	継続
令和4年度担当課年度評価(方向性の理由)	平津2系強制排泥を実施後に、間隔を空けずに文殊系強制排泥を実施して、より効果的な作業を実施することができた。配水池等の清掃も計画的に実施して、水道水の安定した供給を継続することができた。						
課題(改善すべき点や方向性)	定例排泥実施後に、濁水の状況を確認しながら、計画的に作業を実施する必要がある。						
外部評価委員会の意見	計画的に事業を進めていただきたい。				方向性		
					継続		
町としての考え方	計画的に排泥作業及び配水池等の清掃作業を実施し、濁水の発生を防止する。				方向性		
					継続		

事務事業評価シート

令和4年度

事業No.	452
-------	-----

所管課・係名	地域生活課 上水道係	予算科目	- 款 - 項 - 目				
事務事業名	上水道使用料金収納率向上対策事業	予算大事業名	水道事業会計				
総合発展計画【章】	第4章 鳥海山の豊かな自然と調和した快適な暮らしの創造《くらし・防災・環境》						
総合発展計画【節】	第3節 快適で便利な遊佐ぐらしの推進						
総合発展計画【項】	第1項 社会インフラ維持管理の適正化						
事業の概要	目的 納付意識の高揚と収納率の向上						
	内容 ①納入通知書②振替不能通知書③督促状④納付指導⑤訪問指導						
令和2年度分の外部評価の意見	着実に収納率向上に努めていただきたい。				方向性		
					継続		
令和3年度分の町としての考え方	収納率の向上を図るため、他部局と連携して計画的に給水停止等を実施する。				方向性		
					継続		
令和4年度に対応した主な活動	コロナ禍において納付困難世帯を対象に相談窓口を開設するとともに、収納率向上を図るため、給水停止を実施した。						
予算・決算(千円)	令和2年決算額	令和3年決算額	令和4年度予算額	令和4年決算見込額			
	-	-	-	-			
令和4年度決算内訳(円)	なし						
成果指標設定の考え方	現年度収納額/現年度分調定額						
成果指標の年度経過	令和2年	令和3年	令和4年	目標年度	令和4年		
	99.18% (355,719,700 / 358,631,394)	99.23% (352,615,235 / 355,346,772)	98.96% (346,178,652 / 349,808,833)	目標値	99.0%		
評価欄							
担当課評価基準	有効性	妥当性	貢献度	効率性	活動量	評価値	方向性
	4	4	4	4	2	A	継続
令和4年度担当課年度評価(方向性の理由)	納付困難者に対し、相談窓口を開設して計画納付を促した。また、長期間納付が確認できていない者を対象に、関係部署と連携して給水停止を実施し、収納率向上に取り組んだ。						
課題(改善すべき点や方向性)	未収金は減少傾向にあるが、継続して収納率向上に取り組む必要がある。						
外部評価委員会の意見	着実に実施していただきたい。				方向性		
					継続		
町としての考え方	他部局と滞納者の情報共有を図り、計画的に給水停止などの収納対策を実施する。				方向性		
					継続		

事務事業評価シート

令和4年度

			事業No.	55			
所管課・係名	地域生活課 下水道係	予算科目	- 款 - 項 - 目				
事務事業名	下水道水洗化活動	予算大事業名	-				
総合発展計画【章】	第4章 鳥海山の豊かな自然と調和した快適なくらしの創造《くらし・防災・環境》						
総合発展計画【節】	第3節 快適で便利な遊佐ぐらしの推進						
総合発展計画【項】	第1項 社会インフラ維持管理の適正化						
事業の概要	目的 公共用水域の水質汚濁防止						
	内容 ①水洗化支援対策 ②説明会の開催 ③相談会の開催 ④広報活動						
令和2年度分の外部評価の意見	実績にあった目標値に見直し、水洗化率を向上させていただきたい。				方向性		
					改善		
令和3年度分の町としての考え方	これまでも県の水洗化率を目標に掲げ事業を推進してきた経緯があり、現時点が目標の達成地点かと考える。当町における新たな整備事業も終わったので引き続き水洗化率向上のため、周知等啓蒙に努める。				方向性		
					継続		
令和4年度に対応した主な活動	水洗化の必要性和下水道接続工事に対する支援金制度を広報へ掲載し、町民へ広く周知するとともに、接続率の低い集落に対しては、区長を通し接続依頼の文書を回覧し普及啓発を行った。また、工事指定店に対しても営業活動による接続への協力依頼を行った。さらに、未接続の町議員および町職員に対して、個別の接続依頼を行った。						
予算・決算(千円)	令和2年決算額	令和3年決算額	令和4年度予算額	令和4年決算見込額			
	-	-	-	-			
令和4年度決算内訳(円)	人件費のみ						
成果指標設定の考え方	県平均値＝水洗化率(水洗化人口/行政人口)						
成果指標の年度経過	令和2年	令和3年	令和4年	目標年度	令和4年		
	71.4%	73.7%	74.20%	目標値	85%		
評価欄							
担当課評価基準	有効性	妥当性	貢献度	効率性	活動量	評価値	方向性
	4	4	4	4	2	A	継続
令和4年度担当課年度評価(方向性の理由)	下水道は快適な生活環境の確保や河川等の水環境の保全に欠かすことのできない施設であり、今後も安全安心な生活環境を創出するため、引き続き継続と考える。なお、未接続の町議員、町職員についても接続につながった。						
課題(改善すべき点や方向性)	下水道は重要な社会基盤であり、計画的、継続的にサービスを提供することが必要であることを今後も継続して接続依頼等周知を図る。また、整備済区域内の未接続公民館等に対して接続依頼の啓発を積極的に実施する。						
外部評価委員会の意見	補助制度のPRを行い、水洗化率の向上に努めていただきたい。				方向性		
					改善		
町としての考え方	当町における新規整備事業は終わっているため今後の接続率は横ばい傾向と考えられる中で、今後は接続率向上にむけ補助制度のPR等、周知の回数を積極的に増やし啓蒙に努める。				方向性		
					改善		

事務事業評価シート

令和4年度

事業No.	742
-------	-----

所管課・係名	地域生活課 下水道係	予算科目	- 款 - 項 - 目				
事務事業名	受益者負担金未納者対策事業	予算大事業名	-				
総合発展計画【章】	第4章 鳥海山の豊かな自然と調和した快適な暮らしの創造《くらし・防災・環境》						
総合発展計画【節】	第3節 快適で便利な遊佐ぐらしの推進						
総合発展計画【項】	第1項 社会インフラ維持管理の適正化						
事業の概要	目的 受益者負担金収納率の向上						
	内容 ①督促状の送付 ②電話による催告 ③臨戸						
令和2年度分の外部評価の意見	今後も収納率向上に努めていただきたい。				方向性		
					継続		
令和3年度分の町としての考え方	事業の財源確保と受益者負担の公平性という観点から、本事業は継続する必要がある。新規の未納者を出さないよう関係する係と情報共有し、未納者世帯の生活状況を見極めながら早期の対応に努める。				方向性		
					継続		
令和4年度に対応した主な活動	新規の未納者へは、納期後の早い段階で電話催告を行い計画納付を促し、また定期的に催告書を送付するとともに、関係部署からの情報を得ながら自宅訪問を行った。						
予算・決算(千円)	令和2年決算額	令和3年決算額	令和4年度予算額	令和4年決算見込額			
	-	-	-	-			
令和4年度決算内訳(円)	人件費のみ						
成果指標設定の考え方	現年度収納額／現年度賦課分調定額						
成果指標の年度経過	令和2年	令和3年	令和4年	目標年度	令和4年		
	98.8% (9,650,900/ 9,765,700)	97.4% (3,994,000/ 4,099,500)	99.1% (4,681,400/ 4,721,900)	目標値	98%		
評価欄							
担当課評価基準	有効性	妥当性	貢献度	効率性	活動量	評価値	方向性
	4	4	4	4	2	A	継続
令和4年度担当課年度評価(方向性の理由)	整備工事が完了したことによって集落単位での新規賦課はなくなったものの、近年過去の賦課猶予地に新しく公共樹設置者が増加してきたため、今後も賦課、徴収漏れがないように継続と考える。						
課題(改善すべき点や方向性)	新規滞納者の増加防止のため未納発覚時に早期対応(催告、電話かけ等)の徹底を図る。						
外部評価委員会の意見	引き続き、計画的に実施していただきたい。				方向性		
					継続		
町としての考え方	事業の財源確保と受益者負担の公平性という観点から、継続は必須と考える。新規の未納者を出さないよう関係する係と情報共有し、今後も早期の対応に努める。				方向性		
					継続		

事務事業評価シート

令和4年度

			事業No.	61			
所管課・係名	地域生活課 土木係	予算科目	8 款	2 項	2 目		
事務事業名	メイクアップロード推進事業	予算大事業名	町道新設改良事業				
総合発展計画【章】	第4章 鳥海山の豊かな自然と調和した快適な暮らし《暮らし・防災・環境》						
総合発展計画【節】	第3節 快適で便利な遊佐ぐらしの推進						
総合発展計画【項】	第1項 社会インフラ維持管理の適正化						
事業の概要	目的 道路美化						
	内容 各地区の区長へ飾花苗配布の通知を行い、希望数量を把握し集落へ苗を配布。集落において沿道の交通島等へ苗の飾花を実施。						
令和2年度分の外部評価の意見	今後も事業を進めていただきたい。			方向性			
				継続			
令和3年度分の町としての考え方	道路沿道の環境美化につながっている。協力体制の高齢化等課題はあるが、今後も各地区まちづくりセンターと連携し事業を継続していく。			方向性			
				継続			
令和4年度に対応した主な活動	まちづくりセンターと連携し、各地区の要望する時期に応じて、計画的に花苗を配布した。						
予算・決算(千円)	令和2年決算額	令和3年決算額	令和4年度予算額	令和4年決算見込額			
	391	394	408	376			
令和4年度決算内訳(円)	消耗品費(花苗代) 18集落分 376,000円						
成果指標設定の考え方	道路の交通島や路肩等に飾花するが、市街地で飾花の場所がない、または、高齢化により実施できない集落があることから、指標設定が困難である。						
成果指標の年度経過	令和2年	令和3年	令和4年	目標年度	令和4年		
	18団体	18団体	18団体	目標値	H29の実績値 18団体		
評価欄							
担当課評価基準	有効性	妥当性	貢献度	効率性	活動量	評価値	方向性
	5	4	4	4	2	A	継続
令和4年度担当課年度評価(方向性の理由)	交通島等への飾花活動を通じて、道路環境・美化の推進が図られている。また、事業への参加がふれあいの場として有効活用もされている。今後も継続して事業に取り組んでいく。						
課題(改善すべき点や方向性)	花を生育させるため定期的な維持管理が必要となるが、人材不足となってきた。現在、課題解決に向けて検討を行っている。						
外部評価委員会の意見	町内美化運動を進めるため、維持管理の工夫を行い進めていただきたい。			方向性			
				改善			
町としての考え方	この事業は道路沿道の環境美化につながっている。定期的な維持管理等への工夫などを検討し、この事業を進める。			方向性			
				改善			

事務事業評価シート

令和4年度

			事業No.	402			
所管課・係名	産業課 産業創造係	予算科目	7 款	1 項	5 目		
事務事業名	町民駅委託事業	予算大事業名	町民駅管理費				
総合発展計画【章】	第4章 鳥海山の豊かな自然と調和した快適なくらし《くらし・防災・環境》						
総合発展計画【節】	第3節 快適で便利な遊佐ぐらしの推進						
総合発展計画【項】	第2項 地域公共交通の活性化						
事業の概要	目的 町民のJR利用利便性の向上						
	内容 ①JRチケットの販売 ②駅舎管理						
令和2年度分の外部評価の意見	町民の足としてこれからも周知を図り、計画的に実施していただきたい。					方向性	
						継続	
令和3年度分の町としての考え方	新型コロナウイルス感染症の影響により、JRチケットの販売額が減少しているが、地元で切符が購入できるという遊佐駅の役割は大きいと、今後も指定管理事業所と連携して周知を図っていく。					方向性	
						継続	
令和4年度に対応した主な活動	定期購入の呼びかけや、乗車券発券業務委託先である観光協会と連携し、高校生への周知を図った。						
予算・決算(千円)	令和2年決算額	令和3年決算額	令和4年度予算額	令和4年決算見込額			
	5,600	8,843	5,600	5,600			
令和4年度決算内訳(円)	人件費 5,170,000円 事務費 430,000円						
成果指標設定の考え方	JR乗車券等販売手数料収入/全体運営費						
成果指標の年度経過	令和2年	令和3年	令和4年	目標年度	令和5年		
	16.2% (907/5,600)	7.2% (405/5,600)	11.2% (632/5,600)	目標値	20%		
評価欄							
担当課評価基準	有効性	妥当性	貢献度	効率性	活動量	評価値	方向性
	4	4	3	4	2	A	継続
令和4年度担当課年度評価(方向性の理由)	令和4年度の乗車券類の手数料収入が前年度より増加した。普通券は観光客の購入が回復して大幅な増加、高校生の定期券の売上はほぼ昨年並みだった。観光客が戻りつつあり、通勤通学の日常的利用は堅調であることから、鉄道が町の公共交通の要として機能している。						
課題(改善すべき点や方向性)	遊佐高校支援の会と連携して、定期券購入助成を継続する。アフターコロナに伴う観光客増を目指し、観光協会と施策を展開していきたい。						
外部評価委員会の意見	駅構内及び駅前のスペースを有効に活用していただきたい。					方向性	
						改善	
町としての考え方	観光協会と連携して観光誘客の工夫を図り、町民駅の機能を強化することで利用者を増やし、乗車券販売成果指標の目標達成を目指す。訪問者の憩いの場として町民駅が愛着を持たれるよう、駅前の賑わい再生事業を展開する。					方向性	
						改善	

事務事業評価シート

令和4年度

			事業No.	340			
所管課・係名	産業課 産業創造係	予算科目	7 款	1 項	5 目		
事務事業名	デマンド交通システム事業	予算大事業名	デマンド交通システム運営費				
総合発展計画【章】	第4章 鳥海山の豊かな自然と調和した快適なくらし<<くらし・防災・環境>>						
総合発展計画【節】	第3節 快適で便利な遊佐ぐらしの推進						
総合発展計画【項】	第2項 地域公共交通の活性化						
事業の概要	目的 安定した生活交通の構築						
	内容 ①デマンドタクシー(小型タクシー2台・10人乗りワゴン車2台)運行 ②デマンドタクシー運行管理						
令和2年度分の外部評価の意見	交通弱者の足として、連携を密にして対応していただきたい。					方向性	
						継続	
令和3年度分の町としての考え方	町民の重要な交通手段の一つとして今後も円滑な運行に努めるとともに、高齢化等により乗車に問題がある方に対しては、再発防止や民間タクシーの利用についてご理解をいただけるよう、関係者と連絡を密に取りながら対応していく。					方向性	
						継続	
令和4年度に対応した主な活動	新型コロナウイルス感染予防対策など、事業委託者、タクシー事業者と情報交換、情報共有を図った。タクシー券のキャンペーン販売を行い利用向上に努めた。自力で乗降が出来ない方や認知症が疑われる方の高齢者利用実態を把握するため、福祉関係者との打合せを行った。						
予算・決算(千円)	令和2年決算額	令和3年決算額	令和4年度予算額	令和4年決算見込額			
	25,300	26,348	27,573	27,320			
令和4年度決算内訳(円)	委託料 25,973,000円 (内訳 運転業務24,400,000円 システム更新746,000円 無線機更新774,000円 定期検査53,000円) 燃料費 1,105,000円 修繕費 116,000円 消耗品費 126,000円						
成果指標設定の考え方	1日当たりの利用者						
成果指標の年度経過	令和2年	令和3年	令和4年	目標年度	令和5年		
	36.2人	36.0人	35.5人	目標値	50人		
評価欄							
担当課評価基準	有効性	妥当性	貢献度	効率性	活動量	評価値	方向性
	4	5	5	4	2	A	継続
令和4年度担当課年度評価(方向性の理由)	令和4年度は前年度と同様に新型コロナウイルスの影響を受けて、利用者数は減少した。利用実態を見ると高齢者の利用が圧倒的に多く、交通弱者の足として欠かせない役割を果たしている。						
課題(改善すべき点や方向性)	自力で乗降が出来ない方や認知症が疑われる方の福祉タクシーへの誘導を福祉分野と連携して行う。公共交通機関を利用した場合、酒田市の医療機関への通院が不便との声があるため、通院タクシー助成の制度設計を検討する。						
外部評価委員会の意見	交通弱者の足として、町外への通院助成の制度設計を進め、関係者との連携を密にして対応していただきたい。					方向性	
						改善	
町としての考え方	町民の重要な交通手段の一つとして今後も円滑な運行に努める。高齢化等により乗車に問題がある方に対しては、民間タクシー等の利用にご理解をいただけるよう、関係者と連絡を取って対応する。通院タクシー助成の制度設計に取り組む。					方向性	
						改善	

事務事業評価シート

令和4年度

			事業No.	336			
所管課・係名	町民課 課税係	予算科目	6 款 1 項 6 目				
事務事業名	国土調査事業	予算大事業名	国土調査事業				
総合発展計画【章】	第4章 鳥海山の豊かな自然と調和した快適なくらしの創造<<くらし・防災・環境>>						
総合発展計画【節】	第3節 快適で便利な遊佐ぐらしの推進						
総合発展計画【項】	第3項 計画的な土地利用の推進						
事業の概要	目的 一筆ごとの筆界・地目・地積測量結果についての成果を法務局へ送付する						
	内容 ①事業計画・準備 ②基準点測量 ③一筆調査 ④図根点測量 ⑤地積測定・地籍図原図作成 ⑥図面の閲覧及び修正 ⑦国、県への認証請求事務 ⑧法務局への送付事務						
令和2年度分の外部評価の意見	引き続き計画的に続けていただきたい。					方向性	
						継続	
令和3年度分の町としての考え方	地籍調査事務は行政コストの削減を期待し、令和3年4月公布「民法等の一部を改正する法律」による相続登記の申請義務化等制度が整うまで休止とし、新たな区域には着手しない。地図訂正事務は継続実施(随時対応)。					方向性	
						縮小	
令和4年度に対応した主な活動	法務局への送付事務の一部及び一筆地調査成果に関する法務局指示への対応のほか、国や県などの公共機関に対し開発行為等に必要な資料の提供を行った。						
予算・決算(千円)	令和2年決算額	令和3年決算額	令和4年度予算額	令和4年決算見込額			
	5,324	1,738	950	328			
令和4年度決算内訳(円)	事務用消耗品・自動車借上料・燃料費 309,000円、その他 19,000円						
成果指標設定の考え方	実施面積/調査対象面積						
成果指標の年度経過	令和2年	令和3年	令和4年	目標年度	令和4年		
	100%(0.08km ² /0.08km ²)	100%(0.08km ² /0.08km ²)	100%(0.08km ² /0.08km ²)	目標値	100%		
評価欄							
担当課評価基準	有効性	妥当性	貢献度	効率性	活動量	評価値	方向性
	4	4	4	4	2	A	継続
令和4年度担当課年度評価(方向性の理由)	国土調査成果については、固定資産税の適正な賦課のための基礎資料となることはもとより、近年では、国や県などが実施する開発行為における用地測量等の基礎的な資料としての意味合いが強まってきていることから、今後も継続して必要な作業を実施する。						
課題(改善すべき点や方向性)	相続による所有権移転登記の未実施などにより、新たな調査区域における一筆地調査が難攻するケースが増加傾向にある。令和6年度より施行される相続登記申請の義務化に伴い、法務局や司法書士会等の関係機関と連携し、周知広報を行いながら当事業を進めていきたい。						
外部評価委員会の意見	計画的に進めていただきたい。					方向性	
						継続	
町としての考え方	令和6年4月に相続登記申請義務化の法律が施行され、必要な不動産の情報信頼性が求められることになるため、未認証区域の解消を計画的に進める。					方向性	
						継続	

事務事業評価シート

令和4年度

			事業No.	580-2			
所管課・係名	教育課 総務学事係	予算科目	10 款 1 項 2 目				
事務事業名	遊佐高校就学支援事業	予算大事業名	事務局費一般経費				
総合発展計画【章】	第5章 ふるさとを愛し、未来を拓く、いのち輝く町民の育成《教育・文化》						
総合発展計画【節】	第1節 遊佐を愛し、未来にはばたく子どもの育成						
総合発展計画【項】	第1項 地域全体で育む園・学校教育の充実						
事業の概要	目的 町内唯一の県立高校である遊佐高校の存続が地域振興にとって極めて重要であることから、一定の入学定員を確保するために、遊佐高校支援の会に補助金を交付し、遊佐高校就学者に対する支援事業を実施する。						
	内容 ①翌年度入学予定者への支援 一人当たり7万円 ②校外学習活動用移動バス代、事業周知ポスター・ちらし 他						
令和2年度分の外部評価の意見	遊佐高校支援の会と連携を図り、生徒確保のために着実に進めていただきたい。			方向性			
				継続			
令和3年度分の町としての考え方	遊佐高校の魅力化の一つとして引き続き近隣市町の中学校及び県外へPRし、入学者の確保につなげていきたい。			方向性			
				継続			
令和4年度に対応した主な活動	入学者に対してはオリエンテーション等で利用案内のチラシを配布し、事業内容について説明して利用を促した。また、庄内地域やにかほ市の中学校へ訪問し事業PRを行うなど、効果的な周知に努めた。						
予算・決算(千円)	令和2年決算額	令和3年決算額	令和4年度予算額	令和4年決算見込額			
	3,310	1,644	4,187	2,513			
令和4年度決算内訳(円)	①令和5年度入学生24名の申請を受付。令和4年度入学生の申請遅れ5名分を交付。 70,000円×29名=2,030,000円 ②学習活動支援(校外学習バス移動補助)、広告掲載料(スクールガイド)、ポスター・チラシ等印刷費 等 482,700円						
成果指標設定の考え方	入学定員40人の8割の入学志願者						
成果指標の年度経過	令和2年	令和3年	令和4年	目標年度	令和8年		
	21人	24人	24人	目標値	32人		
評価欄							
担当課評価基準	有効性	妥当性	貢献度	効率性	活動量	評価値	方向性
	4	4	4	3	3	A	継続
令和4年度担当課年度評価(方向性の理由)	県外からの入学者8名を含む入学者は24名となり、目標値を超えることができなかったが、定員の過半数を超えることはできた。						
課題(改善すべき点や方向性)	より多くの中学生と保護者に事業を知ってもらうために、PRの仕方を工夫していく。						
外部評価委員会の意見	高校の独自性を創り上げ、生徒の確保に繋げていただきたい。					方向性	
						改善	
町としての考え方	町外・県外からの入学者確保については一定の成果がでている。遊佐中学校からの入学者数を増やすための新たな支援事業を検討する。					方向性	
						改善	

事務事業評価シート

令和4年度

			事業No.	580-3			
所管課・係名	教育課 総務学事係	予算科目	10 款 1 項 2 目				
事務事業名	遊佐高校就学支援事業(通学支援)	予算大事業名	事務局費一般経費				
総合発展計画【章】	第5章 ふるさとを愛し、未来を拓く、いのち輝く町民の育成《教育・文化》						
総合発展計画【節】	第1節 遊佐を愛し、未来にはばたく子どもの育成						
総合発展計画【項】	第1項 地域全体で育む園・学校教育の充実						
事業の概要	目的 酒田市八幡地区など、JR等の公共交通の便のない所から遊佐高校に通学する生徒の通学手段を確保及び、JRを利用して通学する生徒の保護者負担の軽減を図り、遊佐高校が進学先として選択される契機とする。						
	内容 ①乗合通学タクシーの借上げ運行(利用者の一部自己負担あり)。 ②JR定期券購入費助成事業 遊佐高校支援の会に対し、補助金を交付して、支援事業を実施する。						
令和2年度分の外部評価の意見	近隣市町村からの通学のため、生徒数の確保には重要である。引き続き事業を継続していただきたい。			方向性			
				継続			
令和3年度分の町としての考え方	入学志望者確保のために通学手段の確保は重要なツールと捉えている。引き続き事業周知を図っていく。			方向性			
				継続			
令和4年度に対応した主な活動	入学者に対してはオリエンテーション等で利用案内のチラシを配布し、事業内容について説明して利用を促した。また、庄内地域やにかほ市の中学校へ訪問し事業PRを行うなど、効果的な周知に努めた						
予算・決算(千円)	令和2年決算額	令和3年決算額	令和4年度予算額	令和4年決算見込額			
	4,041	3,698	4,530	3,026			
令和4年度決算内訳(円)	①通学タクシー 3路線、利用者9名で運行。運行委託料 2,489,460円 ②JR定期券購入費補助 利用者21名。助成金(業務委託料含む)536,380円						
成果指標設定の考え方	遊佐高校通学支援を受けた生徒数						
成果指標の年度経過	令和2年	令和3年	令和4年	目標年度	令和8年		
	37人	28人	30人	目標値	20人		
評価欄							
担当課評価基準	有効性	妥当性	貢献度	効率性	活動量	評価値	方向性
	4	4	4	3	3	A	継続
令和4年度担当課年度評価(方向性の理由)	通学タクシーの利用者は9名、JR定期券購入費助成の利用者は21名となり、合わせて30名の利用があった。JR定期券購入費助成については、より町外からの通学者の負担が軽減されており、利用率も高い傾向にある。						
課題(改善すべき点や方向性)	通学タクシーの利用者は減少傾向にあるため、利用対象の地域に該当する中学校へ積極的にPRを行う。						
外部評価委員会の意見	生徒数の確保のため、計画的に事業を実施していただきたい。					方向性	
						継続	
町としての考え方	通学手段の確保は近隣市町からの入学者確保のための重要なツールである。計画的に事業周知を図る。					方向性	
						継続	

事務事業評価シート

令和4年度

			事業No.	489			
所管課・係名	教育課 社会教育係	予算科目	10 款	4 項	2 目		
事務事業名	少年町長・少年議員公選事業	予算大事業名	少年町長・少年議会事業				
総合発展計画【章】	第5章 ふるさとを愛し、未来を拓く、いのち輝く町民の育成《教育・文化》						
総合発展計画【節】	第1節 遊佐を愛し、未来にはばたく子どもの育成						
総合発展計画【項】	第2項 自己有用感に根ざす青少年の健全育成						
事業の概要	目的 若者意見の町政への反映						
	内容 ①公募・選挙 ②議会の開催 ③全員協議会の開催						
令和2年度分の外部評価の意見	年々、活動内容が充実・発展し、少年の創意工夫に期待するところが大きい。アンケート結果の情報提供体制を整えていただきたい。				方向性		
					改善		
令和3年度分の町としての考え方	議員自らの意見を尊重し、政策等の実現に向けて活動を支援していく。				方向性		
					継続		
令和4年度に対応した主な活動	●遊佐町特産品の開発 ●ゆざマルシェの開催 ●町内各イベントへの参加						
予算・決算(千円)	令和2年決算額	令和3年決算額	令和4年度予算額	令和4年決算見込額			
	802	768	935	830			
令和4年度決算内訳(円)	・旅費:3,760円 ・委託料:450,000円 ・需用費:354,872円 ・使用料及び賃借料:15,000円 ・役務費:6,300円						
成果指標設定の考え方	アンケート回答者数の内、「遊佐町は若者の想いや声を取り入れたまちづくりをしている思う」と答えた数 / アンケート回答者数						
成果指標の年度経過	令和2年	令和3年	令和4年	目標年度	令和4年		
	73.7% (396人/537人)	75.2% (388人/516人)	72.4% (354/489)	目標値	85%		
評価欄							
担当課評価基準	有効性	妥当性	貢献度	効率性	活動量	評価値	方向性
	4	4	4	4	3	A	継続
令和4年度担当課年度評価(方向性の理由)	今年度は立候補者が過去最多の18名、メディア取材や他市町村からの視察が多くあり、町内外からの少年議会への関心が高まっている。政策についても直接対面で活動するような政策も3年ぶりに実施できた。今後も中高生への情報発信や、事業の周知・充実化に努める。						
課題(改善すべき点や方向性)	令和4年度もコロナウイルスにより活動中止や、全員協議会の時間帯の変更、議員が感染して参加できない時期が多く続いた。参加メンバーだけで協議を進め、情報の共有はSNSを用いて行うなどしたが、18人という人数だったということもあり、途中から事業に不参加のメンバーもいた。今後は規制も緩和されているが、引き続き対応は考えていく必要がある。						
外部評価委員会の意見	若者のアンケートを町政に活かす工夫をしていただきたい。				方向性		
					改善		
町としての考え方	有権者がアンケートの集計を知る手段が、これまでは年度末に作成する事業報告書のみであった。今後は町のホームページへ掲載し、アンケート結果を早い段階で周知し、誰でも確認できるような環境を整備する。				方向性		
					改善		

事務事業評価シート

令和4年度

			事業No.	2			
所管課・係名	企画課 企画係	予算科目	2 款 1 項 8 目				
事務事業名	ハンガリー等派遣事業	予算大事業名	国際交流事業				
総合発展計画【章】	第5章 ふるさとを愛し、未来を拓く、いのち輝く町民の育成《教育・文化》						
総合発展計画【節】	第1節 遊佐を愛し、未来にはばたく子どもの育成						
総合発展計画【項】	第2項 自己有用感に根ざす青少年の健全育成						
事業の概要	目的	姉妹都市ハンガリー・ソルノク市での交流等とおし、町民の国際的な感覚と協調心を養うとともに、次世代を担う生徒の国際理解を深める					
	内容	姉妹都市であるハンガリー・ソルノク市等への派遣					
令和2年度分の外部評価の意見	これからいろいろな方法を考え、交流を深めていただきたい。			方向性			
				継続			
令和3年度分の町としての考え方	新型コロナウイルス感染症とウクライナ情勢による派遣の中止はやむを得ないが、ハンガリーとの交流は当町の国際交流として重要であるため、引き続き代替事業等による交流を進めていきたい。			方向性			
				継続			
令和4年度に対応した主な活動	コロナ禍とウクライナ情勢のため3月の中高生派遣団の訪問ができず、その代替えとしてハンガリー倶楽部を発足し、4名で9月から12月にかけて計6回活動を行った。また、2月に現地の状況確認として国際交流推進協議会メンバー2名がハンガリーを訪問した。						
予算・決算(千円)	令和2年決算額	令和3年決算額	令和4年度予算額	令和4年決算見込額			
	1,767	1,654	2,750	2,750			
令和4年度決算内訳(円)	国際交流事業推進委託料 2,750,000円 (内訳:国際交流事業推進業務委託 1,744,843円、民間交流40周年事業 1,179,740円) 余剰分は前年度繰越金より支出						
成果指標設定の考え方	派遣事業への参加人数(一般団員を含む)						
成果指標の年度経過	令和2年	令和3年	令和4年	目標年度	令和6年		
	0名	0名	0名	目標値	14名 (募集定員数)		
評価欄							
担当課評価基準	有効性	妥当性	貢献度	効率性	活動量	評価値	方向性
	4	4	4	4	2	A	継続
令和4年度担当課年度評価(方向性の理由)	中高生派遣事業中止の代替事業として、ハンガリー倶楽部を発足した。令和5年2月にはハンガリー現地状況確認と折り紙アートを渡しにハンガリーを訪問した。県庁・市役所・関係機関を訪問し令和5年度の民間交流40周年、令和6年度の姉妹都市協定締結20周年に向けた式典等の実施について話をすることができたので、交流事業を継続して行いたい。						
課題(改善すべき点や方向性)	ウクライナ情勢の回復が見込めず、安全面の確保ができない状況が今後も続く予想される。令和6年度には姉妹都市協定締結20周年と遊佐町合併70周年を迎えるため町での式典等の実施について協議を進める。						
外部評価委員会の意見	これからいろいろな方法を考え、交流を深めていただきたい。			方向性			
				継続			
町としての考え方	中高生派遣事業の中止はやむを得ないが、ハンガリーとの交流は当町の国際交流として重要である。令和5年度の民間交流40周年記念派遣事業を皮切りに交流を深めていく。			方向性			
				継続			

事務事業評価シート

令和4年度

事業No.	582
-------	-----

所管課・係名	企画課 観光物産係	予算科目	2 款 1 項 8 目				
事務事業名	ジオパーク推進事業	予算大事業名	ジオパーク推進事業				
総合発展計画【章】	第5章 ふるさとを愛し、未来を拓く、いのち輝く町民の育成《教育・文化》						
総合発展計画【節】	第3節 歴史・文化遺産の継承と活用						
総合発展計画【項】	第2項 文化財等の調査、保存と活用						
事業の概要	目的 ジオパーク推進による持続可能な地域社会の形成に向けた機運醸成						
	内容 ①ジオパークに関する講習・研修会の開催 ②インフォメーションコーナーや案内看板等の整備 ③関係団体等との連携 ④ジオパーク関連の研修会及び視察参加						
令和2年度分の外部評価の意見	なお一層の情報発信で観光・交流人口の拡大につなげていただきたい。				方向性		
					改善		
令和3年度分の町としての考え方	世界に向けた取り組みを展開し、それらを情報発信することで、観光・交流人口の拡大にもつなげていく。				方向性		
					継続		
令和4年度に対応した主な活動	啓発看板の更新や、ユネスコ世界ジオパーク認定に向けた横断幕の設置など、継続してジオパークの周知を行った。 小中高と連携した環境学習・環境保全活動を実施した。						
予算・決算(千円)	令和2年決算額	令和3年決算額	令和4年度予算額	令和4年決算見込額			
	8,306	7,256	12,300	11,548			
令和4年度決算内訳(円)	<ul style="list-style-type: none"> ・鳥海山飛鳥ジオパーク推進協議会負担金:8,850,000円 ・整備工事費:984,500円(4連パネル看板表示貼替(国道345号吹浦駅付近)) ・看板作成委託料:495,000円(世界認定表示横断幕(防災センター東面)) ・他事業費等1,219,000円 						
成果指標設定の考え方	ジオパーク講習会・研修会等の開催回数						
成果指標の年度経過	令和2年	令和3年	令和4年	目標年度	令和6年		
	0回	5回	10回	目標値	10回		
評価欄							
担当課評価基準	有効性	妥当性	貢献度	効率性	活動量	評価値	方向性
	4	4	4	4	3	A	継続
令和4年度担当課年度評価(方向性の理由)	遊佐町イベント実行委員会にて、小学校5・6年生を対象とした環境学習イベントを実施した。このイベントはペットボトル(ペットボトル型LEDイルミネーション)を作成の後に、遊楽里前に新小学校校章をモチーフにしたイルミネーションの一部として使用し、環境学習、制作・展示を展開した。 今後も、イベントに合わせた学習や周知について積極的に実施していきたい。						
課題(改善すべき点や方向性)	ユネスコ世界ジオパークを目指すうえで教育学習は重要であり、今年度取り組んだような地域の学校を取り込んだ活動を展開し、そこから地域を挙げた取り組みとして発展させていくことが必要である。						
外部評価委員会の意見	学校を取り込んだ活動を展開し、そこから地域を挙げた取組みに繋げていただきたい。				方向性		
					改善		
町としての考え方	学校を取り込んだ活動展開を推し進め、地域を挙げた取組みに繋がるように努める。				方向性		
					改善		

事務事業評価シート

令和4年度

事業No.	463
-------	-----

所管課・係名	企画課 観光物産係	予算科目	- 款 - 項 - 目				
事務事業名	ふるさと休日推進事業	予算大事業名	予算措置なし				
総合発展計画【章】	第6章 人の絆で織りなす賑わいあふれるまちづくり《町民参画・連携》						
総合発展計画【節】	第1節 協働によるまちづくりの推進						
総合発展計画【項】	第1項 町民の参画を促す機会の創出						
事業の概要	目的 家族の時間づくりと郷土愛の醸成、地域の賑いの創出を図る						
	内容 酒田まつり本祭(5/20)をふるさと休日とし、休業日や有給休暇の取得を推進するチラシや啓発グッズの制作・配布等を行う。						
令和2年度分の外部評価の意見	事業所への呼び掛けも進めていただきたい。				方向性		
					改善		
令和3年度分の町としての考え方	事業所への周知に努める。				方向性		
					改善		
令和4年度に対応した主な活動	特になし						
予算・決算(千円)	令和2年決算額	令和3年決算額	令和4年度予算額	令和4年決算見込額			
	-	-	0	0			
令和4年度決算内訳(円)	支出なし						
成果指標設定の考え方	ふるさと休日を設けた学校数						
成果指標の年度経過	令和2年	令和3年	令和4年	目標年度	令和4年		
	0%	100%	100%	目標値	100%		
評価欄							
担当課評価基準	有効性	妥当性	貢献度	効率性	活動量	評価値	方向性
	4	4	3	3	2	B	改善
令和4年度担当課年度評価(方向性の理由)	小中学校では教育委員会の理解のもと定着している。事業所等への周知が課題となっていたが、コロナウイルス感染症の影響により行っていない。						
課題(改善すべき点や方向性)	事業所等への周知については、遊佐町だけではなく酒田市とも連携して行う必要がある。町としても休日取得や、当日に会議を入れないなどの事務内容に配慮するよう呼びかける。						
外部評価委員会の意見	酒田市と連携を密にし、事業所への呼びかけを進めていただきたい。				方向性		
					改善		
町としての考え方	酒田市と連携し、事業所への呼びかけに努める。				方向性		
					改善		

事務事業評価シート

令和4年度

			事業No.	244			
所管課・係名	企画課 企画係	予算科目	2 款 1 項 8 目				
事務事業名	男女共同参画推進事業	予算大事业名	男女共同参画社会推進事業				
総合発展計画【章】	第6章 人の絆で織りなす賑わいあふれるまちづくり《町民参画・連携》						
総合発展計画【節】	第1節 協働によるまちづくりの推進						
総合発展計画【項】	第1項 町民の参画を促す機会の創出						
事業の概要	目 的 政策形成への女性参画機会の拡充						
	内 容 町民への男女共同参画の啓発・周知						
令和2年度分の外部評価の意見	これからも積極的に取り組んでいただきたい。			方向性			
				継続			
令和3年度分の町としての考え方	引き続き、審議会・委員会等の改選期を把握し、積極的な女性登用を図る。			方向性			
				継続			
令和4年度に対応した主な活動	行政機関の女性登用状況調査を行い、審議会・委員会への積極的な女性登用を依頼した。						
予算・決算(千円)	令和2年決算額	令和3年決算額	令和4年度予算額	令和4年決算見込額			
	477	0	0	0			
令和4年度決算内訳(円)	支出額なし						
成果指標設定の考え方	審議会・委員会における女性の登用率(女性委員数/総委員数) ※男女共同参画計画の目標値による						
成果指標の年度経過	令和2年	令和3年	令和4年	目標年度	令和7年		
	28.3% (67/236)	30.8% (74/240)	33.2% (79/238)	目標値	40%		
評価欄							
担当課評価基準	有効性	妥当性	貢献度	効率性	活動量	評価値	方向性
	4	4	5	4	2	A	継続
令和4年度担当課年度評価(方向性の理由)	各課において積極的に女性委員を登用する動きがみられ、登用率は順調に伸びている。令和3年度と比較し、女性の登用率が増加した委員会が5つであり、女性の町政参画への一助となっている。						
課題(改善すべき点や方向性)	女性委員がいない委員会等はないが、登用率が低い委員会等については、各課へ積極的な登用を依頼していく必要がある。						
外部評価委員会の意見	これからも積極的に取り組んでいただきたい。			方向性			
				継続			
町としての考え方	引き続き、審議会・委員会等の改選期を把握し、積極的な女性登用を図る。			方向性			
				継続			

事務事業評価シート

令和4年度

			事業No.	566			
所管課・係名	産業課 産業創造係	予算科目	2 款 1 項 8 目				
事務事業名	ふるさとづくり寄附金事業	予算大事業名	ふるさとづくり寄附金事業				
総合発展計画【章】	第6章 人の絆で織りなす賑わいあふれるまちづくり《町民参画・連携》						
総合発展計画【節】	第1節 協働によるまちづくりの推進						
総合発展計画【項】	第2項 町民活動を支える体制整備						
事業の概要	目的 ふるさと納税者の拡大、特産品のPR						
	内容 「ふるさと納税」制度で寄付した人への特産品の送付						
令和2年度分の外部評価の意見	関係者と連携し、これからも事業に取り組んでいただきたい。				方向性		
					継続		
令和3年度分の町としての考え方	新たな事業者や返礼品の開拓を進めるなど、引き続き寄附額の増加、および町のPRに向けて取り組みたい。				方向性		
					継続		
令和4年度に対応した主な活動	楽天等のサイトで効果的に返礼品の魅力を実践した。新規のふるさと納税ポータルサイトで、メンバーを追加した。						
予算・決算(千円)	令和2年決算額	令和3年決算額	令和4年度予算額	令和4年決算見込額			
	280,256	406,697	517,141	446,135			
令和4年度決算内訳(円)	報償費 251,750,000円 通信運搬費 79,238,000円 業務委託料 38,055,000円 手数料等 77,092,000円						
成果指標設定の考え方	ふるさと納税寄付件数						
成果指標の年度経過	令和2年	令和3年	令和4年	目標年度	令和5年		
	44,194件	57,294件	48,125件	目標値	58,000件		
評価欄							
担当課評価基準	有効性	妥当性	貢献度	効率性	活動量	評価値	方向性
	5	5	5	4	3	A	継続
令和4年度担当課年度評価(方向性の理由)	令和4年度は楽天等のふるさと納税サイトでの効果的な宣伝と、米の定期便といった返礼品が好調だったことから、令和3年度より多い申込みがあった。寄附件数は減少したが、1件当たりの寄附金額は増えた。寄付総額は8億7千305万9千円と過去最高となった。						
課題(改善すべき点や方向性)	人気の返礼品(米等)の申込を維持し、米以外の返礼品の申込をもっと増やしていきたい。ポータルサイトの寄附申込を増やすため、町の魅力をPRする広告宣伝を行っていく。						
外部評価委員会の意見	関係者と連携し、これからも事業に取り組んでいただきたい。				方向性		
					継続		
町としての考え方	新規事業者の開拓と新規返礼品の開発を進める。ワンストップ申請のオンライン化など寄附手続きの利便性を向上させ、広告宣伝にも力を入れて町の魅力をPRし、寄附金増額に繋げる。				方向性		
					継続		

事務事業評価シート

令和4年度

			事業No.	599			
所管課・係名	地域生活課 管理係	予算科目	8 款	4 項	4 目		
事務事業名	町民協働公園づくり支援事業	予算大事業名	町民協働公園づくり補助金交付事業				
総合発展計画【章】	第6章 人の絆で織りなす賑わいあふれるまちづくり《町民参画・連携》						
総合発展計画【節】	第1節 協働によるまちづくりの推進						
総合発展計画【項】	第2項 町民活動を支える体制整備						
事業の概要	目的	子どもの遊び場の充実及び地域の公園等の良好な環境の形成の向上を図り、地域の特色を取り入れ、より身近な公園の整備を推進すること					
	内容	①HP、広報等での制度周知 ②申請の受理・審査、現地確認、補助金の交付					
令和2年度分の外部評価の意見	安心して利用できる公園の整備にこれからも取り組んでいただきたい。						方向性
							縮小
令和3年度分の町としての考え方	予算に対しての執行率が低いため、事業内容は変えずに予算規模を縮小する。予算執行状況を注視しながら事業に取り組みたい。						方向性
							縮小
令和4年度に対応した主な活動	広報への掲載及び全集落に対してパンフレットの配布を実施し、事業の周知に努めた。						
予算・決算(千円)	令和2年決算額	令和3年決算額	令和4年度予算額	令和4年決算見込額			
	264	66	344	344			
令和4年度決算内訳(円)	申請件数1件 交付金額344,000円						
成果指標設定の考え方	集落管理公園の年間整備件数						
成果指標の年度経過	令和2年	令和3年	令和4年	目標年度	令和6年		
	10% (1/10)	20% (2/10)	10% (1/10)	目標値	10件/5年		
評価欄							
担当課評価基準	有効性	妥当性	貢献度	効率性	活動量	評価値	方向性
	3	3	5	3	2	D	縮小
令和4年度担当課年度評価(方向性の理由)	制度の性質から、急に申請件数が多くなるものではないが、毎年全集落へ直接案内を行っていることから着実に周知は進んでいるものと思われる。引き続き周知に取り組みたい。遊具の整備だけでなく危険遊具の撤去にも利用できる制度であるため、施策への貢献度は高いと考える。						
課題(改善すべき点や方向性)	予算の執行率が低いため予算規模の縮小を検討しているが、令和4年度当初予算額の100万円は1件の申請に対する補助金額の上限額と同じ金額である。これ以上予算を削減すると、補助の申請額によっては1件目の申請から予算を補正しなければ対応できなくなってしまう。予算を削減する場合は、申請を受け付けする前段階でしっかり事前相談を行える体制づくりにも取り組む必要がある。						
外部評価委員会の意見	公園の計画的な整備、事業の周知に努めていただきたい。						方向性
							縮小
町としての考え方	各集落に対する本事業の周知を継続し、集落公園の維持管理を支援していく。						方向性
							縮小

事務事業評価シート

令和4年度

			事業No.	405			
所管課・係名	企画課 定住促進係	予算科目	2 款	1 項	8 目		
事務事業名	地域おこし協力隊推進事業	予算大事業名	地域おこし協力隊推進事業				
総合発展計画【章】	第6章 人の絆で織りなす賑わいあふれるまちづくり《町民参画・連携》						
総合発展計画【節】	第1節 協働によるまちづくりの推進						
総合発展計画【項】	第2項 町民活動を支える体制整備						
事業の概要	目的 外部人材の活用						
	内容 ①地域おこし協力隊による町・地区の各種事業への支援活動 ②地域おこし協力隊の隊員募集 ③地域おこし協力隊の隊員退任後の定着支援						
令和2年度分の外部評価の意見	地域活性化につながるよう、隊員へのサポートを含めこれからも取り組んでいきたい。					方向性	
						継続	
令和3年度分の町としての考え方	退任後の町内定住に向けて業務や生活のサポート、情報共有を行う。移住者目線、若者目線をもった隊員による地域協力活動を推進するため、計画的な新規隊員募集を進める。					方向性	
						継続	
令和4年度に対応した主な活動	任期満了で退任する隊員に対し対象補助金等の交付等による生活支援の準備を行った。新規に着任した隊員には生活全般のサポートと、情報共有シートや活動調整会議の機会を利用して活動状況の確認や相談対応を行った。また、新規隊員の募集もオンラインを活用しながら効率的に行った。						
予算・決算(千円)	令和2年決算額	令和3年決算額	令和4年度予算額	令和4年決算見込額			
	19,177	23,390	29,363	25,790			
令和4年度決算内訳(円)	報奨費(謝礼)16,692,200円、旅費643,662円、需用費713,794円、役務費521,744円、委託料299,990円、使用料及び賃借料(住居、車両、OA機器等)6,918,616円						
成果指標設定の考え方	地域力の維持・強化に繋がっているか単年度で判断できないため、隊員の採用人数実績を指標とする。						
成果指標の年度経過	令和2年	令和3年	令和4年	目標年度	令和4年		
	4人	1人	3人	目標値	実績値		
評価欄							
担当課評価基準	有効性	妥当性	貢献度	効率性	活動量	評価値	方向性
	4	5	4	4	2	A	継続
令和4年度担当課年度評価(方向性の理由)	3月に1名が退任(任期満了)、5月、6月、3月に1名ずつ計3名が着任している。生活全般と定住に向けた活動を定住促進係、その他業務に関わることを業務の所管係でサポートし、地域活性化と任期後の定住に繋がるように支援を継続していく。						
課題(改善すべき点や方向性)	協力隊の地域への定着には退任後の仕事が重要となるため、任期期間中から退任後の職探しや起業のサポートを行う必要がある。また、新規の協力隊受入れにあたり、住居となる賃貸物件の確保が課題となっている。						
外部評価委員会の意見	着実に進めていただきたい。					方向性	
						継続	
町としての考え方	退任後の定住に向けて、情報共有を行いながらサポートを引き続き行っていく。また、移住者目線、若者目線での地域活性化を期待し、新規隊員の募集も計画的に進める。					方向性	
						継続	

事務事業評価シート

令和4年度

			事業No.	1			
所管課・係名	企画課 企画係	予算科目	2 款 1 項 8 目				
事務事業名	きらさら遊佐マイタウン事業	予算大事業名	協働のまちづくり事業				
総合発展計画【章】	第6章 人の絆で織りなす賑わいあふれるまちづくり《町民参画・連携》						
総合発展計画【節】	第1節 協働によるまちづくりの推進						
総合発展計画【項】	第2項 町民活動を支える体制整備						
事業の概要	目 的 自主的な地域づくり活動の推進						
	内 容 町民で組織する自主的な団体に対する助成金の交付						
令和2年度分の外部評価の意見	他の事業との重複が見受けられるので、抜本的に改善していただきたい。			方向性			
				改善			
令和3年度分の町としての考え方	集落の改修・修繕に関しては、住宅リフォーム事業への一部統合も含め、制度の設計の見直しを行う。			方向性			
				改善			
令和4年度に対応した主な活動	各コミュニティからの申請に応えられるよう、令和4年度は予算額を2,000千円から5,000千円へ増やした。制度設計については、事務改善委員会で諮ったものの、抜本的な解決には至らなかった。						
予算・決算(千円)	令和2年決算額	令和3年決算額	令和4年度予算額	令和4年決算見込額			
	2,154	1,995	5,000	4,771			
令和4年度決算内訳(円)	一般コミュニティ事業助成 2件 1,046,000円 集落コミュニティ事業助成 13件 3,725,000円(うち1件は交付決定後事業取り下げ)						
成果指標設定の考え方	執行率/当初予算額						
成果指標の年度経過	令和2年	令和3年	令和4年	目標年度	令和4年		
	70%(7/10)	99%	95%	目標値	95%		
評価欄							
担当課評価基準	有効性	妥当性	貢献度	効率性	活動量	評価値	方向性
	5	5	5	3	2	B	改善
令和4年度担当課年度評価(方向性の理由)	広報・HPで周知を図ったところ、15団体から申請があった。予算を超える申請額であったため、全団体に対し交付率を圧縮する措置を取らざるを得なかった。						
課題(改善すべき点や方向性)	集落公民館等の改修要望は今後も想定されることから、各団体の要望に応えられるよう事前に各集落へ要望調査等を行った上で、予算要求に繋げていきたい。また、大規模修繕や備品購入は、より有利な宝くじ助成を紹介するなど集落に対し、必要な情報提供を行う。						
外部評価委員会の意見	各団体の要望を吟味し、有利な情報提供を行っていただきたい。			方向性			
				改善			
町としての考え方	各集落への要望調査を行い、満額の交付率となるよう予算要求をするとともに、他の有利な助成事業を周知する。			方向性			
				改善			

事務事業評価シート

令和4年度

			事業No.	271			
所管課・係名	企画課 企画係	予算科目	2 款 1 項 8 目				
事務事業名	まちづくりセンター運営事業	予算大事業名	地域活動交付金事業				
総合発展計画【章】	第6章 人の絆で織りなす賑わいあふれるまちづくり《町民参画・連携》						
総合発展計画【節】	第1節 協働によるまちづくりの推進						
総合発展計画【項】	第2項 町民活動を支える体制整備						
事業の概要	目 的 地域の自主的、主体的な住民自治活動を支援						
	内 容 各地区まちづくりセンターの町づくり団体地域自治組織に地域活動交付金を交付						
令和2年度分の外部評価の意見	これからも各地区まちづくり協議会への活動を支援いただきたい。			方向性			
				継続			
令和3年度分の町としての考え方	町民自らがまちづくりに積極的に参画できるよう、引き続き支援を行いたい。			方向性			
				継続			
令和4年度に対応した主な活動	各まちづくり協議会の事業の他に、協働のまちづくり事業として、SDGs勉強会、先進地視察(鶴岡市木野俣地区)を実施した。また、まちづくり研修会を開催し、各地区まちづくり協議会の取組や課題を共有、町長との意見交換を行った。						
予算・決算(千円)	令和2年決算額	令和3年決算額	令和4年度予算額	令和4年決算見込額			
	48,760	53,471	54,655	53,677			
令和4年度決算内訳(円)	蔵岡まちづくり協会：9,330,390円 遊佐地域づくり協議会：8,287,775円 稲川まちづくり協会：9,103,030円 西遊佐地区まちづくりの会：8,950,255円 高瀬まちづくりの会：8,961,935円 吹浦地区まちづくり協議会：9,043,535円						
成果指標設定の考え方	各まちづくりセンターの年間延べ利用者数の合計 過去5年平均(H27～R1:70,000人)より+5%						
成果指標の年度経過	令和2年	令和3年	令和4年	目標年度	令和6年		
	43,063人	43,498人	47,837人	目標値	73,500人		
評価欄							
担当課評価基準	有効性	妥当性	貢献度	効率性	活動量	評価値	方向性
	4	4	4	3	2	B	改善
令和4年度担当課年度評価(方向性の理由)	令和3年度に引き続き、新型コロナウイルス感染症の影響を受け、各まちづくりセンターの利用者数は目標を大きく下回っている。一方で感染症対策のため、開催方法等を工夫しながらイベント等を開催したり、研修会や先進地視察を実施し、次年度以降の事業の在り方について学ぶことができた。						
課題(改善すべき点や方向性)	研修会や先進地視察を通して知ったまちづくりに対する考え方やノウハウを各地区まちづくり協議会の事業に反映させ、地域活動の促進を図っていく。また、SNSなどを活用することで、より効果的・効率的に事業を進めていく。						
外部評価委員会の意見	先進事例を参考に新たな活動に繋がるよう支援いただきたい。				方向性		
					改善		
町としての考え方	研修会と先進地視察の参加対象や回数を拡大し、新たな活動に繋がるよう支援する。				方向性		
					改善		

事務事業評価シート

令和4年度

事業No.	464
-------	-----

所管課・係名	企画課 観光物産係	予算科目	7 款 1 項 3 目				
事務事業名	ふるさと町民、準町民制度	予算大事業名	観光事業一般経費				
総合発展計画【章】	第6章 人の絆で織りなす賑わいあふれるまちづくり《町民参画・連携》						
総合発展計画【節】	第1節 協働によるまちづくりの推進						
総合発展計画【項】	第3項 町外サポーターの開拓と連携推進						
事業の概要	目的	町外在住者にふるさと町民として登録していただき、遊佐町の認知度、交流人口の拡大を図る					
	内容	①登録者に観光情報などを提供 ②遊佐町の情報の発信を促す					
令和2年度分の外部評価の意見	時代に見合ったPR方法を確立することにより、新規登録者を増やすよう努めていただきたい。	方向性					
		改善					
令和3年度分の町としての考え方	事業を立ち上げてから年数も経ち、その当時とは時代背景も変わってきていることから、事業内容の妥当性や、今後の事業展開の方向性を再度検討する必要がある。	方向性					
		改善					
令和4年度に対応した主な活動	メルマガ、チラシによる宿泊キャンペーンなどのお知らせを行った。						
予算・決算(千円)	令和2年決算額	令和3年決算額	令和4年度予算額	令和4年決算見込額			
	0	0	126	0			
令和4年度決算内訳(円)	支出なし						
成果指標設定の考え方	ふるさと町民登録者数						
成果指標の年度経過	令和2年	令和3年	令和4年	目標年度	令和6年		
	88人	89人	81人	目標値	100人		
評価欄							
担当課評価基準	有効性	妥当性	貢献度	効率性	活動量	評価値	方向性
	4	4	3	3	2	B	改善
令和4年度担当課年度評価(方向性の理由)	登録者へキャンペーン等のメルマガ及びチラシを送付した。また、登録者の宛先不明者やメール未到達者の整理を実施したことにより、新規登録者が3名いたが、実際は8名減となっている。現在は受け身で登録を待つ形であることから登録者数が伸び悩んでいる。						
課題(改善すべき点や方向性)	現在、登録後の情報提供については紙媒体とメールとなっているが、遊佐町の公式LINEなども活用した時代に沿った形での展開が必要である。また、ふるさと納税や遊佐町総合交流促進施設株式会社で展開しているEC事業など、他の事業と連携した事業拡大を検討していく必要がある。						
外部評価委員会の意見	PR方法や特典内容の見直しなどを行い、これからも新規登録者を増やすよう努めていただきたい。	方向性					
		改善					
町としての考え方	新規登録者の増加に繋がるようなPR方法等の実施に努める。	方向性					
		改善					

事務事業評価シート

令和4年度

			事業No.	728			
所管課・係名	総務課 ICT推進室	予算科目	2 款 1 項 9 目				
事務事業名	ホームページ運用事業	予算大事業名	地域イントラネット管理費				
総合発展計画【章】	第6章 人の絆で織りなす賑わいあふれるまちづくり<<町民参画・連携>>						
総合発展計画【節】	第2節 開かれた町政の推進						
総合発展計画【項】	第1項 効果的な情報発信と行財政運営の透明化						
事業の概要	目的 情報公開と双方向での公聴活動の推進						
	内容 ①CMS【コンテンツマネジメントシステム(ホームページシステム)】の保守管理						
令和2年度分の外部評価の意見	・保守管理の徹底を図り、事業を進めていただきたい。 ・事業名を検討していただきたい。			方向性			
				継続			
令和3年度分の町としての考え方	事務事業名を「ホームページ運用事業」に改める。町が公に情報を発信している手段として、職員が最も活用しているものがホームページである。ホームページは対外的な町の顔の一つですが、CMSが古い影響で情報発信に積極性がないように感じられてしまっている状況であると認識している。今後、安定したサーバー運営に努めるとともに、時代に即したホームページの更新を行うことを検討したい。			方向性			
				継続			
令和4年度に対応した主な活動	CMSに関する委託業者との情報交換及び打合せ 新サーバー環境への移行						
予算・決算(千円)	令和2年決算額	令和3年決算額	令和4年度予算額	令和4年決算見込額			
	303	303	303	303			
令和4年度決算内訳(円)	CMSシステム保守委託 303,000円						
成果指標設定の考え方	稼働日数/365日						
成果指標の年度経過	令和2年	令和3年	令和4年	目標年度	令和4年		
	100%	100%	100%	目標値	98% (メンテナンスを除く稼働率)		
評価欄							
担当課評価基準	有効性	妥当性	貢献度	効率性	活動量	評価値	方向性
	5	5	5	4	3	A	継続
令和4年度担当課年度評価(方向性の理由)	高機能なサーバーへ移行をし稼働率を維持することができた。						
課題(改善すべき点や方向性)	LINEの配信に合わせたコンテンツの整理を行う。						
外部評価委員会の意見	時代に即したホームページの運用を行っていただきたい。			方向性			
				改善			
町としての考え方	新しいICTの導入に取り組みながら運用を行う。			方向性			
				改善			

事務事業評価シート

令和4年度

			事業No.	458			
所管課・係名	議会事務局 議事係	予算科目	1 款 1 項 1 目				
事務事業名	開かれた議会推進事業	予算大事業名	議会運営費				
総合発展計画【章】	第6章 人の絆で織りなす賑わいあふれるまちづくり<<町民参画・連携>>						
総合発展計画【節】	第2節 開かれた町政の推進						
総合発展計画【項】	第1項 効果的な情報発信と行財政運営の透明化						
事業の概要	目的 議会の情報を公開することにより町民の関心を高める						
	内容 ①町民と議会の懇談会の開催 ②HPでの議会中継録画、会議録の公開 ③本会議、予算特別委員会の傍聴の案内						
令和2年度分の外部評価の意見	・指標、目標設定が現状にそぐわない。待ちの姿勢ではなく、各種会合に議員が出向くなど、攻めの姿勢を貫いていただきたい。 ・町民が関心を抱くよう、事業の在り方を議員から下ろすのではなく、町民から吸い上げる方法で検討していただきたい。					方向性	
						改善	
令和3年度分の町としての考え方	議員全員協議会の場で、令和4年度の開催方法、開催場所について改めて検討する。また、各常任委員会でテーマを決めて開催する方法についても検討する。					方向性	
						改善	
令和4年度に対応した主な活動	開かれた議会の実現に向けては、迅速な情報発信や議会報告会などの広報事業の実施・支援に努めることを目的としている。4年度においては、「町民と議会との懇談会」を各まちづくりセンターへ地区行事と重なっていないことを確認し日程調整の上、昨年開催していない3会場で実施し、その内容を踏まえて町に政策提言を提出した。また、「少年議会との意見交換会」も実施し、議会だよりに掲載した。ホームページは議会内容だけでなく常任委員会・特別委員会の開催日程についても迅速に掲載した結果、特別委員会の傍聴者も増加した。						
予算・決算(千円)	令和2年決算額	令和3年決算額	令和4年度予算額	令和4年決算見込額			
	14	12	30	14			
令和4年度決算内訳(円)	折込手数料:8,789円(懇談会チラシ折込) 食糧費:4,425円(懇談会用お茶代)						
成果指標設定の考え方	町民と議会の懇談会出席者						
成果指標の年度経過	令和2年	令和3年	令和4年	目標年度	令和4年度		
	58人	69人	55人	目標値	50人		
評価欄							
担当課評価基準	有効性	妥当性	貢献度	効率性	活動量	評価値	方向性
	4	4	4	4	2	A	継続
令和4年度担当課年度評価(方向性の理由)	「町民と議会の懇談会」での町民の意見を反映し町への政策提言を提出したこと及び「少年議会との意見交換」の実施を踏まえ、有効性、妥当性及び貢献度については8割方の評価とした。十分でないとした理由としては、「町民と議会の懇談会」参加者が前年度より減少したことによるが、情報を積極的に公開し意見を反映する活動としては「町民と議会の懇談会」は有効であるので継続して実施する。						
課題(改善すべき点や方向性)	「町民と議会の懇談会」においてテーマを4つ決めて実施しているが、町民がより関心を持ち主体的に参加できるテーマを検討していくことが課題である。						
外部評価委員会の意見	議会中継の同時字幕の導入により、開かれた議会を推進していただきたい。					方向性	
						改善	
町としての考え方	今後も「町民と議会の懇談会」等での町民の意見を反映した町への政策提言の実施を継続し、かつ、より開かれた議会とするために議会中継の字幕の導入についても検討する。					方向性	
						改善	

事務事業評価シート

令和4年度

			事業No.	4			
所管課・係名	企画課 企画係	予算科目	2 款 1 項 3 目				
事務事業名	広報発行事業	予算大事業名	広報発行費				
総合発展計画【章】	第6章 人の絆で織りなす賑わいあふれるまちづくり《町民参画・連携》						
総合発展計画【節】	第2節 開かれた町政の推進						
総合発展計画【項】	第1項 効果的な情報発信と行財政運営の透明化						
事業の概要	目 的 町民の地域参加、町の施策の周知および合意形成						
	内 容 広報誌の発行による町の施策・事業、町民活動の紹介						
令和2年度分の外部評価の意見	これからも町民に親しみを持っていただける広報作りを心掛けていただきたい。			方向性			
				継続			
令和3年度分の町としての考え方	今後も町政に関することやニーズに沿う話題の掲載に努め、分かりやすく、町民の興味を惹くような広報づくりを心がけたい。			方向性			
				継続			
令和4年度に対応した主な活動	広報、お知らせ号を計画どおり発行し、また町のホームページや外部ページにも掲載し、町内外の情報発信を行った。						
予算・決算(千円)	令和2年決算額	令和3年決算額	令和4年度予算額	令和4年決算見込額			
	9,764	9,202	12,095	10,936			
令和4年度決算内訳(円)	広報ゆざ1日号及びお知らせ号印刷製本費 10,936,387円						
成果指標設定の考え方	毎月の発行の実数						
成果指標の年度経過	令和2年	令和3年	令和4年	目標年度	令和4年		
	毎月2回発行	毎月2回発行	毎月2回発行	目標値	毎月2回発行(1日号、15日号)		
評価欄							
担当課評価基準	有効性	妥当性	貢献度	効率性	活動量	評価値	方向性
	4	4	5	3	3	A	継続
令和4年度担当課年度評価(方向性の理由)	政策広報として、町が定めた計画や力を入れている施策などを取り上げ、町民への周知と合意形成を図るとともに、町民の活躍を多く取り上げ、親しみのある広報誌になるよう努めた。令和4年度は新型コロナウイルス感染症の影響から少しずつイベントも復活してきたので、全地区のイベントを満遍なく掲載できるよう工夫した。						
課題(改善すべき点や方向性)	町民が読みやすい広報誌を目指すため誤字脱字ゼロを目指す。また令和6年度の遊佐町合併70周年に合わせ広報誌をリニューアル予定のため、町民アンケートを実施するなど町民のニーズに沿った広報誌にしたい。						
外部評価委員会の意見	着実に進めていただきたい。			方向性			
				継続			
町としての考え方	今後も町民のニーズに沿った話題を掲載し、分かりやすく、町民の興味を惹くような広報づくりを行う。			方向性			
				継続			

事務事業評価シート

令和4年度

事業No.	259
-------	-----

所管課・係名	総務課 総務係	予算科目	- 款 - 項 - 目				
事務事業名	人事・給与事務事業	予算大業名	-				
総合発展計画【章】	第6章 人の絆で織りなす賑わいあふれるまちづくり《町民参画・連携》						
総合発展計画【節】	第2節 開かれた町政の推進						
総合発展計画【項】	第2項 効率的で質の高い行政サービスの提供						
事業の概要	目的 人員管理の適正化						
	内容 集中改革プラン(行革)での定員適正化計画による職員数の配置を行う。						
令和2年度分の外部評価の意見	行政サービスを向上するために、魅力ある職場としての情報発信を行い、適正な職員の確保に最大限努めていただきたい。				方向性		
					改善		
令和3年度分の町としての考え方	専門職(土木技師等)の確保が喫緊の課題であることから、年度初めの採用に拘らず、必要な人材を確保できるよう採用方法や採用時期、また地元高校・大学等への発信方法を工夫するなど、適正な職員数の確保に努めたい。				方向性		
					改善		
令和4年度に対応した主な活動	退職者の不補充が続いたため一般職及び専門職(土木技師)の採用に向け、年度途中の10月職員採用の募集(土木技師)及び三町合同採用試験以外に、冬の独自試験も併せ、計3回試験を実施した。採用試験では一般職員3名のみ採用となった。						
予算・決算(千円)	令和2年決算額	令和3年決算額	令和4年度予算額	令和4年決算見込額			
	-	-	90	87			
令和4年度決算内訳(円)	・職員採用試験業務委託料 87,560円						
成果指標設定の考え方	当該年度末職員数/定員適正化計画職員数						
成果指標の年度経過	令和2年	令和3年	令和4年	目標年度	令和5年度		
	96.7% (147人/152人)	95.4% (145人/152人)	94.7% (144人/152人)	目標値	100%		
評価欄							
担当課評価基準	有効性	妥当性	貢献度	効率性	活動量	評価値	方向性
	3	4	4	4	3	A	継続
令和4年度担当課年度評価(方向性の理由)	平成31年度からの5か年の定員管理計画を策定しており、これに基づく適正な人事管理を行っている。しかしながら、本町は類似団体と比較し、一般行政部門で▲16%、普通会計全体で▲8.5%ほど職員数が不足している状況にある。必要な行政サービスの提供が滞ることのないよう、定員管理計画の中で職員体制を整えていくことが必要である。						
課題(改善すべき点や方向性)	人員確保のため、引き続き独自試験についても実施していく必要がある。						
外部評価委員会の意見	定員管理計画に沿って、着実に進めていただきたい。				方向性		
					継続		
町としての考え方	効果的な募集方法を検討・実施し人員確保に努め、職員体制を整える。				方向性		
					継続		

事務事業評価シート

令和4年度

			事業No.	356			
所管課・係名	総務課 総務係	予算科目	2 款	1 項	1 目		
事務事業名	町職員研修事業	予算大事業名	職員研修費				
総合発展計画【章】	第6章 人の絆で織りなす賑わいあふれるまちづくり《町民参画・連携》						
総合発展計画【節】	第2節 開かれた町政の推進						
総合発展計画【項】	第2項 効率的で質の高い行政サービスの提供						
事業の概要	目的 自治体改革を担う職員の養成						
	内容 市町村アカデミー・国際文化研修所・東北自治研修所・山形県市町村職員研修所への派遣研修や、職員を講師とした庁内研修を実施する。						
令和2年度分の外部評価の意見	職員研修を計画的に実施していただきたい。					方向性	
						継続	
令和3年度分の町としての考え方	研修計画を作成し、計画に基づき、研修を実施していきたい。					方向性	
						継続	
令和4年度に対応した主な活動	県の研修所が主催する研修会で対面とオンラインが選べる場合は、オンラインでの参加とし、宿泊を伴わない研修会とすることにより参加者の負担軽減を図った。						
予算・決算(千円)	令和2年決算額	令和3年決算額	令和4年度予算額	令和4年決算見込額			
	1,223	665	1,578	941			
令和4年度決算内訳(円)	・職員一般研修旅費32,940円 ・消耗品費5,908円 ・研修業務委託料627,000円 ・研修会受講負担金46,000円 ・県市町村職員研修協議会負担金230,000円						
成果指標設定の考え方	受講者/対象者数×2(当初計画)						
成果指標の年度経過	令和2年	令和3年	令和4年	目標年度	令和5年		
	93.2% 274/294	84.9% 241/284	94.7% 273/288	目標値	100%		
評価欄							
担当課評価基準	有効性	妥当性	貢献度	効率性	活動量	評価値	方向性
	5	5	5	3	3	A	継続
令和4年度担当課年度評価(方向性の理由)	派遣研修については、各種研修においてオンライン研修が導入される事によって、昨年度と比較し受講者が多くなった。また、町独自の研修としては職員全員を対象とした倫理保持のためのコンプライアンス研修を実施した。更に、職務能力向上を図るため、法制執務・人事評価・例規システム操作等受講する研修に応じて職歴・希望者等によって対象者を選定し実施した。令和5年度においては、オンラインと対面の研修の2つの方法を活用し、より受けやすい環境を整え、継続的に実施したい。						
課題(改善すべき点や方向性)	人数や職歴等を考慮しながらも、研修を希望する職員にも配慮した職員研修計画をたてる。						
外部評価委員会の意見	計画的に進めていただきたい。					方向性	
						継続	
町としての考え方	研修計画に基づき効果的に派遣研修や町内研修を行い、職員の資質向上や業務のスキルアップにつなげていく。					方向性	
						継続	

事務事業評価シート

令和4年度

			事業No.	36			
所管課・係名	総務課 ICT推進室	予算科目	- 款 - 項 - 目				
事務事業名	情報ネットワークセキュリティ向上対策事業	予算大事業名	-				
総合発展計画【章】	第6章 人の絆で織りなす賑わいあふれるまちづくり《町民参画・連携》						
総合発展計画【節】	第2節 開かれた町政の推進						
総合発展計画【項】	第2項 効率的で質の高い行政サービスの提供						
事業の概要	目的 情報ネットワークにおけるセキュリティ確保による安全性の向上						
	内容 ①セキュリティ研修の実施 ②セキュリティポリシーの見直し						
令和2年度分の外部評価の意見	職員のレベルアップを図り、安全性の向上に向けて着実に実施していただきたい。			方向性			
				継続			
令和3年度分の町としての考え方	引き続き、安全性の向上に取り組むため活動等に取り組む。			方向性			
				継続			
令和4年度に対応した主な活動	eラーニングによる職員のセキュリティ研修の受講によるスキルおよび知識の向上						
予算・決算(千円)	令和2年決算額	令和3年決算額	令和4年度予算額	令和4年決算見込額			
	-	-	0	0			
令和4年度決算内訳(円)	支出なし						
成果指標設定の考え方	不正侵入事故発生件数及び職員等によるウィルス持込件数						
成果指標の年度経過	令和2年	令和3年	令和4年	目標年度	令和4年		
	0件	0件	0件	目標値	0件		
評価欄							
担当課評価基準	有効性	妥当性	貢献度	効率性	活動量	評価値	方向性
	5	5	5	4	3	A	継続
令和4年度担当課年度評価(方向性の理由)	eラーニングによるセキュリティ研修会を開催した。						
課題(改善すべき点や方向性)	番号制度の導入によりオンラインでの申請などの業務が増えて多くのシステムを利用する機会増えていることから、セキュリティの知識以外にもPCの基本操作などのスキル向上に取り組むたい						
外部評価委員会の意見	計画的に進めていただきたい。			方向性			
				継続			
町としての考え方	今後も職員のリテラシー向上の為の内容を検討し実施する。			方向性			
				継続			

事務事業評価シート

令和4年度

事業No.	448
-------	-----

所管課・係名	総務課 ICT推進室	予算科目	2 款 1 項 9 目				
事務事業名	基幹GIS推進事業	予算大事業名	基幹GIS推進事業				
総合発展計画【章】	第6章 人の絆で織りなす賑わいあふれるまちづくり<<町民参画・連携>>						
総合発展計画【節】	第2節 開かれた町政の推進						
総合発展計画【項】	第2項 効率的で質の高い行政サービスの推進						
事業の概要	目的 基幹GISシステムの多目的利用による事務の効率化						
	内容 ①システムの研修会の開催 ②システムの保守管理 ③図面修正						
令和2年度分の外部評価の意見	・町民向けのGISの活用を検討していただきたい。 ・目標値の人数表示を検討していただきたい。				方向性		
					拡大		
令和3年度分の町としての考え方	GISシステムの公開について、レイヤ著作権等の関係から町民へ提供することは難しい。GISは、職員の業務遂行に必要不可欠である場合が多いため、可能な限り研修を開催していきたい。				方向性		
					継続		
令和4年度に対応した主な活動	図面レイヤの更新 職員向け 研修の開催						
予算・決算(千円)	令和2年決算額	令和3年決算額	令和4年度予算額	令和4年決算見込額			
	3,394	2,475	4,000	2,398			
令和4年度決算内訳(円)	システム保守委託料 770,000円 図面修正委託料 1,353,000円						
成果指標設定の考え方	研修会開催回数						
成果指標の年度経過	令和2年	令和3年	令和4年	目標年度	令和4年		
	3回	1回	2回	目標値	2回		
評価欄							
担当課評価基準	有効性	妥当性	貢献度	効率性	活動量	評価値	方向性
	4	4	4	4	2	A	継続
令和4年度担当課年度評価(方向性の理由)	職員への聞き取りをしながら新たなデータ整備(レイヤ構築)を行った。研修と合わせより有効な利用を行うことができた。						
課題(改善すべき点や方向性)	引き続き職員のGISの操作レベル向上を図ることが必要。						
外部評価委員会の意見	計画的に進めていただきたい。				方向性		
					継続		
町としての考え方	業務効率化の検討を含めデータの整備等を計画的に進める。				方向性		
					継続		

事務事業評価シート

令和4年度

事業No.	257
-------	-----

所管課・係名	町民課 町民係	予算科目	2 款 3 項 1 目				
事務事業名	休日窓口業務	予算大事業名	戸籍関係事業費・庁舎管理費				
総合発展計画【章】	第6章 人の絆で織りなす賑わいあふれるまちづくり《町民参画・連携》						
総合発展計画【節】	第2節 開かれた町政の推進						
総合発展計画【項】	第2項 効率的で質の高い行政サービスの提供						
事業の概要	目的 住民の利便性向上						
	内容 ①平日に電話で休日の証明書等(戸籍の証明を除く)の交付申込を受け付け、証明書等を作成する。 ②休日に、外部委託業者により交付し手数料を受け取る。						
令和2年度分の外部評価の意見	住民の利便性向上のため、着実に進めていただきたい。				方向性		
					継続		
令和3年度分の町としての考え方	今後も住民サービスの一環としてより多くの町民から利用していただけるよう、計画的に広報・ホームページ等により事業の周知に努め、更なる町民の利便性の向上を図る。				方向性		
					継続		
令和4年度に対応した主な活動	町民課窓口では、お客様用封筒に、休日窓口の案内を印刷し周知を図った。また、広報ゆざへの定期的な掲載に加え、住所等の異動時期にあわせた3月1日号に取得方法などより詳しい内容の記事を掲載しPRした。						
予算・決算(千円)	令和2年決算額	令和3年決算額	令和4年度予算額	令和4年決算見込額			
	66	(町民課)11 (総務課)総額2,095の内一部	(総務課)総額2,095千円の内一部	(総務課)総額2,095千円の内一部			
令和4年度決算内訳(円)	総務課(R4.4~R5.3月)総額2,095千円の内一部						
成果指標設定の考え方	交付者数(マイナンバー交付者含む)						
成果指標の年度経過	令和2年	令和3年	令和4年	目標年度	令和4年		
	20人	37人	34人	目標値	実績値		
評価欄							
担当課評価基準	有効性	妥当性	貢献度	効率性	活動量	評価値	方向性
	5	5	4	4	3	A	継続
令和4年度担当課年度評価(方向性の理由)	平日来庁が難しい町民のために、住民サービスの一つの手段として行っている事業であり、有効性・妥当性は高い。令和元年度に日曜日午前中のみを土日祝日に拡大したことで、土曜日と祝日の利用が全体の約7割であった。また、隔月の広報掲載により周知を図ったことで、利用件数も昨年度に近い数字でご利用いただくことができた。						
課題(改善すべき点や方向性)	令和5年4月よりスタートした、マイナンバーカードを利用したコンビニ交付事業と並行して周知を行い、選択肢を広げることで、利便性の向上に繋げたい。町民への周知方法を検討しながら継続して行って行きたい。						
外部評価委員会の意見	着実に進めていただきたい。				方向性		
					継続		
町としての考え方	今後も住民サービスの一環としてより多くの町民から利用していただけるよう、計画的に広報・ホームページ等により事業の周知に努め、更なる町民の利便性の向上を図る。				方向性		
					継続		

事務事業評価シート

令和4年度

【新規】

		事業No.		267			
所管課・係名	町民課町民係	予算科目	2 款 3 項 1 目				
事務事業名	マイナンバーカード交付事務	予算大事業名	マイナンバーカード交付事業費				
総合発展計画【章】	第6章 人の絆で織りなす賑わいあふれるまちづくり《町民参画・連携》						
総合発展計画【節】	第2節 開かれた町政の推進						
総合発展計画【項】	第2項 効率的で質の高い行政サービスの提供						
事業の概要	目的 マイナンバーカードの普及促進						
	内容 イベント等への出張申請、夜間申請交付窓口の開設						
令和2年度分の外部評価の意見					方向性		
令和3年度分の町としての考え方					方向性		
令和4年度に対応した主な活動	①イベント等への出張申請(ワクチン接種会場、まちづくりセンターまつり、確定申告会場、ショッピングセンターエルパなど) 開設数:119回 申請数:1,228件 ②夜間窓口(毎週火曜日の夜間に予約制で実施) 開設数:41回 交付数:296件 申請数:75件 その他:5件)						
予算・決算(千円)	令和2年決算額	令和3年決算額	令和4年度予算額	令和4年決算見込額			
	-	4,001	7,174	6,475			
令和4年度決算内訳(円)	人件費:4,800,288(会計年度任用職員報酬、各種手当) 消耗品費:112,393 燃料費:12,296 郵送料:902,916(1,695通) 広報折込手数料:19,646(2回分) 会場借上料:210,000(エルパ21回) 車両借上料:272,250(3か月分) 申請啓発グッズ作成委託料:145,750(のぼり、テーブルクロス、ベストなど) ※マイナンバーカード交付事業に係る経費は総務省より補助金が交付される。						
成果指標設定の考え方	交付率(J-LIS提供の個人番号カードの申請受付状況(概数)等より) (交付数/人口)						
成果指標の年度経過	令和2年	令和3年	令和4年	目標年度	令和5年		
	17.45% (2,383/13,655)	35.94% (4,814/13,396)	70.75% (9,239/13,059)	目標値	県平均値(%)		
評価欄							
担当課評価基準	有効性	妥当性	貢献度	効率性	活動量	評価値	方向性
	5	5	4	4	3	A	継続
令和4年度担当課年度評価(方向性の理由)	”令和4年度末までに全国民にマイナンバーカードを持たせる”との国の目標達成を目指し、本町でも、各種イベント等への出張申請や夜間申請交付窓口の開設、広報・ホームページでの周知等を積極的に行った。前年度、交付率が県内ワースト1位となった時期もあったが、職員体制の拡充や機器整備等を行い、令和4年度末には、国・県の平均を超えるまでの成果を上げることができた。						
課題(改善すべき点や方向性)	令和5年度4月よりマイナンバーカードを利用したコンビニ交付事業が開始されたが、今後も取得できる証明書の拡充や、その他マイナンバーカードを持つことで得られるメリットについて引き続き周知を継続して行う。						
外部評価委員会の意見	計画的に進めていただきたい。				方向性		
					継続		
町としての考え方	今後も国の動向を把握しながら、マイナンバーカードの利活用について引き続き周知を図る。出張申請等も継続して行い、交付促進に努める。				方向性		
					継続		

事務事業評価シート

令和4年度

			事業No.	256			
所管課・係名	企画課 企画係	予算科目	2 款 1 項 8 目				
事務事業名	事務事業評価システム推進事業	予算大事業名	企画一般経費(臨時)				
総合発展計画【章】	第6章 人の絆で織りなす賑わいあふれるまちづくり《町民参画・連携》						
総合発展計画【節】	第2節 開かれた町政の推進						
総合発展計画【項】	第2項 効率的で質の高い行政サービスの提供						
事業の概要	目 的 事務事業の的確な見直し						
	内 容 ①事務事業評価の調査・研修・指導委託 ②適正な目標の設定と役場内部での事務事業評価 ③外部評価の実施						
令和2年度分の外部評価の意見	評価委員の中に町政に関心のある方、女性や若い世代を増やす努力をしていただきたい。			方向性			
				改善			
令和3年度分の町としての考え方	外部評価委員については女性と若年層の政治参画を推進するため、積極的に各団体へ働きかけを行う。			方向性			
				改善			
令和4年度に対応した主な活動	まちづくり協議会を中心に女性委員の推薦を依頼し、女性委員の確保に努めたところ、令和4年度においては、15名中8名が女性委員となった。R4の外部評価ヒアリングにおいては、これまでになく女性ならではの観点や視点に基づく意見や感想を得ることができた。						
予算・決算(千円)	令和2年決算額	令和3年決算額	令和4年度予算額	令和4年決算見込額			
	625	586	863	758			
令和4年度決算内訳(円)	外部評価委員謝礼:393,000円、行政評価指導委託料:360,000円、会議費:5,130円						
成果指標設定の考え方	A評価事業数/全体事業数						
成果指標の年度経過	令和2年	令和3年	令和4年	目標年度	令和4年		
	79.5% (97/122)	80.5% (99/123)	62.8% (71/113)	目標値	90%		
評価欄							
担当課評価基準	有効性	妥当性	貢献度	効率性	活動量	評価値	方向性
	3	5	5	4	2	A	継続
令和4年度担当課年度評価(方向性の理由)	外部評価ヒアリング事業については、内部評価と外部評価の不一致が目立った。内部評価においてもコロナ禍にあって影響を受けた事業があったため例年に比較し、A(継続)の事業が少なくなった。						
課題(改善すべき点や方向性)	内部評価と外部評価の差を埋めるためには、各事業を担当する職員のスキルアップが必要である。例年行政評価研修会は実施しているが、係長職員のみならず若手職員に向け、行政評価の意義や考え方の周知・浸透を図る。						
外部評価委員会の意見	若手職員にも行政評価の意義などの周知を図っていただきたい。						方向性
							改善
町としての考え方	職員のスキルアップのため、若手職員向けの行政評価研修を行う。						方向性
							改善

事務事業評価シート

令和4年度

			事業No.	265			
所管課・係名	町民課 課税係	予算科目	2 款	2 項	2 目		
事務事業名	未申告者の適正な指導事業	予算大事業名	賦課徴収事務費				
総合発展計画【章】	第6章 人の絆で織りなす賑わいあふれるまちづくり《町民参画・連携》						
総合発展計画【節】	第3節 効率的な財政運営の推進						
総合発展計画【項】	第1項 自主財源の確保						
事業の概要	目的 適正・公平な課税						
	内容 1.未申告者へ通知及び申告相談会の開催(2回:5月下旬・10月下旬) (5月は全く所得が把握できない者、10月は事業等の所得が把握できない者) 2.電話等による廃業、継続等の状況確認(随時)						
令和2年度分の外部評価の意見	無反応な未申告者への対応が、長い間具体的な対応まで至っていない現実がある。適正・公平な課税という立場から、訪問するなどもっと踏み込んだ新たな手法を取り入れて事業を進めていただきたい。					方向性	
						改善	
令和3年度分の町としての考え方	適正・公平な課税のため、無反応な未申告者に対して電話連絡、状況によっては訪問を行う(関係課や滞納者については納税係と連携して)などし、状況把握に努め、未申告者の減少に努める。					方向性	
						継続	
令和4年度に対応した主な活動	未申告者相談会の実施や電話での申告呼びかけ、基幹システムを活用した町民課窓口、健康福祉課との情報共有により、未申告者が来庁された際の対応に努めた。						
予算・決算(千円)	令和2年決算額	令和3年決算額	令和4年度予算額	令和4年決算見込額			
	-	-	-	-			
令和4年度決算内訳(円)	人件費のみの決算						
成果指標設定の考え方	申告相談者数/想定未申告者数						
成果指標の年度経過	令和2年	令和3年	令和4年	目標年度	令和4年		
	78.40% (171/217)	75.12% (160/213)	77.78% (154/198)	目標値	80%		
評価欄							
担当課評価基準	有効性	妥当性	貢献度	効率性	活動量	評価値	方向性
	4	4	4	4	2	A	継続
令和4年度担当課年度評価(方向性の理由)	未申告相談は5/25～26、10/26～27の2回実施した。会場の混雑緩和のために、可能な方については、郵送での申告を呼びかけを行い、無反応の方に対して、電話での申告の呼びかけを行った。						
課題(改善すべき点や方向性)	未申告者が固定化しているため、今後も状況把握に努め、電話で申告の呼びかけや関係機関(税務署等)との連携を図り、進めていきたい。						
外部評価委員会の意見	未申告者の状況に応じて、きめ細かい対応をしていただきたい。					方向性	
						改善	
町としての考え方	適正・公平な課税のため、継続して未申告対象者への催告(電話連絡、個別訪問等)、事業所得の有無に関する調査等を行うとともに、関係課(滞納者については納税係)と連携するなどして、情報把握に努め、未申告者の減少に努める。					方向性	
						改善	

事務事業評価シート

令和4年度

			事業No.	457			
所管課・係名	町民課 課税係	予算科目	2 款 2 項 2 目				
事務事業名	確定申告相談業務	予算大事業名	賦課徴収事務費				
総合発展計画【章】	第6章 人の絆で織りなす賑わいあふれるまちづくり《町民参画・連携》						
総合発展計画【節】	第3節 効率的な財政運営の推進						
総合発展計画【項】	第1項 自主財源の確保						
事業の概要	目的 適正・公平な課税						
	内容 ① 確定申告期間中の所得税(住民税)の申告相談の実施(2~3月に約23日間) ② 申告相談日程及び会場等の周知、実施計画、人員配置・研修計画等の策定						
令和2年度分の外部評価の意見	職員のレベルアップを図り、事業を着実に進めていただきたい。					方向性	
						継続	
令和3年度分の町としての考え方	複雑な税の仕組みを丁寧にわかりやすく町民に伝えることや、親切丁寧な申告相談を引き続き行っていく。また、日曜の申告相談について、例年混雑することから、できるだけ平日の申告を呼びかけるなど対策を検討していきたい。					方向性	
						継続	
令和4年度に対応した主な活動	日曜の休日相談が例年混雑することから、令和4年度は事前予約制(申込43名/定員75名)で行った。						
予算・決算(千円)	令和2年決算額	令和3年決算額	令和4年度予算額	令和4年決算見込額			
	-	-	-	-			
令和4年度決算内訳(円)	人件費のみの決算						
成果指標設定の考え方	相談受付人数(実績)						
成果指標の年度経過	令和2年	令和3年	令和4年	目標年度	令和4年		
	受付1,793人 申告2,376件 (2/10~3/15)	受付1,799人 申告2,313件 (2/9~3/15)	受付1,734人 申告2,249件 (2/10~3/15)	目標値	実績値		
評価欄							
担当課評価基準	有効性	妥当性	貢献度	効率性	活動量	評価値	方向性
	5	5	5	4	2	A	継続
令和4年度担当課年度評価(方向性の理由)	休日申告相談を事前予約制としたことで、相談に来られた人の待ち時間の短縮につながり、利用者からは概ね好評であったため、今後も継続して行きたい。						
課題(改善すべき点や方向性)	相談受付人数が年々減少傾向にあることに伴い、これまで町内6カ所で実施していた申告会場を2カ所へ集約する検討するとともに、待ち時間の短縮のため、平日の申告相談についても事前予約制を検討している。						
外部評価委員会の意見	利用者の利便性を最優先に考えて、進めていただきたい。					方向性	
						改善	
町としての考え方	相談者の集中による待ち時間と閑散時の解消のため、令和5年度申告相談会場を2カ所へ集約し、完全予約制で実施予定である。利用者の利便性と相談体制の限界を最大限に生かす方策を今後も検討する。					方向性	
						改善	

事務事業評価シート

令和4年度

			事業No.	461			
所管課・係名	町民課 納税係	予算科目	2 款	2 項	2 目		
事務事業名	徴税等収納率向上対策事業	予算大事業名	徴税等収納率向上対策事業				
総合発展計画【章】	第6章 人の絆で織りなす賑わいあふれるまちづくり<<町民参画・連携>>						
総合発展計画【節】	第3節 効率的な財政運営の推進						
総合発展計画【項】	第1項 自主財源の確保						
事業の概要	目的 納税意識の高揚と収納率の向上						
	内容 納税通知書、督促状・催告書の送付、納税指導、訪問指導						
令和2年度分の外部評価の意見	納税意識の向上に努め、収納率向上のため計画的に進めていただきたい。					方向性	
						継続	
令和3年度分の町としての考え方	今後は現年度分だけでなく、滞納繰越分の徴収にも力を入れていきたい。					方向性	
						継続	
令和4年度に対応した主な活動	徴収強化月間(8月・12月)以外にも随時、高額になる前に、滞納初期状況での臨戸、面談等に力点を置き、効果のない場合には適切に給与照会等の段階的対応を迅速に実施する。						
予算・決算(千円)	令和2年決算額	令和3年決算額	令和4年度予算額	令和4年決算見込額			
	2,883	3,392	3,300	3,300			
令和4年度決算内訳(円)	印刷製本費(督促状・領収書等)660,000円、データパンチ料770,000円、コンビニ収納手数料670,000円 他						
成果指標設定の考え方	現年度収納額/現年度課税分調定額						
成果指標の年度経過	令和2年	令和3年	令和4年	目標年度	令和4年		
	99.14%	99.31%	99.21%	目標値	99.5%		
評価欄							
担当課評価基準	有効性	妥当性	貢献度	効率性	活動量	評価値	方向性
	5	4	4	3	3	A	継続
令和4年度担当課年度評価(方向性の理由)	平成28年度から、継続して99%を超える成果を得ている。今後も継続して、滞納者の初期対応に力を入れ、接触を密にして新規滞納者を増やさないように努めたい。						
課題(改善すべき点や方向性)	面談、納税交渉において計画納税(毎月一定額)に移行しても、納税額少ない場合は、随時指導を行った上で増額を行う必要がある。						
外部評価委員会の意見	着実に進めていただきたい。					方向性	
						継続	
町としての考え方	計画的に滞納者への効果ある指導に努める。					方向性	
						継続	

事務事業評価シート

令和4年度

			事業No.	460			
所管課・係名	町民課 納税係	予算科目	2 款	2 項	2 目		
事務事業名	徴税等収納率向上対策事業(公売事業)	予算大事業名	徴税等収納率向上対策事業				
総合発展計画【章】	第6章 人の絆で織りなす賑わいあふれるまちづくり《町民参画・連携》						
総合発展計画【節】	第3節 効率的な財政運営の推進						
総合発展計画【項】	第1項 自主財源の確保						
事業の概要	目的 納税意識の高揚と収納率の向上						
	内容 納税者の差押物件をインターネット上で競売する						
令和2年度分の外部評価の意見	収納率向上のため着実に実施していただきたい。					方向性	
						継続	
令和3年度分の町としての考え方	各所の諸問題を早急に解決した上で、継続して参加する。					方向性	
						継続	
令和4年度に対応した主な活動	徴収強化月間(8月・12月)以外にも随時、高額になる前に、滞納初期状況での臨戸、面談等に力点を置き、効果のない場合には適切に給与照会等の段階的対応を迅速に実施する。						
予算・決算(千円)	令和2年決算額	令和3年決算額	令和4年度予算額	令和4年決算見込額			
	-	-	0	0			
令和4年度決算内訳(円)	インターネット公売のための予算は計上していない。						
成果指標設定の考え方	出品物件数と落札価格						
成果指標の年度経過	令和2年	令和3年	令和4年	目標年度	令和5年		
	18件 62,977円	11件 37,000円	11件 26,350円	目標値	実績値		
評価欄							
担当課評価基準	有効性	妥当性	貢献度	効率性	活動量	評価値	方向性
	2	3	3	4	2	C	縮小
令和4年度担当課年度評価(方向性の理由)	物品の確保に対する業務量に比べ、落札価格の低迷が顕著な傾向にある。						
課題(改善すべき点や方向性)	物品差し押さえ可能な滞納者が極端に減少していることに加え、業務量に見合った費用対効果も含め、事業継続について検討の時期かと思われる。						
外部評価委員会の意見	当事業に代わる時代に合った方法を模索していただきたい。					方向性	
						縮小	
町としての考え方	新規導入した預金照会システムによる差押え業務等に整理統合する。					方向性	
						統合	

・ ・ ・ ・ ・ 第 2 部 ・ ・ ・ ・ ・

事務事業の外部評価報告書

1. 外部評価制度について

遊佐町行政評価外部評価委員会設置の目的

当町における行政評価制度の導入は、平成 15 年度より試行導入し、平成 16 年度から役場内部で遊佐町行政評価推進委員会を設置して、行政事務事業評価を実施してきました。具体的には、事業の目的や成果を検証し、更には課題を整理しながら当該事業を、より良い方向に改善していくという内部評価に取り組んできました。

しかし、この過程で三つの課題が浮び上がりました。一つ目は、行政評価は、町民への施策や事務事業の説明を目的として、事業の見直しや仕分けというものに繋げるための制度と位置づけているものの、実際には、行政評価の結果と遊佐町の振興計画の策定作業とが直接結びついていない状況でした。

二つ目は、行政評価を行った結果が町民への説明資料として作成されるものの、評価により明らかになった課題が次年度の計画や予算に直接反映することがない状況でした。その結果、普段の行政事務が整理されないまま、行政評価の事務が増えているだけといった状況があり、町民説明という目的は幾分果たしているものの、優先順位として直接業務に影響している度合いは、決して高いものではありませんでした。

三つ目は、評価の対象として、評価する必要性が低いと思われる事業や、町に裁量権が無い事業などが評価対象とされていることによって「何のための行政評価なのか」といった評価を行う目的がさらにぼやけてしまっている状況にありました。

以上のように、より効率的で効果的な政策運営を進める仕組みや、町民に分かりやすい町政の運営を図る仕組みというものが求められています。そこで、町民による客観的な評価により明らかになった課題を、迅速に次年度の計画に反映していくことで、町民本位の町政、町民の視点に立った町政に変えていく行政経営の一つの手段として、外部評価制度の導入ということが検討されました。その結果、平成 22 年度から外部評価制度を導入することとなり、遊佐町行政評価外部評価委員会を設置し、その目的を、町が実施する行政評価に関し、「評価制度の透明性と評価内容の客観性を確保すること」としました。

2. 評価の視点（外部評価に当たっての視点）

外部評価に際して、事業を町が本当にしなければならないものか、という「行政関与の妥当性・必要性」に重きを置き、その上で、「事業の効率性」さらにはその「事業の効果・成果」を順に検討しました。これら視点の具体的な内容は、次の通りです。

(1) 行政関与の妥当性・必要性

- ・行政でなければできないことがあり、行政だからできることがあります。町の行政を町民の視点で検討し、行政が関与していく必要性を検証します。
- ・世の中には、社会的弱者と言われる人たちがいて、行政が関与しなければ、助けることができない場合があります。社会的弱者の視点で、行政が関与することは、妥当なのか、必要なのか、検証します。
- ・事業の中には、「なぜ行政がここまで関与するのか」というような疑問を抱く事業もあります。いろいろな協議会や協会の事務局を行政が行っている場合がありますが、行政サービスと行政が関与する必要性を混同しているときがあります。町民の視点で、見直す必要性があるかを検証します。
- ・以前は、声が大きい人や権威がある人が言うと、予算が通る時代がありました。しかし、近年の歳出抑制の時代には、行政でも、できないものはできないと言うべきであり、町民に任せることも必要です。行政がすべきことと町民ができることを比較しながら、検証します。
- ・例えば、国で決めた補助事業を、そのまま鵜呑みにして導入し、町で実施するのはいかがなものかと考えます。失敗する場合もあり、失敗してもだれも責任をとりません。町民にとって本当に必要な事業は何か、行政も本当に必要と考え実施している事業なのか、町民の視点で検証します。

(2) 事業の効率性

- ・ムダの排除ということを考え、まとめられる事業はまとめるべきです。同じような事業を、違う課にまたがって行っている場合もあるので、類似的な事業はないか、事業の再編や統合はできないか、事業の効率性を考えた合理化という視点で検証します。
- ・どんな事業も費用が優先されるが、費用をかけないサービスという効率的な視点で事業はできないか、検証します。

(3) 事業の効果・成果

- ・事業の効果・成果が、行政において、あまり確認されていない場合があります。町民の視点で費用対効果も含めて、事業の効果・成果を確認し、今後、どのようにすべきかを検証します。
- ・事業の効果・成果について、行政としての評価が甘くないか、過大すぎないか、検証します。

(4) その他

- ・費用対効果や受益と負担のバランス、町民への奉仕者としての役割を、企

業経営という視点で比較しながら検証します。

- ・業務上の日常の管理が事業の実施上の管理に結びついているか、管理するための目標値がきちんと設定されているかという視点で検証します。

- ・事業も長期に渡り実施することで、マンネリ化、慢性化してくる。そのようなことによる弊害を防ぐという視点で検証します。

- ・外部評価の実施も14年目となり、昨年までとの比較という視点で検証します。

令和5年度 遊佐町行政評価外部評価委員会 名簿

班名	氏名	公募・学識経験者の別	地区	備考
1班	佐 藤 陽	学識経験者	西遊佐	班長
	高 杉 晋	学識経験者	遊佐	
	小 松 早 苗	学識経験者	遊佐	
	阿 部 恵 美 子	公 募	吹浦	
	太 田 く み	学識経験者	蕨岡	
2班	本 間 功	公募	稲川	班長
	長 澤 良 樹	学識経験者	蕨岡	
	松 本 香	公 募	遊佐	
	真 嶋 敦 子	学識経験者	稲川	
	佐 藤 早 苗	学識経験者	高瀬	
3班	佐 藤 憲 三	学識経験者	遊佐	委員長 班長
	佐 藤 悦 雄	公 募	遊佐	
	池 田 隆 子	公 募	稲川	
	菅 原 麻 理 子	学識経験者	吹浦	
	菅 原 愛	公 募	稲川	

事務局

企画課	企画課長	渡会 和裕
	企画係長	佐藤 裕也
	主任	瀧口 めぐみ
	主任	高橋 愛
	主事	菅原 優輔

遊佐町行政評価外部評価委員会設置要綱

(設置)

第1条 町が実施する行政評価に関し、評価制度の透明性と評価内容の客観性を確保することを目的に、遊佐町行政評価外部評価委員会（以下「委員会」という。）を設置する。

(所掌事項)

第2条 委員会は、次に掲げる事項を所掌する。

- (1) 町が実施した事務事業評価の内容の検証を行うこと。
- (2) 町が実施した事務事業評価の内容に関し、提言及び提案を行うこと。
- (3) 行政評価制度のあり方に関し、提言を行うこと。
- (4) 前3号に掲げるもののほか、町長が必要と認めた事項

(組織等)

第3条 委員会は、委員15人以内で組織する。

2 委員は、次に掲げる者の中から、町長が委嘱する。

- (1) 学識経験を有する者
- (2) 公募による町民
- (3) 前2号に掲げるもののほか、町長が特に必要と認める者

3 委員の任期は、委嘱した日から2年以内とする。ただし、再任を妨げない。

4 委員が欠けた場合における補欠委員の任期は、前任者の残任期間とする。

5 町長は、委員が心身の故障のため職務の執行ができないと認めるとき、又は委員に職務上の義務違反その他委員たるに適しない行為があると認められるときは、その委員を罷免することができる。

(委員長)

第4条 委員会に委員長を置き、委員の互選により定める。

2 委員長は、委員会を代表し、会務を総理する。

3 委員長に事故あるとき又は欠けたときは、あらかじめ委員長が指名する委員がその職務を代理する。

(会議)

第5条 委員会の会議（以下「会議」という。）は、委員長が招集し、その議長となる。

2 委員長は、必要があると認めるときは、会議に委員以外の者又は関係職員の出席を求めることができる。

3 委員長は、第2条に規定する所掌事項を効率的に処理するため、委員に分業を指示することができる。この場合において、委員は、その結果を委員長に報告するものとする。

(庶務)

第6条 委員会の庶務は、行政評価担当所管課において処理する。

(その他)

第7条 この要綱に定めるもののほか、委員会に関し必要な事項は、委員長が会議に諮って定める。

附 則

この要綱は、平成22年5月31日から施行する。

附 則 (平成26年6月13日告示第121号)

この要綱は、公布の日から施行する。

附 則 (平成29年6月20日告示第174号)

この要綱は、公布の日から施行する。

附 則 (令和4年10月3日告示第181号)

この要綱は、公布の日から施行し、改正後の第3条第3項の規定は、現に委員である者について適用する。

遊佐町行政評価外部評価委員会公募委員選考要綱

(趣旨)

第1条 この要綱は、遊佐町行政評価外部評価委員会設置要綱第3条第2項第2号の規定に基づく公募による委員(以下「公募委員」という。)の選考方法等に関し必要な事項を定めるものとする。

(応募資格)

第2条 公募委員に応募しようとする者(以下「応募者」という。)は、次に掲げる要件を備えていなければならない。

- (1) 遊佐町の町政に関心のある者
- (2) 遊佐町の住民基本台帳に記載され、又は、外国人登録原票に登録されている者で、引き続き1年以上遊佐町内に居住している者
- (3) 応募する年度の4月1日現在の年齢が20歳以上の者
- (4) 平日に開催する会議等にも出席できる者
- (5) 国又は地方公共団体の職員、国会又は地方議会の議員でない者

(応募方法等)

第3条 公募委員の募集は、遊佐町役場の掲示場に掲示するほか、遊佐町広報等により行うものとする。

- 2 公募委員の募集人員、募集期間、応募方法等は、遊佐町行政評価外部評価委員募集要項に定める。
- 3 応募者は、遊佐町行政評価外部評価委員会応募用紙(別記様式。以下「応募用紙」という。)により応募するものとする。

(選考の方法)

第4条 公募委員の選考に当たり、遊佐町行政評価外部評価委員会選考委員会(以下「選考委員会」という。)を設置する。

- 2 選考委員会は、副町長、教育長、総務課長、企画課長で構成する。
- 3 選考委員会に委員長を置き、副町長をもってこれに充てる。
- 4 選考委員会は、応募資格及び応募用紙の記載内容を審査の上、選考するものとする。この場合において、次に掲げる事項を総合的に考慮するものとする。

- (1) 男女比や年齢構成の均衡
- (2) 職種の多様性
- (3) その他必要な事項

(選考結果の報告等)

第5条 委員長は、公募委員の選考を終了したときは、直ちに町長に報告しなければならない。

- 2 町長は、前項の報告を受けたときは、速やかに、選考結果を応募者全員に書面で通知するものとする。
- 3 応募用紙は、返却しないものとする。
- 4 応募者等からの選考過程についての問い合わせには応じないものとする。

(庶務)

第6条 選考委員会の庶務は、行政評価担当所管課において処理する。

(その他)

第7条 この要綱に定めるもののほか、必要な事項は、委員長が選考委員会に諮って定める。

附 則

この要綱は、平成22年5月31日から施行する。(遊佐町告示第70号)

令和5年度外部評価ヒアリング日程

班	課名	係名	内部 評価	外部 評価	日程		場所
1班 (17事業)	総務課	総務係	0	2	7月6日	9:00~10:00	第1 会議室
		危機管理係	0	5		10:00~13:30	
		ICT推進室	0	3		13:30~15:00	
	町民課	町民係	0	2	7月7日	9:00~10:00	
		課税係	0	3		10:00~11:30	
		納税係	0	2		11:30~12:30	
2班 (16事業)	企画課	企画係	2	6	7月6日	9:00~12:00	第1 委員会室
		観光物産係	3	4		13:00~15:00	
		定住促進係	10	1		9:00~9:30	
	議会事務局	議事係	0	1	7月7日	9:30~10:00	
		産業課	水産林業係	3		1	
	産業創造係		3	3	10:30~12:00		
3班 (16事業)	地域 生活課	環境係	0	6	7月6日	9:00~12:00	第2 委員会室
		土木係	0	2		13:00~14:00	
		上水道係	0	2		14:00~15:00	
		下水道係	0	2	7月7日	9:00~10:00	
			管理係	6		1	
	教育課	社会教育係	0	1	10:30~11:00		
		総務学事係	1	2	11:00~12:00		
		ヒアリング なし	総務課	財政係	0	0	
企画課	PAT整備推進室		0	0			
産業課	農業振興係		3	0			
	農地管理係		0	0			
健康福祉課	国民健康保険係		2	0			
	福祉係		5	0			
	介護保険係		3	0			
	子育て支援係		5	0			
健康支援係	13		0				
教育課	文化係	0	0				
合計			59	49			
事務事業総数			106				

令和 5 年度外部評価ヒアリング結果(令和 4 年度事後評価)

(1) 評価結果(事業の「方向性」の特徴・比較)

・全部で 49 事業について評価しましたが、次年度以降の事業の「方向性」について、担当課評価と外部評価に分けて集計した結果は、別表(P.82)の通りです。また、全事業の個々の評価については、次項「外部評価ヒアリングの事務事業シートのもとめ」(P.83～P.89)をご覧ください。

・担当課評価の「継続」が 38 事業 77.55%に対して、外部評価の「継続」が 20 事業 40.82%、担当課評価の「改善」が 8 事業 16.33%に対して、外部評価の「改善」は 26 事業 53.06%となりました。外部評価を開始して令和 5 年度で 14 年目となりますが、「改善」の割合が 50%を超え、同様に、「継続」の判定よりも「改善」の判定の割合が多くなったことも今年度が初めてであり、外部評価の判定が大変厳しい結果となったことが伺えます。

・「方向性」の内訳について、担当課評価と外部評価を突き合わせると、「継続」、「改善」など評価が一致している事業は、49 事業のうち 31 事業であり、一致している割合は 63.27%です。ほぼ同一の事業の外部評価を実施した令和 3 年度の外部評価(令和 2 年度事後評価)では、一致している事業の割合が 65.57%だったため、令和 5 年度の外部評価(令和 4 年度事後評価)の方向性と一致した事業の割合は、令和 3 年度(令和 2 年度事後評価)と比較して△2.30%となり、担当課評価と外部評価の方向性の不一致の差が大きくなりました。

・担当課評価と外部評価の方向性の差が年々顕著となっておりますが、その理由としては以下の点が考えられます。

齋藤先生の講評にもあるとおり、令和 4 年度より事務事業評価シートの見直しを図り、「担当課年度評価」欄と「課題(改善すべき点や方向性)」欄を個別に設けたことにより、課題が「見える化」され外部評価委員の目線からでも、各事業における改善の方向性をつけやすくなったことです。また、外部評価委員会としては、「これまでの手段・方法は確かに有効であるが、より効果をあげるための手段として新たな視点・方法を提示した事業」については「改善」としており、外部評価委員会としても経験年数を有する委員が増えた中においてこのような考え方が十分浸透してきたと結果と言えます。

(2) 今後に向けて

・外部評価で「継続」と判定された事業であっても、外部評価ヒアリングの過程で問

題点を指摘された事業もあり、「継続」とはいえ、町民の視点に立って再検討し、更なる事業の充実を図る必要があります。

・外部評価で「改善」の判定をされた事業は、外部評価委員より厳しい指摘、意見を受けた事業が多く、担当課が事業内容や制度設計の見直しを含め、具体的な改善策を示し、実施する必要があります。担当課年度評価で課題を明らかにしている事業が多いため、その課題の解決に向け、各課において取組を進めていただきたいと思います。

・事務事業評価シートは、決まった様式ではなく、必要に応じて適宜見直し、修正する必要があります。また外部評価委員、町民に対して分かりやすい内容にするため、評価シートの形式に留まらず評価基準・評価値といった本評価制度の抜本的な部分に関しても、わかりやすい形での見直しを図ります。

・今年度は、昨年度に引き続きヒアリング対象事業に係る事務事業について、各課に対し、事前の資料提出をお願いしたところです。また、班長会議を随時開催し、当日のヒアリングの進め方、各事業に対する指摘事項などについて意識共有を図り、円滑に外部評価ヒアリングが進むように努めました。このような取組みについては引き続き外部評価委員の意見を踏まえ、次年度以降も必要な事項については改善を図ってまいります。

(別表)

令和5年度外部評価の評価結果

方向性の集計

方向性	担当課評価	%	外部評価	%
拡大		0.00%		0.00%
継続	38	77.55%	20	40.82%
改善	8	16.33%	26	53.06%
縮小	3	6.12%	3	6.12%
統合		0.00%		0.00%
廃止		0.00%		0.00%
終了		0.00%		0.00%
対象外		0.00%		0.00%
計	49	100.0%	49	100.0%

方向性の内訳

		外部評価							
方向性	拡大	継続	改善	縮小	統合	廃止	終了	対象外	計 (%)
担当課評価	拡大								0 (0.0)
	継続		20	18					38 (77.55)
	改善			8					8 (16.33)
	縮小				3				3 (6.12)
	統合								0 (0.0)
	廃止								0 (0.0)
	終了								0 (0.0)
	対象外								0 (0.0)
計 (%)	0 (0.0)	20 (40.82)	26 (53.06)	3 (6.12)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	49 (100.0)



← 担当課評価と外部評価の「方向性」が一致するもの。

令和5年度外部評価結果一覧表(令和4年度事後評価) 総合発展計画第4章～第6章

第4章 鳥海山の豊かな自然と調和した快適なくらしの創造《くらし・防災・環境》

第1節 良好な地域環境の保全

第1項 鳥海山の湧水と自然生態系の保全

総合発展計画			事業名	課・係名	担当課評価		外部評価	
章	節	項			評価値	方向性	方向性	意見
4	1	1	森林整備ボランティア事業	産業課 水産林業係	A	継続	継続	関係機関と連携を密にし、これからも進めていただきたい。
4	1	1	お花島インストラクターによる高山植物の保護啓発活動事業	企画課 観光物産係	B	改善	改善	関係機関との連携を強化し、お花島インストラクター活動の周知および高山植物保護活動の体制を整えていただきたい。

第2項 下水道の普及

該当事業なし

第3項 ごみの減量と環境美化の推進

総合発展計画			事業名	課・係名	担当課評価		外部評価	
章	節	項			評価値	方向性	方向性	意見
4	1	3	動物相談指導事業	地域生活課 環境係	A	継続	改善	福祉分野との連携を図って、事業を進めていただきたい。
4	1	3	八ツ面川管理支援事業	地域生活課 環境係	A	継続	改善	稀少生物保護のため、関係機関と協議を行い計画的に進めていただきたい。
4	1	3	エコすまいる・ゆざ育成支援事業	地域生活課 環境係	D	縮小	縮小	関係団体と協議を進め、今後の事業の進め方について検討をしていただきたい。
4	1	3	生ごみ処理機器購入助成事業	地域生活課 環境係	A	継続	改善	生ごみの減量化を町民の意識付けになるよう周知・PRに努めていただきたい。

第4項 再生可能エネルギーの効果的活用

総合発展計画			事業名	課・係名	担当課評価		外部評価	
章	節	項			評価値	方向性	方向性	意見
4	1	4	環境・エネルギーに関する研修会開催事業	地域生活課 環境係	A	継続	改善	事業内容を町民にPRを行うとともに、研修内容の充実に努めていただきたい。
4	1	4	再生可能エネルギー設備導入補助事業	地域生活課 環境係	A	継続	改善	助成内容の見直しを行い、事業を進めていただきたい。

第2節 安心してらせる地域づくり

第1項 防災・克雪対策の推進

総合発展計画			事業名	課・係名	担当課評価		外部評価	
章	節	項			評価値	方向性	方向性	意見
4	2	1	山岳救助訓練事業	総務課 危機管理係	A	継続	継続	計画的に進めていただきたい。
4	2	1	集落内自主除雪支援事業	地域生活課 土木係	A	継続	改善	事業協力を確保するための方策を検討していただきたい。

第2項 消防・救急体制の充実

総合発展計画			事業名	課・係名	担当課評価		外部評価	
章	節	項			評価値	方向性	方向性	意見
4	2	2	消防団活性化対策事業	総務課 危機管理係	B	改善	改善	実態に沿った消防団組織体制の在り方を検討していただきたい。
4	2	2	自主防災会活動推進事業	総務課 危機管理係	A	継続	継続	消防団と連携し、着実に進めていただきたい。

第3項 日常生活の安全性向上

総合発展計画			事業名	課・係名	担当課評価		外部評価	
章	節	項			評価値	方向性	方向性	意見
4	2	3	防犯対策事業	総務課 危機管理係	B	改善	改善	事業内容を関係機関と調整して進めていただきたい。
4	2	3	交通安全対策推進事業	総務課 危機管理係	B	改善	改善	事業内容を整理して進めていただきたい。

第3節 快適で便利な遊佐ぐらしの推進
第1項 社会インフラ維持管理の適正化

総合発展計画			事業名	課・係名	担当課評価		外部評価	
章	節	項			評価値	方向性	方向性	意見
4	3	1	濁水（赤水）対策事業	地域生活課 上水道係	A	継続	継続	計画的に事業を進めていただきたい。
4	3	1	上水道使用料金収納率向上対策事業	地域生活課 上水道係	A	継続	継続	着実に実施していただきたい。
4	3	1	下水道水洗化活動	地域生活課 下水道係	A	継続	改善	補助制度のPRを行い、水洗化率の向上に努めていただきたい。
4	3	1	受益者負担金未納者対策事業	地域生活課 下水道係	A	継続	継続	引き続き、計画的に実施していただきたい。
4	3	1	メイクアップロード推進事業	地域生活課 土木係	A	継続	改善	町内美化運動を進めるため、維持管理の工夫を行い進めていただきたい。

第2項 地域公共交通の活性化

総合発展計画			事業名	課・係名	担当課評価		外部評価	
章	節	項			評価値	方向性	方向性	意見
4	3	2	町民駅委託事業	産業課 産業創造係	A	継続	改善	駅構内及び駅前のスペースを有効に活用していただきたい。
4	3	2	デマンド交通システム事業	産業課 産業創造係	A	継続	改善	交通弱者の足として、町外への通院助成の制度設計を進め、関係者との連携を密にして対応いただきたい。

第3項 計画的な土地利用の推進

総合発展計画			事業名	課・係名	担当課評価		外部評価	
章	節	項			評価値	方向性	方向性	意見
4	3	3	国土調査事業	町民課 課税係	A	継続	継続	計画的に進めていただきたい。

第5章 ふるさとを愛し、未来を拓く、いのち輝く町民の育成《教育・文化》

第1節 遊佐を愛し、未来にはばたく子どもの育成

第1項 地域全体で育む園・学校教育の充実

総合発展計画			事業名	課・係名	担当課評価		外部評価	
章	節	項			評価値	方向性	方向性	意見
5	1	1	遊佐高校就学支援事業	教育課 総務学事係	A	継続	改善	高校の独自性を創り上げ、生徒の確保に繋げていただきたい。
5	1	1	遊佐高校就学支援事業 (通学支援)	教育課 総務学事係	A	継続	継続	生徒数の確保のため、計画的に事業を実施していただきたい。

第2項 自己有用感に根ざす青少年の健全育成

総合発展計画			事業名	課・係名	担当課評価		外部評価	
章	節	項			評価値	方向性	方向性	意見
5	1	2	少年町長・少年議員公選 事業	教育課 社会教育係	A	継続	改善	若者のアンケートを町政に活かす工夫をしていただきたい。
5	1	2	ハンガリー等派遣事業	企画課 企画係	A	継続	継続	これからもいろいろな方法を考え、交流を深めていただきたい。

第2節 心豊かにいのち輝く町民の育成

第1項 学びをつなぐ生涯学習の推進

該当事業なし

第2項 健康ではつらつとした生涯スポーツの推進

該当事業なし

第3項 芸術文化活動の振興

該当事業なし

第3節 歴史・文化遺産の継承と活用

第1項 歴史・伝統芸能の継承と活用

該当事業なし

第2項 文化財等の調査、保存と活用

総合発展計画			事業名	課・係名	担当課評価		外部評価	
章	節	項			評価値	方向性	方向性	意見
5	3	2	ジオパーク推進事業	企画課 観光物産係	A	継続	改善	学校を取り込んだ活動を展開し、そこから地域を挙げた取組みに繋げていただきたい。

第6章 人の絆で織りなす賑わいあふれるまちづくり《町民参画・連携》

第1節 協働によるまちづくりの推進

第1項 町民の参画を促す機会の創出

総合発展計画			事業名	課・係名	担当課評価		外部評価	
章	節	項			評価値	方向性	方向性	意見
6	1	1	ふるさと休日推進事業	企画課 観光物産係	B	改善	改善	酒田市と連携を密にし、事業所への呼びかけを進めていただきたい。
6	1	1	男女共同参画推進事業	企画課 企画係	A	継続	継続	これからも積極的に取り組んでいただきたい。

第2項 町民活動を支える体制整備

総合発展計画			事業名	課・係名	担当課評価		外部評価	
章	節	項			評価値	方向性	方向性	意見
6	1	2	ふるさとづくり寄附金事業	産業課 産業創造係	A	継続	継続	関係者と連携し、これからも事業に取り組んでいただきたい。
6	1	2	町民協働公園づくり支援事業	地域生活課 管理係	D	縮小	縮小	公園の計画的な整備、事業の周知に努めていただきたい。
6	1	2	地域おこし協力隊推進事業	企画課 定住促進係	A	継続	継続	着実に進めていただきたい。
6	1	2	きらきら遊佐マイタウン事業	企画課 企画係	B	改善	改善	各団体の要望を吟味し、有利な情報提供を行っていただきたい。
6	1	2	まちづくりセンター運営事業	企画課 企画係	B	改善	改善	先進事例を参考に新たな活動に繋がるよう支援いただきたい。

第3項 町外サポーターの開拓と連携推進

総合発展計画			事業名	課・係名	担当課評価		外部評価	
章	節	項			評価値	方向性	方向性	意見
6	1	3	ふるさと町民、準町民制度	企画課 観光物産係	B	改善	改善	PR方法や特典内容の見直しなどを行い、これからも新規登録者を増やすよう努めていただきたい。

第2節 開かれた町政の推進

第1項 効果的な情報発信と行財政運営の透明化

総合発展計画			事業名	課・係名	担当課評価		外部評価	
章	節	項			評価値	方向性	方向性	意見
6	2	1	ホームページ運用事業	総務課 ICT推進室	A	継続	改善	時代に即したホームページの運用を行っていただきたい。
6	2	1	開かれた議会推進事業	議会事務局 議事係	A	継続	改善	議会中継の同時字幕の導入により、開かれた議会を推進していただきたい。
6	2	1	広報発行事業	企画課 企画係	A	継続	継続	着実に進めていただきたい。

第2項 効率的で質の高い行政サービスの提供

総合発展計画			事業名	課・係名	担当課評価		外部評価	
章	節	項			評価値	方向性	方向性	意見
6	2	2	人事・給与事務事業	総務課 総務係	A	継続	継続	定員管理計画に沿って、着実に進めていただきたい。
6	2	2	町職員研修事業	総務課 総務係	A	継続	継続	計画的に進めていただきたい。
6	2	2	情報ネットワークセキュリティ向上対策事業	総務課 ICT推進室	A	継続	継続	計画的に進めていただきたい。
6	2	2	基幹GIS推進事業	総務課 ICT推進室	A	継続	継続	計画的に進めていただきたい。
6	2	2	休日窓口事業	町民課 町民係	A	継続	継続	着実に進めていただきたい。
6	2	2	マイナンバーカード交付事務	町民課 町民係	A	継続	継続	計画的に進めていただきたい。
6	2	2	事務事業評価システム推進事業	企画課 企画係	A	継続	改善	若手職員にも行政評価の意義などの周知を図っていただきたい。

第3節 効率的な財政運営の推進

第1項 自主財源の確保

総合発展計画			事業名	課・係名	担当課評価		外部評価	
章	節	項			評価値	方向性	方向性	意見
6	3	1	未申告者の適正な指導事業	町民課 課税係	A	継続	改善	未申告者の状況に応じて、きめ細かい対応をしていただきたい。
6	3	1	確定申告相談業務	町民課 課税係	A	継続	改善	利用者の利便性を最優先に考えて、進めていただきたい。
6	3	1	町税等収納率向上対策事業	町民課 納税係	A	継続	継続	着実に進めていただきたい。
6	3	1	町税等収納率向上対策事業 (公売事業)	町民課 納税係	C	縮小	縮小	当事業に代わる時代に合った方法を模索していただきたい。

第2項 財源の効率的な活用

該当事業なし

令和5年度 外部評価制度に対して外部評価委員から出された意見

【外部評価制度全般に関して】

- ・どの事業も対象となる町民への周知が必須であり周知方法の工夫が大切と考える。
- ・町民一人ひとりへの意識付けが徹底すれば、予算化された事業も町民に活かされたものとなり、目標とする成果へ繋がっていくように思う。
- ・町の事業に関心を持つきっかけになった。広報・議会だより等も欠かさず読むようにしている。

【外部評価委員会について】

- ・人数は今のままでよい。
- ・班長との打ち合わせ会議も、全体スケジュールとして組み込み、委員に知らせてほしい。
- ・一斉の評価となると日程不足である。
- ・若い人がもっと増えたらいいと思う。男女比も可能な限り半々が良いと思う。
- ・メンバーの入れ替えはあった方がよい。幅広くもっと多くの方から参加してもらいたい。

【外部評価ヒアリングについて】

- ・和やかに指導してもらいありがたかった。
- ・各委員積極的に質問等を発言してくれてよかった。
- ・初めての参加だったが関心のなかった項目は初めて知ることが多く、大変勉強になった。
- ・専門的な分野については知識がなく、評価することについて不安があった。

【その他】

(委員の推薦について)

- ・なかなか参加できない委員の人がいるため、参加できる人を推薦してもらった方がよい。
- ・選考の際に、事前に予定表を配布しているためヒアリング2日間にきちんと参加できる人を選ぶできである。
- ・日程的に欠席する人がいると、議論が盛り上がらなくなる。日程調整の大切さを感じた。
- ・各まちづくり協議会や区長会からの推薦を依頼してはどうか。

評価対象外事業一覧表

(評価の必要性が低いため、評価対象から外す事業)

令和5年度(令和4年度実施事業)

① 町に裁量権がない事業(66事業)

※●は実施計画に記載のある事業

No	事業名	事業費(千円)	担当課名・係名
260	選挙管理事務事業	13,036	総務課総務係
9	自衛隊募集対策費	53	総務課危機管理係
12	交通災害共済事業	228	総務課危機管理係
16	消防補償等組合負担金	13,246	総務課危機管理係
37	LGWAN管理業務	203	総務課ICT推進室
258	住民基本台帳ネットワークシステムの安全な運用	884	総務課ICT推進室
444	電子申請システム整備事業	10,766	総務課ICT推進室
445	統計調査業務	654	総務課ICT推進室
●531	番号制度システム改修等事業	10,568	総務課ICT推進室
●51	産業活性化対策事業	5,077	産業課産業創造係
●203	産業立地促進資金融資制度貸付事業	148,653	産業課産業創造係
●207	勤労者生活安定資金融資事業	10,000	産業課産業創造係
●210	小規模事業者経営指導補助事業	5,000	産業課産業創造係
●251	小額融資制度保証料補給金交付事業	2,512	産業課産業創造係
●641	地域経済活性化事業	2,160	産業課産業創造係
●671	ゆざっとプラザ協議会交付金事業	1,600	産業課産業創造係
●700	中小企業緊急災害等対策利子交付金事業	5,607	産業課産業創造係
115	栽培漁業地域展開促進事業	874	産業課水産林業係
●122	松くい虫防除事業(地上散布)	11,531	産業課水産林業係
●234	保全松林健全化整備事業(衛生伐)	16,833	産業課水産林業係
●277	地域水産物供給基盤整備事業	14,531	産業課水産林業係
331	漁業就業者確保育成事業	100	産業課水産林業係
333	鳥海岩ガキ漁場再生事業	400	産業課水産林業係
●474	農地水保全管理支払交付金(共同活動)	129,276	産業課水産林業係
●474	農地水保全管理支払交付金(向上活動)	23,544	産業課水産林業係
●477	メジカ地域振興推進事業	800	産業課水産林業係
●594	松くい虫防除事業(町単独)	12,177	産業課水産林業係
●637	圃場整備事業	79,860	産業課水産林業係
●20	中山間地域等直接支払事業	98,430	産業課農業振興係
●319	庄内広域行政組合分賦金(食肉流通センター事業)	2,703	産業課農業振興係
●349	直接支払推進事業	1,140	産業課農業振興係
●473	環境保全型農業直接支払交付金	33,377	産業課農業振興係
●500	経営所得安定対策等推進事業	2,947	産業課農業振興係
●501	農業次世代人材投資事業	3,898	産業課農業振興係
3	登山道の整備推進事業	2,893	企画課観光物産係
●653	山形県若者定着奨学金返還支援事業	80	企画課定住促進係
●156	臨時県道整備負担金事業	6,221	地域生活課土木係

評価対象外事業一覧表

(評価の必要性が低いため、評価対象から外す事業)

159	高速道路対策事業	212	地域生活課土木係
32	狂犬病予防事業	163	地域生活課環境係
456	人権啓発活動事業	161	町民課町民係
●246	国民健康保険支援事業（一般会計）	112,359	健康福祉課国民健康保険係
●364	後期高齢者医療制度（一般会計）	265,732	健康福祉課国民健康保険係
●365	広域連合負担金（保険料・事務費）	192,268	健康福祉課国民健康保険係
●393	国民健康保険制度医療給付業務	1,082,830	健康福祉課国民健康保険係
432	国民健康保険制度資格管理業務	667	健康福祉課国民健康保険係
433	後期高齢者医療制度資格管理業務	14	健康福祉課国民健康保険係
436	福祉医療給付事業（県単）	52,951	健康福祉課国民健康保険係
●60	介護保険制度保険給付業務	1,730	健康福祉課介護保険係
151	介護保険啓発事業	112	健康福祉課介護保険係
173	介護保険制度認定業務	11,249	健康福祉課介護保険係
●41	養護老人ホーム措置事業	5,479	健康福祉課福祉係
64	行旅死病人取扱費	17	健康福祉課福祉係
65	障害者自立支援総務費	2,504	健康福祉課福祉係
●66	障がい者自立支援医療給付事業	7,652	健康福祉課福祉係
144	高齢者の訪問実態調査事業	130	健康福祉課福祉係
●281	障がい者自立支援給付事業	322,769	健康福祉課福祉係
●347	障がい者地域生活支援事業	6,740	健康福祉課福祉係
●485	老人クラブ活動助成事業	1,858	健康福祉課福祉係
●518	障がい児通所給付費等事業	19,979	健康福祉課福祉係
●571	シルバー人材センター運営事業	2,004	健康福祉課福祉係
●687	シルバー人材センター空き家対策事業費補助金	1,404	健康福祉課福祉係
●688	生活困窮者就労支援事業	9,102	健康福祉課福祉係
●145	母子保健事業	9,024	健康福祉課健康支援係
174	母子保健事業（1歳6ヶ月・3歳児健診）	1,979	健康福祉課健康支援係
421	献血推進事業	322	健康福祉課健康支援係
422	新型コロナワクチン接種事業	39,316	健康福祉課健康支援係

② 扶助的性質の高い事業（59事業）

※●は実施計画に記載のある事業

№	事業名	事業費（千円）	担当課名・係名
505	情報公開等制度運用事業	3,290	総務課総務係
71	広域行政推進事業	2,214	企画課企画係
72	臨時特別給付金給付事業	20,836	企画課企画係
73	電力・ガス・食料品等価格高騰緊急支援金支給事業	66,782	企画課企画係
●34	中小企業技術者養成補助事業	1,200	産業課産業創造係
●232	土地改良施設農外利用負担金	3,450	産業課水産林業係
●714	水産業成長産業化支援事業	2,094	産業課水産林業係
162	家畜伝染病予防対策事業	652	産業課農業振興係

評価対象外事業一覧表

(評価の必要性が低いため、評価対象から外す事業)

376	有害鳥獣駆除事業	779	産業課農業振興係
●247	重度心身障がい(児)者医療給付事業	31,810	健康福祉課国民健康保険係
●248	ひとり親家庭等医療給付事業	3,060	健康福祉課国民健康保険係
●249	子育て支援医療給付事業	38,004	健康福祉課国民健康保険係
434	福祉医療給付事業(町単)	19,923	健康福祉課国民健康保険係
●59	児童手当支給事業	136,510	健康福祉課子育て支援係
●280	ゆざっ子誕生祝金事業	5,800	健康福祉課子育て支援係
●611	ひとり親家庭等家賃補助事業	1,609	健康福祉課子育て支援係
●623	幼稚園一時預かり事業	1,686	健康福祉課子育て支援係
●719	ゆざっ子エンゼルサポート事業	937	健康福祉課子育て支援係
●720	障がい児保育対策事業	2,940	健康福祉課子育て支援係
●451	介護保険事業(一般会計)	305,566	健康福祉課介護保険係
409	社明運動費	160	健康福祉課福祉係
411	認知症老人対策事業(補助金)	80	健康福祉課福祉係
413	緊急時通報システム事業	382	健康福祉課福祉係
417	身障者福祉タクシー事業	1,725	健康福祉課福祉係
●484	社会福祉協議会組織等支援事業	22,267	健康福祉課福祉係
●483	民生児童委員協議会運営事業	4,288	健康福祉課福祉係
●622	敬老者褒賞事務(敬老祝金給付含む)	1,575	健康福祉課福祉係
●625	食の自立支援事業	2,461	健康福祉課福祉係
626	身障者在宅福祉(人工透析)	264	健康福祉課福祉係
629	在宅介護者育成事業(補助金)	701	健康福祉課福祉係
630	健康福祉の町推進事業費	53	健康福祉課福祉係
631	戦没者追悼事業	120	健康福祉課福祉係
●649	雪かき応援事業	1,453	健康福祉課福祉係
●147	定期予防接種事業	34,726	健康福祉課健康支援係
●449	任意予防接種事業	4,236	健康福祉課健康支援係
●130	外国人英語助手招致事業	11,550	教育課総務学事係
●134	特別支援教育支援員等設置事業	35,646	教育課総務学事係
199	学校給食調理事業	20,625	教育課総務学事係
208	友遊スクール設置事業	1,272	教育課総務学事係
209	就学時健診事業	134	教育課総務学事係
211	小学校学校保健事業	6,723	教育課総務学事係
212	中学校学校保健事業	2,163	教育課総務学事係
●312	要保護及び準要保護就学援助事業	3,289	教育課総務学事係
314	学校給食費負担軽減対策事業	15,132	教育課総務学事係
●397	元気な学校づくり推進事業	612	教育課総務学事係
●672	特別支援教育就学奨励事務	1,208	教育課総務学事係
●673	中学校部活動指導員配置事業	2,739	教育課総務学事係
●691	学習支援塾推進事業	906	教育課総務学事係
●166	芸術文化振興事業	1,819	教育課社会教育係
167	ボランティア活動推進事業	40	教育課社会教育係
169	青少年育成センター事業	116	教育課社会教育係
170	文化振興事業	1,559	教育課社会教育係
●171	奥の細道鳥海ツーデーマーチ開催事業	3,009	教育課社会教育係

評価対象外事業一覧表

(評価の必要性が低いため、評価対象から外す事業)

●607	統合型地域スポーツクラブ支援事業	2,404	教育課社会教育係
13	全町美化運動事業(2回)	651	地域生活課環境係
39	害虫防除事業	392	地域生活課環境係
44	海岸クリーンアップ推進事業	307	地域生活課環境係
●651	議会中継配信事業	1,360	議会事務局議事係
●706	議会ICT化推進事業	3,287	議会事務局議事係

③ 施設の維持管理、計画策定、県の要請や委託など確実な実施で目的が達成する事業 (133事業)

※●は実施計画に記載のある事業

No	事業名	事業費(千円)	担当課名・係名
●328	例規整備事業	3,641	総務課総務係
●355	庁舎管理事業	8,016	総務課総務係
●459	公用車整備事業	14,249	総務課総務係
269	公共施設等総合管理計画策定事業	671	総務課財政係
270	町有地管理費	1,008	総務課財政係
275	一般財産臨時経費	462	総務課財政係
285	財政管理経費	89	総務課財政係
286	会計管理経費	2,951	総務課財政係
●583	公会計財務書類作成事業	5,588	総務課財政係
269	公共施設等総合管理計画策定事業	671	総務課財政係
270	町有地管理費	1,008	総務課財政係
275	一般財産臨時経費	462	総務課財政係
285	財政管理経費	89	総務課財政係
286	会計管理経費	2,951	総務課財政係
●5	消防施設整備事業	14,026	総務課危機管理係
●7	小型動力ポンプ更新事業	4,332	総務課危機管理係
●8	小型動力ポンプ付積載車整備事業	23,573	総務課危機管理係
●10	防災資機材備蓄庫整備事業	12,623	総務課危機管理係
●14	集落内防犯灯更新事業	1,940	総務課危機管理係
●14	防犯灯設置事業	1,129	総務課危機管理係
●15	防災行政無線整備事業	16,799	総務課危機管理係
17	水難救助活動費	1,083	総務課危機管理係
18	消防団員費	14,023	総務課危機管理係
19	火災出動手当	159	総務課危機管理係
22	消防施設維持補修費	1,276	総務課危機管理係
23	消防施設整備事業	14,026	総務課危機管理係
27	水防費一般経費	288	総務課危機管理係
29	災害対策一般経費	8,046	総務課危機管理係
31	防火・防災普及啓発事業	98	総務課危機管理係
33	避難誘導看板等設置事業	94	総務課危機管理係

評価対象外事業一覧表

(評価の必要性が低いため、評価対象から外す事業)

35	防災行政無線個別受信機整備事業	58	総務課危機管理係
●266	常備消防費	185,839	総務課危機管理係
345	消防施設管理費	4,536	総務課危機管理係
●709	非常備消防活動費	11,985	総務課危機管理係
●227	地域イントラネット管理業務・改修業務	20,234	総務課ICT推進室
●301	地域情報通信基盤管理事業	7,691	総務課ICT推進室
447	電算機器管理業務	41,789	総務課ICT推進室
235	遊佐町四大祭開催事業	437	企画課企画係
●271	まちづくりセンター管理事業	15,710	企画課企画係
272	まちづくりセンター整備事業	1,850	企画課企画係
78	遊佐町公共サイン管理事業	286	企画課観光物産係
79	海水浴場清掃事業	6,462	企画課観光物産係
80	西浜海水浴場砂除去事業	6,373	企画課観光物産係
●219	山岳観光トイレ維持管理事業	12,854	企画課観光物産係
●316	しらい自然館運営事業	12,220	企画課観光物産係
●348	観光施設改修事業	68,989	企画課観光物産係
●386	着地型観光育成事業	6,500	企画課観光物産係
●418	二次交通対策事業	5,280	企画課観光物産係
●470	地域間交流事業	310	企画課観光物産係
●499	海水浴場開設事業	10,620	企画課観光物産係
●536	鳥海ふれあいの里関連施設指定管理事業	35,300	企画課観光物産係
●642	地域活性化拠点施設活用事業	8,639	産業課産業創造係
●678	ゆざ元町地域交流センター整備事業	8,843	産業課産業創造係
●107	小規模土地改良事業(町単)	1,000	産業課水産林業係
●108	一般農道整備事業	4,213	産業課水産林業係
●116	林道改良事業	2,810	産業課水産林業係
341	女鹿漁港修築事業	902	産業課水産林業係
●352	排水機場管理費	2,955	産業課水産林業係
593	漁村センター管理費	4,666	産業課水産林業係
●322	さんゆう・さんグリーン指定管理事業	9,796	産業課農業振興係
380	体験農園整備事業	600	産業課農業振興係
381	放牧地貸付事業	255	産業課農業振興係
●383	道の駅「鳥海」ふらっと整備事業	6,586	産業課農業振興係
●179	上水道量水器整備事業	8,275	地域生活課上水道係
●603	公共下水道ストックマネジメント計画策定	40,800	地域生活課下水道係
●702	公共下水道事業計画策定	9,680	地域生活課下水道係
●703	公共下水道公営企業会計移行事業	27,995	地域生活課下水道係
●725	月光川水系環境整備事業	13,100	地域生活課管理係
543	町営住宅管理事業	850	地域生活課管理係
54	集落内の下水路整備事業	715	地域生活課土木係

評価対象外事業一覧表

(評価の必要性が低いため、評価対象から外す事業)

●149	町道及び橋りょうの維持・危険緊急箇所の整備事業	29,597	地域生活課土木係
●155	橋梁長寿命化事業	45,455	地域生活課土木係
●157	交通安全施設整備事業	3,932	地域生活課土木係
●306	町道及び公共施設の除雪事業	67,890	地域生活課土木係
●306	除雪機械整備事業	17,401	地域生活課土木係
●332	道路台帳整備事業	2,893	地域生活課土木係
●443	畑藤井金俣線(広畑橋)改築事業	29,634	地域生活課土木係
●453	町道道路改良事業	15,323	地域生活課土木係
●454	町道側溝整備事業	21,373	地域生活課土木係
●455	町道舗装整備事業	28,655	地域生活課土木係
●540	畑西線道路改良事業	34,562	地域生活課土木係
●660	栄橋撤去事業	19,030	地域生活課土木係
45	里山保全地域の保全管理事業	130	地域生活課環境係
47	一般廃棄物収集運搬事業	92,556	地域生活課環境係
48	紙類資源物収集事業	1,110	地域生活課環境係
49	八ツ面川施設管理費	1,509	地域生活課環境係
●77	一般廃棄物収集事業	24,583	地域生活課環境係
●284	斎場施設整備事業	4,053	地域生活課環境係
●645	廃棄物ステーション整備事業	3,811	地域生活課環境係
●96	固定資産評価替見直し調査事業	9,504	町民課課税係
●302	戸籍電子化管理事業	20,277	町民課町民係
●546	保育園改修事業	17,436	健康福祉課子育て支援係
●572	教育・保育給付事業	189,543	健康福祉課子育て支援係
●721	出産支援給付金給付事業	2,889	健康福祉課子育て支援係
633	公用車購入費	2,357	健康福祉課福祉係
●378	後期高齢者健診事業	7,312	健康福祉課健康支援係
423	がん患者支援事業	1,803	健康福祉課健康支援係
●131	小中学校管理運営備品整備事業	718	教育課総務学事係
●133	小中学校ICT整備事業	9,269	教育課総務学事係
●135	小学校教育振興整備事業	5,200	教育課総務学事係
●135	中学校教育振興整備事業	5,015	教育課総務学事係
●140	中学校施設改良事業	3,850	教育課総務学事係
●141	小学校施設改良事業	23,123	教育課総務学事係
201	小学校施設維持管理事業	56,293	教育課総務学事係
202	中学校施設維持管理事業	26,825	教育課総務学事係
●254	小学校・中学校スクールバス運行管理事業	58,262	教育課総務学事係
●297	小・中教師用コンピュータ整備事業	10,585	教育課総務学事係
●313	中学校給食業務民間委託事業	13,200	教育課総務学事係
●412	学校給食備品整備事業	861	教育課総務学事係
521	新小学校施設等整備事業	196,926	教育課総務学事係

評価対象外事業一覧表

(評価の必要性が低いため、評価対象から外す事業)

●650	コミュニティスクール推進事業	2,914	教育課総務学事係
●296	町内遺跡発掘調査等事業	1,921	教育課文化係
416	文化財保護推進事業	187	教育課文化係
420	歴史民俗学習館管理事業	1,219	教育課文化係
424	ゆざ学講座事業	167	教育課文化係
425	遺跡等管理事業	2,296	教育課文化係
●415	民俗芸能伝承事業	1,295	教育課文化係
414	町史下巻編さん発行事業	13,269	教育課文化係
610	埋蔵文化財保存活用事業	8	教育課文化係
●628	杉沢文化交流施設管理事業	10,873	教育課文化係
●693	遊佐の宝保存伝承事業	864	教育課文化係
●712	史跡小山崎遺跡整備基本計画策定事業	10,461	教育課文化係
●82	社会教育施設維持補修事業	1,651	教育課社会教育係
236	トレーニングルーム利用拡大支援事業	84	教育課社会教育係
237	町立学校体育施設の夜間開放事業	1,585	教育課社会教育係
●435	町民体育館指定管理事業	21,055	教育課社会教育係
●437	放課後子ども教室推進事業	8,554	教育課社会教育係
●446	社会体育施設維持補修事業	65,792	教育課社会教育係
●487	図書館施設整備事業	1,548	教育課社会教育係
●488	冬季レクリエーション施設運営事業	3,359	教育課社会教育係
●524	社会体育振興事業	285	教育課社会教育係
●608	町立図書館指定管理事業	34,900	教育課社会教育係
●608	総合運動公園管理事業	5,252	教育課社会教育係

④長期的な評価しか適当でない事業 (30事業)

※●は実施計画に記載のある事業

No	事業名	事業費(千円)	担当課名・係名
●609	空き家対策事業	1,219	総務課危機管理係
250	まちづくり町政座談会開催事業	450	企画課企画係
252	まちづくり基本条例の推進	106	企画課企画係
273	振興審議会費	222	企画課企画係
274	地方版総合戦略策定事業	90	企画課企画係
●495	遊佐町水循環保全事業	3,672	企画課企画係
67	日沿道整備要望活動事業	49	企画課PAT整備推進室
68	羽越本線等高速化早期実現要望活動事業	62	企画課PAT整備推進室
69	日沿道山形・秋田県境区間建設促進期成同盟会の要望活動	100	企画課PAT整備推進室
●584	遊佐PAT整備事業	247,114	企画課PAT整備推進室
●123	松くい虫防除事業(樹幹注入)	1,121	産業課水産林業係
351	高度公益機能森林事業	1,713	産業課水産林業係
●578	共存の森設置運営事業	500	産業課水産林業係

評価対象外事業一覧表

(評価の必要性が低いため、評価対象から外す事業)

●670	森林環境譲与税活用事業	13,067	産業課水産林業係
●588	機構集積協力金交付事業	237	産業課農業振興係
●589	農地利用効率化等支援事業	9,860	産業課農業振興係
●638	魅力ある園芸やまがた所得向上支援事業	25,848	産業課農業振興係
●639	畜産経営競争力強化支援事業	2,326	産業課農業振興係
●549	上水道事業繰出金	18,500	地域生活課上水道係
●621	上水道管移設・布設替事業	55,550	地域生活課上水道係
160	都市下水路事業	551	地域生活課下水道係
●194	下水道施設修繕事業	50,161	地域生活課下水道係
●512	公共下水道事業繰出金	480,000	地域生活課下水道係
●513	地域集落排水事業繰出金	68,000	地域生活課下水道係
601	公共下水道整備事業	31,680	地域生活課下水道係
●646	公共下水道事業下水道管渠移設・布設替事業(高速道路関連)	8,701	地域生活課下水道係
46	エコアクションプラン推進事業	741	地域生活課環境係
152	介護保険事業計画の点検、分析	2,915	健康福祉課介護保険係
●143	健康づくり推進事業	2,508	健康福祉課健康支援係
438	うつ病予防対策事業	305	健康福祉課健康支援係

おわりに

(令和5年度外部評価委員会を振り返って)

今年度の外部評価対象事業は49事業で、これを3班に分かれて吟味した。委員構成では任期の変更に伴い昨年から継続して参加していただける委員が大半を占めたことにより効率かつ徹底したヒアリングが行われた。そのような委員会の評価活動に加えて内部評価である事務事業評価表作成過程をも併せ、いくつか今後に向けた留意点を指摘したい。

1. 委員構成と推薦枠について

今年度においては15名の委員のうち、前年度から継続した委員が13名だった。男女の内訳としては男性6名、女性9名となり、外部評価委員会史上初めて女性委員の数が半数を超えた。昨年同様、質問内容の多様性であったり、建設的な討議が行われたこともあり引き続き女性委員の確保は重要であることが確認された。昨年度に指摘した、ミニ・パブリックス(小さな公衆)が生まれ、その効果が発現したと言えるだろう。

また、外部評価委員は町内各関係機関からの推薦による委員が9名参加しているが、委員によっては日中仕事の関係で委員会やヒアリングへの出席が難しい場合がある。そのため、依頼先団体についても例えば区長会やまちづくり協議会など、町づくり全般に関わる団体を選定するなど、推薦団体の再考をしていただきたい。

2. 評価シートの記載方法の徹底について

この点については、例年指摘することが多い。その理由は担当者が変更すること、十分な引き継ぎがなされていないこと、担当者の変更がない場合でも前年度評価対象事業になっていない事業の場合には評価情報の確保が不十分になる傾向があることなどが想定される。

そこで、記載方法については毎年一定の研修はしているものの、今年度、特に目立った点の一つ目が、評価シートの「担当課年度評価(方向性の理由)」欄の記載についてである。具体的には、記入担当者ごとに記載方法が異なるため、評価シートによっては単に事業の説明や実施内容に終始しているケースや、「評価基準」や「方向性」の理由付けが記載されていないケースが多く見受けられた。

「担当課年度評価(方向性の理由)」欄の記入は、「評価基準」欄の各数値の背景となる実情に即して記述することが鉄則である。例えば、有効性の数値が3、妥当性のそれが2といった場合、有効性や妥当性がなぜ低いのかを説明するところが「担当課年度評価(方向性の理由)」なのである。

二つ目が、「担当課年度評価(方向性の理由)」と「方向性」との関係に齟齬が生じているケースである。特に多かったのは、「方向性」欄では「継続」とあるのに「担当課年度評価(方向性の理由)」欄では「改善」とする内容が主に記述されている、といったケースである。評価シ

ートはエクセルで作成されており、「評価基準」欄の各数値が入力されれば、自動的に「継続」や「改善」といった内容の「方向性」が特定されるシステムになっている。そのため、「担当課年度評価(方向性の理由)」と「方向性」との間に齟齬が生まれる場合、「評価基準」の各数値の入力に誤りがあり、期待した「方向性」とならなかった時に、「方向性」とは異なる実態ベースの内容を「担当課年度評価方向性の理由」に記述しているケースと、「評価基準」の各数値の入力に誤りがなく、期待した「方向性」となっているにも関わらず、「方向性」を無視して記述しているケースの2通りが考えられる。数の上では、後者のケースが目立った。「評価値」「方向性」を踏まえた上で「担当課年度評価(方向性の理由)欄の内容を記述することを心がけていただきたい。

三つ目が、昨年度も指摘していることだが、「担当課年度評価(方向性の理由)」「課題」欄及び「町としての考え方」の記述は担当者の思い(～したい、～思われる)ではなく、「～する」「～を検討する」「～を実施する」など、事実や方向性を記述することを改めて徹底していただきたい。

以上が、評価シートの記載方法の徹底に関する留意点である。これら指摘した点においての記載に不備があれば、ヒアリング時に十分な説明をすることができない事態を招く。今回、現にそのようなケースが発生した。それゆえ、課内あるいは行政評価推進委員会でのダブルチェックを検討していただきたい。

3. 外部評価委員会の評価判定に対する考え方について

令和4年度(令和3年度事後評価)より、「担当課年度評価」と「課題」欄を分けたことにより、当該事業における「課題の見える化」と「課題の担当職員の自覚化」には成功している。具体的には、外部評価委員会におけるヒアリング時に「課題」欄に記載される課題内容が明確になる＝改善に繋がりやすい傾向があることが、これまでの対応状況から判明した。担当部門はもとより外部評価委員、議員、町内住民に評価結果が公表されているため、きちんとした対応が求められる。課題の明確化と公表が確実な行政対応を担保していることにつながっており、いわば住民の統制が行政責任をもたらす(＝住民統制と行政責任の和解)という、町と町民との望ましい関係状況をもたらしている。

その一方で、この望ましい関係を維持していく上で重要なことは、外部評価委員会の評価判定の明確性と基準の統一性の確保である。外部評価委員会では、従来、評価シートにおいて、あるいはヒアリングにおいて、担当課の採用している手段・方法に何ら手を加えることがない場合には「継続」、同様に、担当課の採用している手段・方法に何ら問題はないが、より効果を上げるための手段・方法として新たな視点を外部評価委員会が提示できる場合で、担当課評価が「継続」であっても外部評価委員会の評価は「改善」、さらに、担当課の採用している手段・方法に明らかに問題がある場合には、具体的な改善案や視点を明示した上で「改善」という判断を下してきている。手段・方法の改良を「改善」と認定しているだけでなく、

手段・方法はそのまま実施する「主体」の変更を伴う場合にも「改善」と判断してきている。

上記の考え方は、外部評価委員会の評価活動において築き上げてきた判断である。それゆえ、慣例として形成してきた判断基準を、委員会として再確認していくことが重要と考えられる。

4. 事務事業評価制度の見直し

外部評価委員会が評価の基礎資料としてきた事務事業評価制度は、一度も制度変更が行われないまま今日に至っている。しかし、昨年以来、「評価基準」がわかりにくいという声があるのと同時に、作業効率の面からも見直しを求められている。実際、評価シートの「評価基準」の5つの評価項目のうち、「有効性」「妥当性」「貢献度」の3つは(1.2.3.4.5)の5段階、「効率性」が(1.2.3.4)の4段階、「活動量」が(1.2.3)の3段階と、3種類が同じ列に並んでいる。数字の持つ大きさに統一性が無いため、一律に捉えることが難しい。一例を挙げれば、「活動量」の「2」は他の項目でいえば「4 又は 3」に該当するが、初めて見た人にとっては「活動量」が著しく低くなっていると誤認を招くおそれがある。そこで、「評価基準」のレベルの統一を検討していただきたい。具体的には、職員の作業効率と、わかりやすさを考慮に入れると、3段階に統一することが望ましい。3段階にすると、中間の2に集中することが懸念されるが、5段階でも中間に集中する傾向は同じで、職員の作業効率と、わかりやすさを確保することを考えれば、3段階に分けた方が効果的と考えられる。

5. 若手職員の育成について

行政評価は、単に評価シートの作成のみならず政策作成、評価及び通常業務の執行においても論理的な思考は必要である。若手職員に対しても、行政評価の意義の周知はもちろんであるが、政策立案・政策実施・政策評価に関する知識、理解は必須であることから、継続的な研修の実施を期待したい。

行政に限らず企業、家庭においても、物事は評価から始まる。今どうなっているのか。これが評価である。その評価という価値判断をする際の基準が期待(こうあって欲しい)である。現状と期待の差が問題。こう考えれば、誰でもすぐに評価活動への参加は可能になる。ミニ・パブリックスの中の議論を広げていただきたい。

(埼玉大学大学院人文社会科学研究所・教授 斎藤友之)

令和5年9月 報告

遊佐町行政評価推進委員会

遊佐町行政評価外部評価委員会

(事務局：遊佐町 企画課内／山形県飽海郡遊佐町遊佐字舞鶴 202)

(電話番号：0234-72-4523)